

飯田市 こども・若者の意識と生活 に関する調査結果報告書

令和7（2025）年3月
長野県 飯田市

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査票の配布と回収状況	3
4 報告書の記載方法	3
5 調査結果からみた課題等	4
第2章 小学4年生～中学3年生 調査結果	11
1 あなたのことについて	11
2 あなたの考えと生活について	12
3 悩みや不安の有無	24
4 長期休暇の過ごし方	30
5 ヤングケアラーについて	31
6 飯田市について	33
第3章 小学4年生～中学3年生保護者調査結果	39
1 あなたのことについて	39
2 あなたの日頃の意識と生活について	42
3 悩みや不安の有無	50
4 育成支援機関等について	52
5 暮らしの状況	54
6 飯田市について	63
第4章 16～39歳 調査結果	67
1 あなたのことについて	67
2 あなたの日頃の意識と生活について	73
3 悩みや不安の有無	91
4 育成支援機関等について	99
5 お世話の状況とヤングケアラーについて	101
6 飯田市について	107
資 料 編	115
1 自由意見	115
2 調査票	143

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、令和2年3月に「第2期飯田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

こども施策を総合的に推進するためのこども計画（令和7～11年度）を策定するにあたり、こども・若者、保護者の方が家庭や学校生活、悩み、飯田市への愛着等についてどのように考えているかを把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

調査対象者および調査期間・方法は、以下のとおりです。

調査対象者	①飯田市に居住する小学4年生～中学3年生 5,104件（悉皆調査） ②飯田市に居住する小学4年生～中学3年生の保護者 5,104件（悉皆調査） ③飯田市に居住する16～39歳 4,800件（無作為抽出）
調査期間	令和6年10月
配布、回収方法	①②学校経由配布、Web回答 ③郵送配布、Web回答

3 調査票の配布と回収状況

調査による配布・回収状況は、以下のとおりです。

調査票	配布数（人）	回収数（人）	回収率（％）
①小学4年生～中学3年生	5,104	3,779	74.0
②小学4年生～中学3年生の保護者※	5,104	1,446	28.3
③16歳～39歳	4,800	387	8.1

※②の回収率は、保護者世帯数（4,632件）を分母とした場合、31.2%となります

4 報告書の記載方法

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

5 調査結果からみた課題等

結果1 こども・若者の8割以上が「家庭」がほっとできる、安心できる場所と認識している。一方で、年齢が若くなるほど「インターネット空間」がほっとできる、安心できる場所として認識している

居場所になっている場所についてみると、「家庭」がほっとできる、安心できる居場所（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）と回答した割合は、小中学生が87.6%、若者が89.4%、小中学生の保護者が96.4%となっています。

一方で「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が居場所になっていると回答した割合は、小中学生が54.2%（うち“そう思う”は28.0%）、若者が48.8%（うち“そう思う”は14.7%）、小中学生の保護者が32.9%（うち“そう思う”は7.4%）となっています。【小学4年生～中学3年生調査 問7】【小学4年生～中学3年生の保護者調査 問8】【16歳～39歳調査 問12】

年齢が若いほど「インターネット空間」を、ほっとできる、安心できる場所として認識している傾向が見られることから、引き続き「家庭」を居場所と認識する割合と併せ、傾向を注視していきます。

結果2 将来について希望がある（「希望がある」＋「どちらかといえば、希望がある」）小中学生は76.3%、若者は65.6%
将来は「結婚している」と思う若者は46.8%、将来は「こどもを育てている」と思う若者は26.4%

自分の将来について明るい希望を持っているかについてみると、「希望がある」又は「どちらかといえば、希望がある」と回答した割合は、小中学生が76.3%、若者が65.6%となっています。一方、「希望がない」と回答した割合は、小中学生が5.2%、若者が9.3%となっています。

また、若者の婚姻状況別に「希望がある」又は「どちらかといえば、希望がある」と回答した割合は、未婚では55.8%、配偶者ありでは77.4%となっています。【小学4年生～中学3年生調査 問15】【16歳～39歳調査 問21】

自分の将来について小中学生の回答をみると、「親を大切にしている」90.0%、「幸せになっている」93.9%、「自由にのんびり暮らしている」69.7%の順となっています。また、若者の回答をみると、「親を大切にしている」93.9%、「幸せになっている」77.0%、「結婚している」69.5%の順となっています。

将来は「結婚している」との設問に、未婚の若者では「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合が49.0%、「どちらかといえば、そう思わない」又は「そう思わない」を合わせた割合が51.0%となっています。

将来は「こどもを育てている」との設問に、未婚の若者では「そう思う」が46.9%、「そう思わない」が53.2%、配偶者のある若者では「そう思う」が68.8%、「そう思わない」が31.2%となっています。

い」が31.2%となっています。【小学4年生～中学3年生調査 問16】【16歳～39歳調査 問22】

未婚の若者では、将来は「結婚している」「こどもを育てている」など家庭を持つことについて前向きな回答が、「そう思わない」とする回答を下回っていること、配偶者のある若者でも、将来「こどもを育てている」との設問に「そう思わない」との回答が3割あることから、若者を取り巻く意識や生活環境を検証し、子育てに希望を持てる社会づくりについて一層検討していく必要があります。

結果3 飯田市が「好き」又は「どちらかといえば好き」と思う小中学生は84.8%、若者は71.5%、保護者は71.0%
将来飯田市に住みたいと思う小中学生は57.2%
今の住所にこれからも住み続けたいと思う若者は59.2%、保護者は61.7%

「飯田市が好きか」についてみると、「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した割合は、小中学生が84.8%。若者が71.5%、保護者が71.0%となっています。

「現在住んでいる住所にこれからも住みたいか」についてみると、「住みたい」又は「どちらかといえば住みたい」と回答した割合は、若者が59.2%、小中学生の保護者が61.7%となっています。

「どちらかといえば引っ越したい」又は「引っ越したい」とした若者の回答について、行先をみると「首都圏」が30.2%、「県内」29.1%、「中京圏」が25.6%の順となっています。

小中学生に、将来も飯田に住みたいか聞いてみると、「ずっと飯田に住み続けたい」が26.8%、「遠くの学校を卒業したら、飯田市にもどって働きたい」が6.2%、「飯田市を離れて生活するが、いつかはもどって生活したい」が24.2%となっており、合計57.2%となっています。【小学4年生～中学3年生調査 問35、問37】【小学4年生～中学3年生の保護者調査 問31、問33-1、問33-2】【16歳～39歳調査 問45、問47-1、問47-2、問47-3】

小中学生がやがて若者になっても、飯田（ここ）に育って、飯田（ここ）で育ててよかったと感じられる環境とするためには、地域資源の認知を高めつつ、当事者の声や思いを把握し、一層の「住み続けたい」又は「いずれ帰ってきたい」と思えるまちづくりが望まれます。

**結果4 「自分は大切にされている・愛されていると思う」小中学生や若者は90%超
一方、「自分は役に立たない」と感じる小中学生や若者は27%超**

「今の自分が好き」についてみると、「あてはまる」又は「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合は、小中学生が64.4%、若者が63.8%となっています。

「自分は親から大切にされている・愛されていると思う」と回答した割合は、小中学生が91.7%、若者が93.3%、「自分が幸せだと思う」の設問に「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合は、小中学生が87.5%、若者が87.8%となっています。

一方、「自分は役に立たないと強く感じる」との設問に、「あてはまる」又は「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合は、小中学生が27.7%、若者が27.6%となっています。中でも16歳～19歳の年代に「あてはまる」又は「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が40.8%と、突出して高い傾向が見られます。【小学4年生～中学3年生調査 問5、問6】【16歳～39歳調査 問10、問11】

高校生や大学生を中心とした年代の声をよく聴く機会を設け、多角的な視点から状況を把握する必要があります。

**結果5 孤独と感じる事が「しばしばある・いつもある」と回答した小学生は3.1%、
若者は8.8%、保護者は4.5%となっている
中でも、自分は取り残されていると感じることが「常にある」とした回答は、
16歳～24歳の年代が高い**

「話せる人がいないと感じるときがある」について、小中学生の2.9%が「いつもある」と回答しています。また、「自分には人とのつきあいがいないと感じることがある」について、若者の10.9%、小中学生の保護者の9.3%が「常にある」と回答しています。

また、「自分は取り残されていると感じることがある」について「常にある」と回答した若者を年齢別の割合でみると、16歳～19歳の回答が14.8%、20歳～24歳の回答が13.3%となっています。

「孤独と感じることがあるか」についてみると、「しばしばある」「常にある」と回答した割合は、小中学生が3.1%、若者が8.8%、保護者が4.5%となっています。

特に、「しばしばある・常にある」と回答した若者について、婚姻状況別にみると未婚者では11.6%、配偶者ありでは4.8%あり、年齢別でみると20歳～24歳では11.1%、35歳～39歳では10.4%と、他の年齢と比較して高くなっています。

【小学4年生～中学3年生調査 問8-1、問8-2】【小学4年生～中学3年生の保護者調査 問8-1、問9-2】【16歳～39歳調査 問13-1、問13-2】

このように、「話せる人がいない」「取り残されている」と感じている若者は1割あり、特に未婚の若者の1割以上が常態的に孤独を感じていることが分かりました。コロナ禍後の今日、若者にとって日常的に集まり、交流し、学び合うなど、地域における若者同士の結びつきの機会が薄くなっていると推察されます。

結果6 「普段は家にいる」又は「自室にいる」と回答した割合は、小中学生の回答の9.6%、若者の回答の12.6%

「普段は家にいるが、趣味に関する用事や近所のコンビニには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自分の部屋からほとんど出ない」と回答した割合をみると、小中学生で9.6%、若者で12.6%となっています。

最も大きな理由として、小中学生では「まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと」8.9%、「学校にうまくなじめなかったこと」8.2%、「小学生のときの不登校」2.7%となっており、若者では「人間関係がうまくいかなかったこと」15.2%、「病気」12.1%、「妊娠したこと」12.1%、「学校にうまくなじめなかったこと」9.1%、「中学生時代の不登校」9.1%、「退職したこと」9.1%などとなっています。【小学4年生～中学3年生調査 問18、問21-1】【16歳～39歳調査 問24、問27-1】

ひきこもり状態となっているこども・若者について、孤立を防ぎ、個々の夢の実現に向かえるように、求めに応じて伴走支援する仲間や相談先のあることが、地域に広く浸透することが大切です。

**結果7 「ヤングケアラー」にあてはまると思っている小中学生は4.9%、若者は2.1%となっている
ヤングケアラーの認知度は年齢が高いほど周知されている**

ヤングケアラーの認知度についてみると、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した割合は、小中学生が18.7%、若者が63.0%あり、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した割合は小中学生が17.4%、若者が17.6%となっています。

若者で現在家族の中にあなたがお世話をしている人が「いる」と回答した割合は5.2%あり、「お世話をしていることで、やりたいけれどできていないこと」の設問に「学校や仕事に行きたくても行けない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」との回答が10%（複数回答）となっており、「自由に使える時間がほしい」との回答が25.0%となりました。【小学4年生～中学3年生調査 問17、問32、問33】【16歳～39歳調査 問38、問39-3、問42、問43】

ヤングケアラーのいる家族や、関係機関の連携の在り方などについて、一層の理解を拡げていく必要があります。

第2章

小学4年生～中学3年生 調査結果

第2章 小学4年生～中学3年生 調査結果

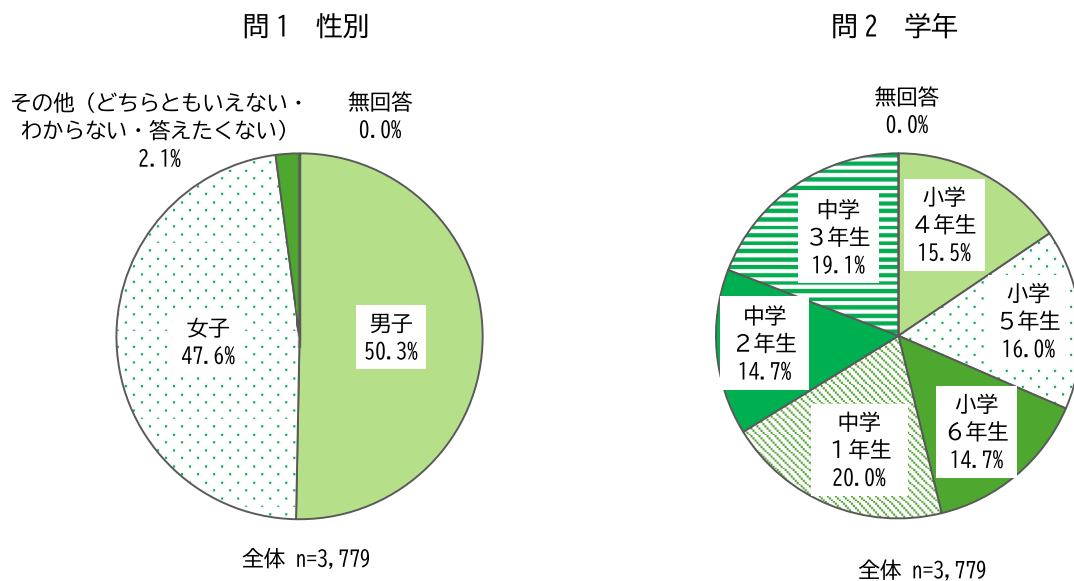
1 あなたのことについて

(1) 回答者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

問2 あなたの学年をお答えください。(単数回答)

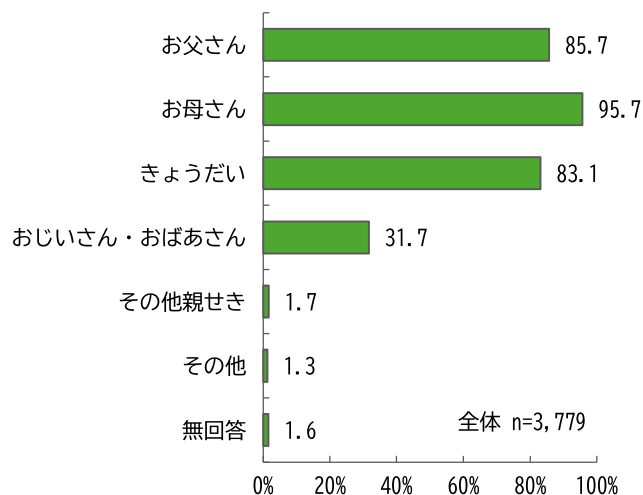
回答者の属性は、以下のとおりです。



(2) 家族構成

問3 現在、あなたがいっしょに住んでいる人をすべて選んでください。(複数回答)

家族構成は、以下のとおりです。



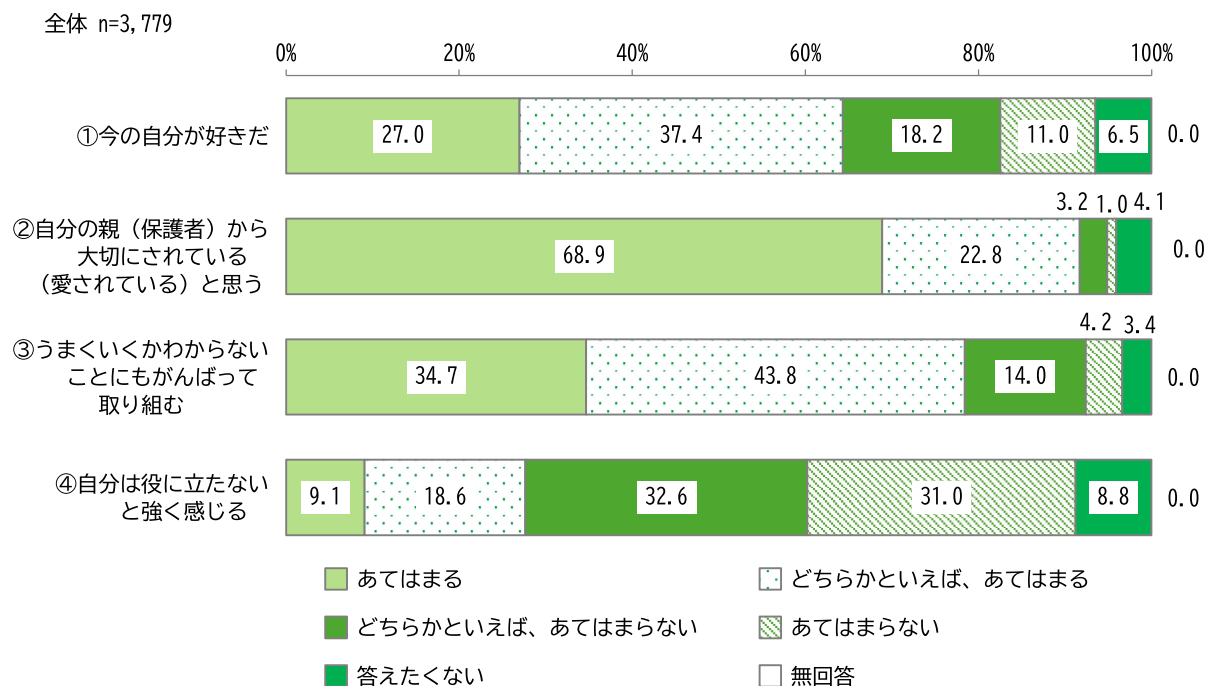
※問4 在籍する学校は掲載を省略します。

2 あなたの考えと生活について

(1) あなたの考えについて

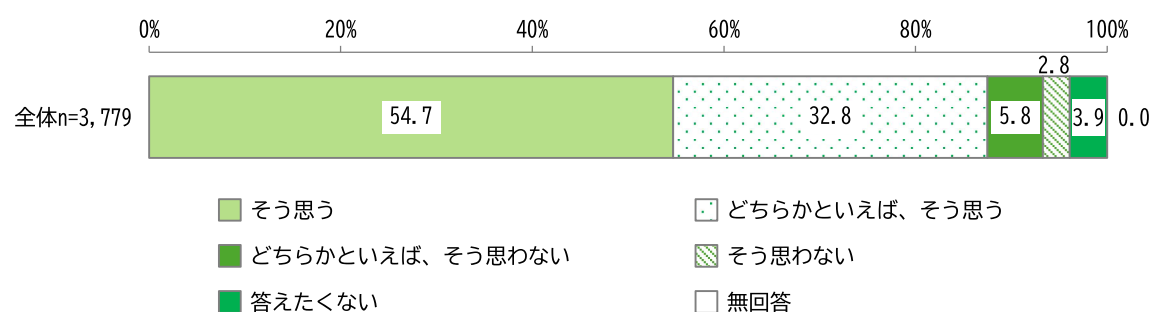
問5 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(単数回答)

自己認識について、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせると“②自分の親（保護者）から大切にされている（愛されている）と思う”（91.7%）が最も高く、次いで“③うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む”（78.5%）となっています。



問6 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(単数回答)

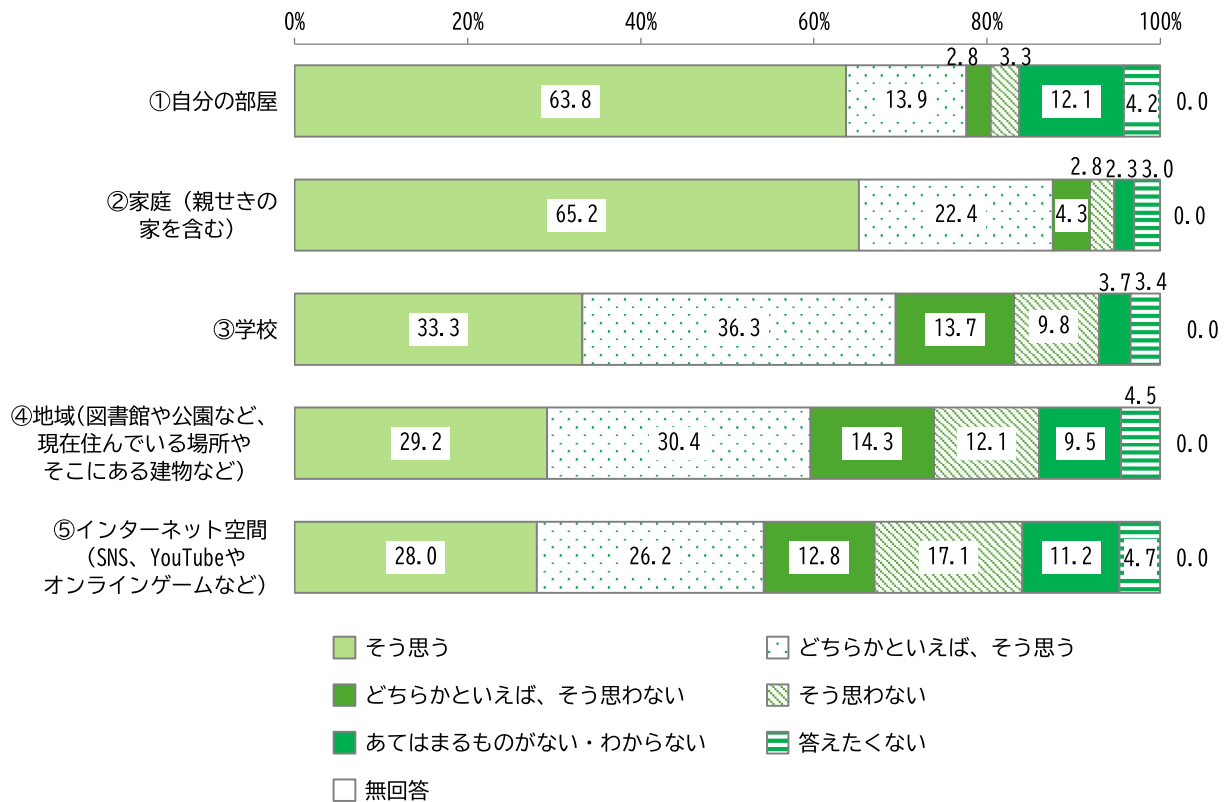
幸福感について、「そう思う」が54.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が32.8%と続きます。



問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（単数回答）

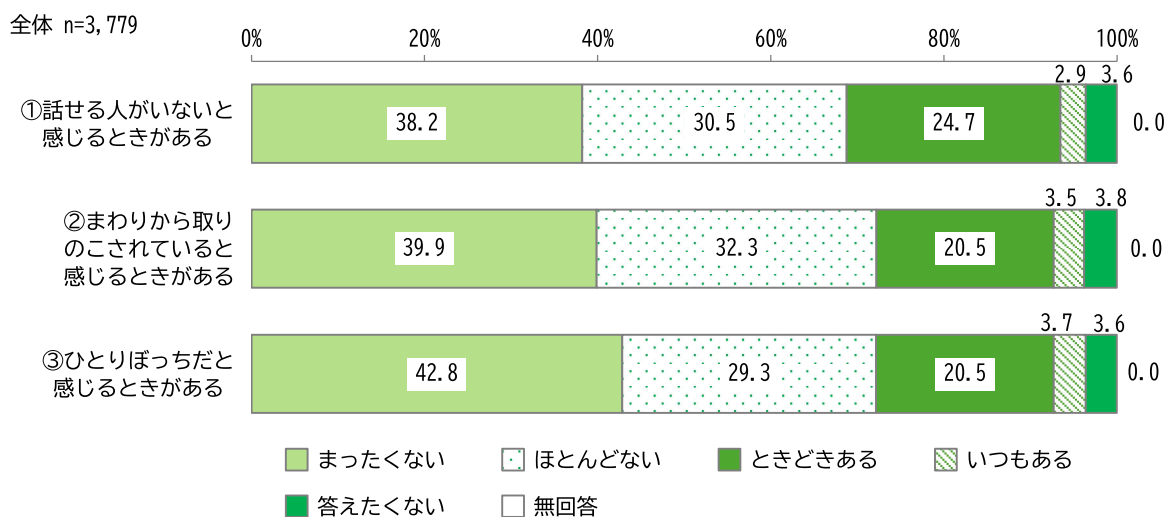
居場所になっている場所について、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると“②家庭（親せきの家を含む）”（87.6%）が最も高く、次いで“①自分の部屋”（77.7%）、“③学校”（69.6%）となっています。

全体 n=3,779



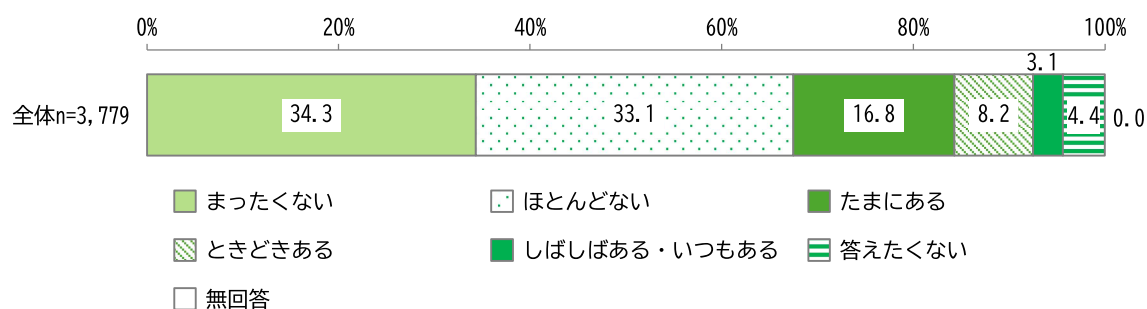
問8-1 以下の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。(単数回答)

孤独感について、「ときどきある」と「いつもある」を合わせると“①話せる人がいないと感じるときがある”(27.6%)が最も高く、次いで“③ひとりぼっちだと感じるときがある”(24.2%)となっています。



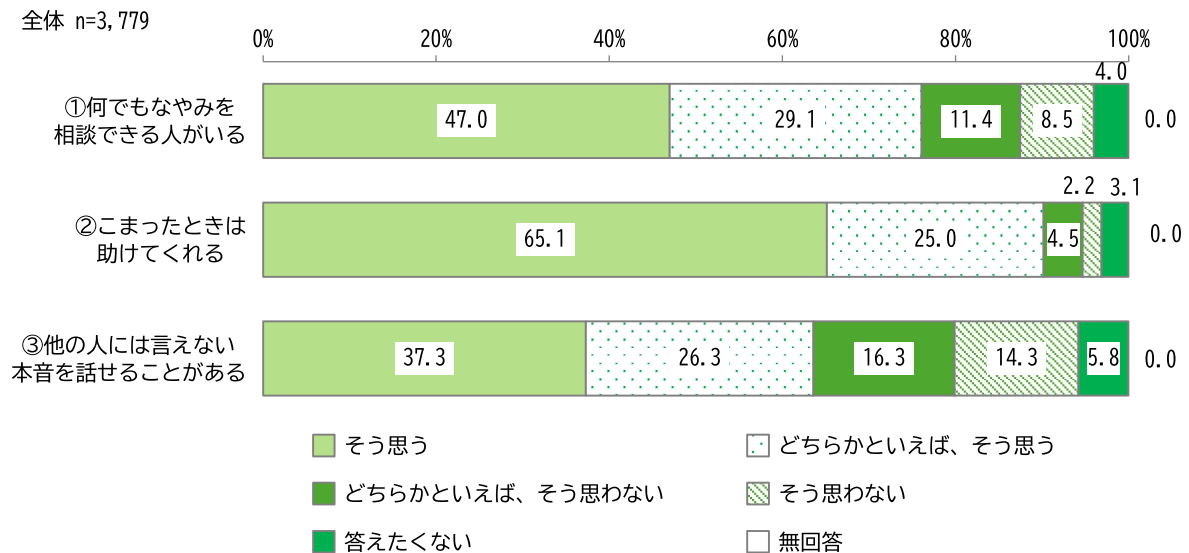
問8-2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

孤独感の程度について、「まったくない」が34.3%で最も高く、次いで「ほとんどない」が33.1%、「たまにある」が16.8%と続きます。



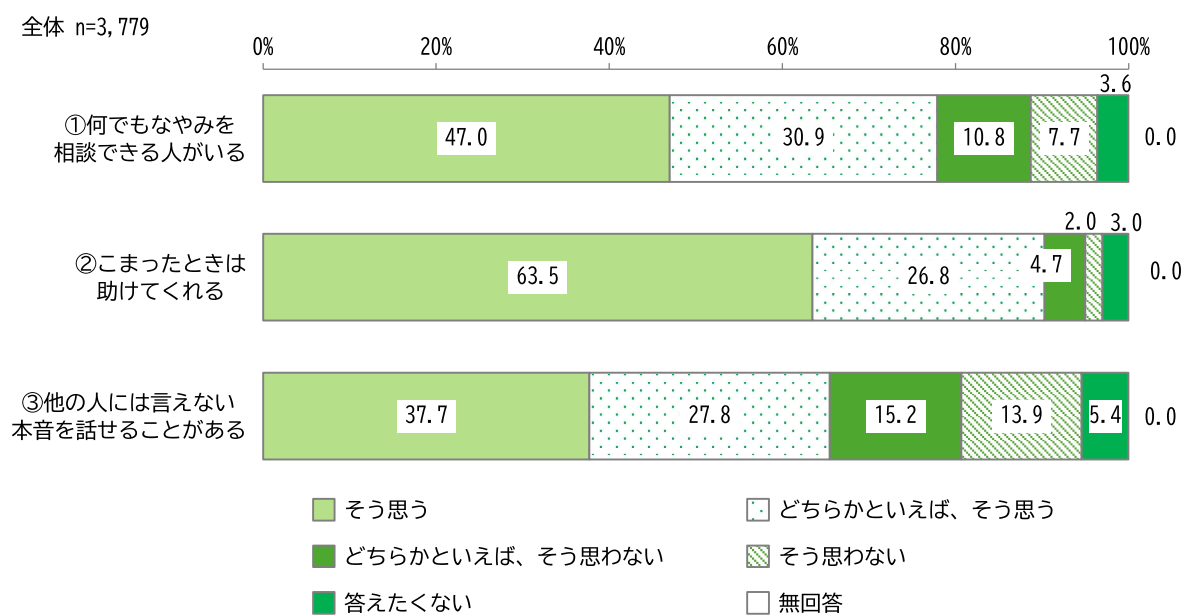
問9 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“②こまったときは助けてくれる”(90.1%)が最も高く、次いで“①何でもなやみを相談できる人がいる”(76.1%)となっています。



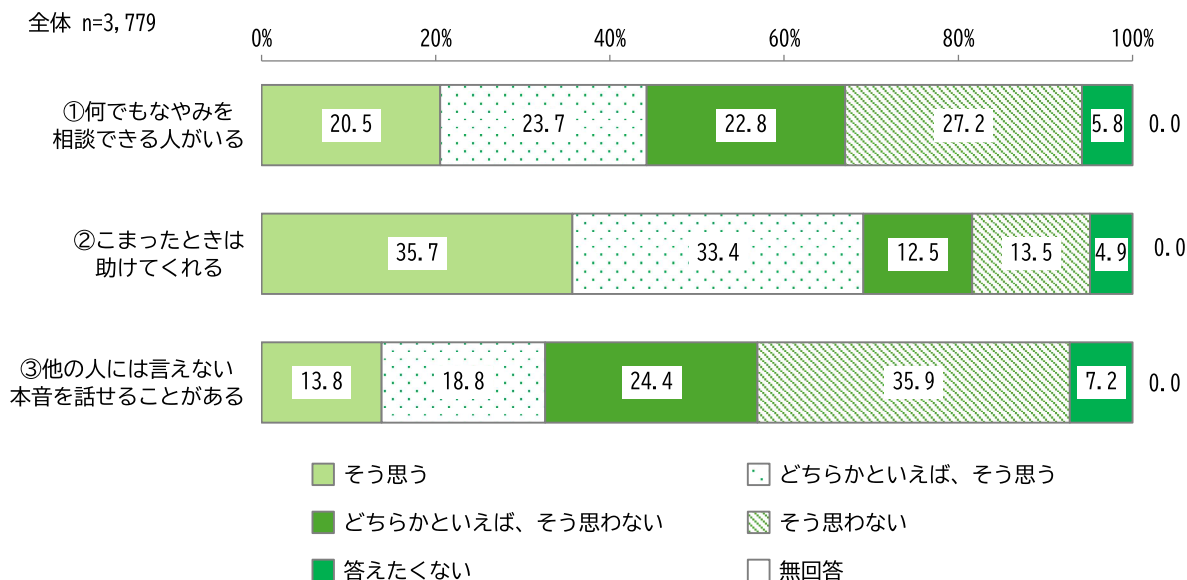
問10 学校で出会った友だち（現在通っている学校や、これまでに通っていた学校の友だちなど）とあなたのかかわりは、どのようなものですか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“②こまったときは助けてくれる”(90.3%)が最も高く、次いで“①何でもなやみを相談できる人がいる”(77.9%)となっています。



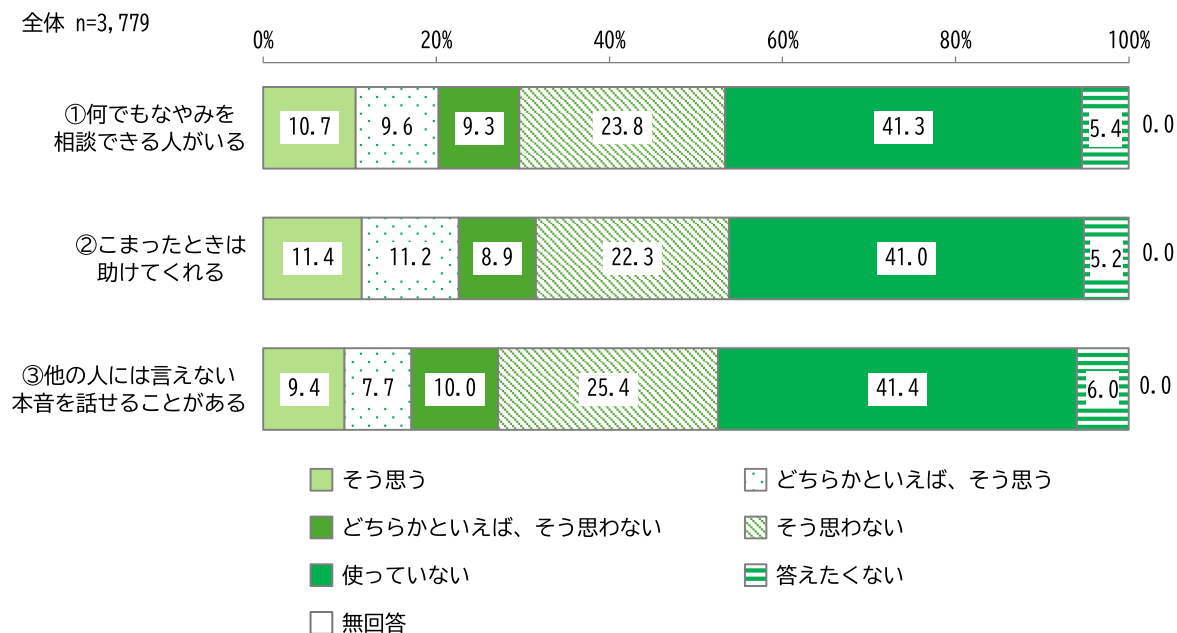
問11 地域の人（近所の人、塾や習い事での友だちなど）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“②こまったときは助けてくれる”（69.1%）が最も高く、次いで“①何でもなやみを相談できる人がある”（44.2%）となっています。



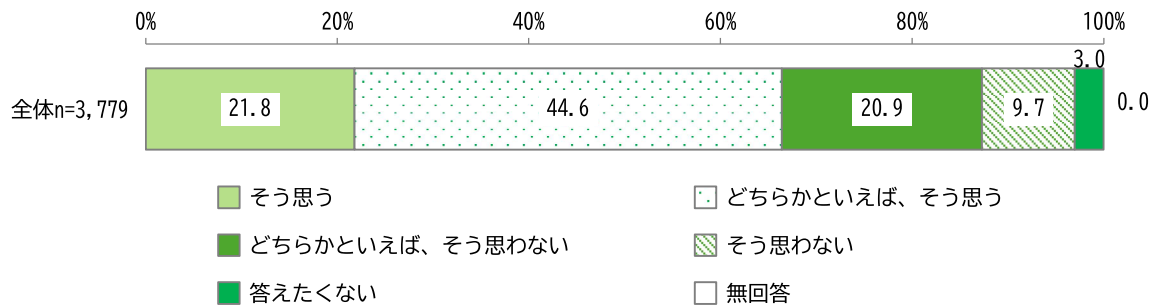
問12 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“②こまったときは助けてくれる”（22.6%）が最も高く、次いで“①何でもなやみを相談できる人がある”（20.3%）となっています。一方で、「使っていない」割合はすべての項目で4割となっています。



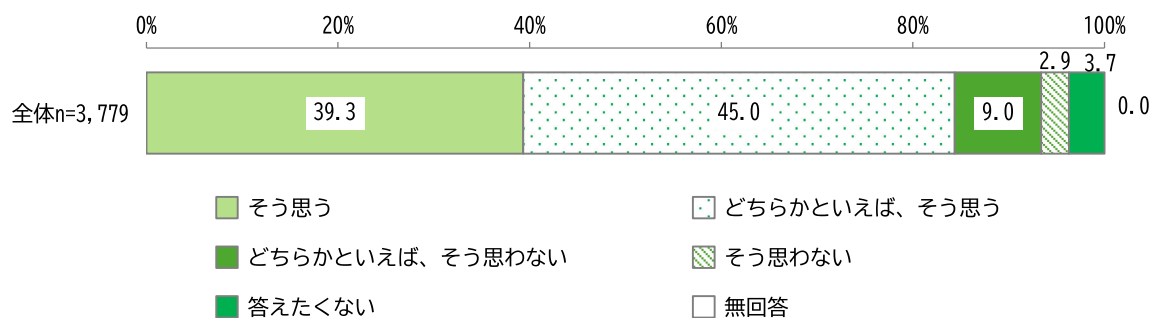
問13 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。(単数回答)

「どちらかといえば、そう思う」が44.6%で最も高く、次いで「そう思う」が21.8%、「どちらかといえば、そう思わない」が20.9%と続きます。



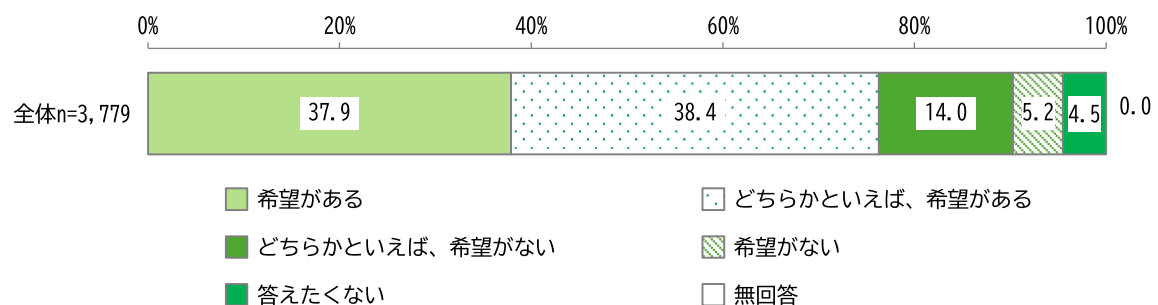
問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(単数回答)

「どちらかといえば、そう思う」が45.0%で最も高く、次いで「そう思う」が39.3%、「どちらかといえば、そう思わない」が9.0%と続きます。



問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(単数回答)

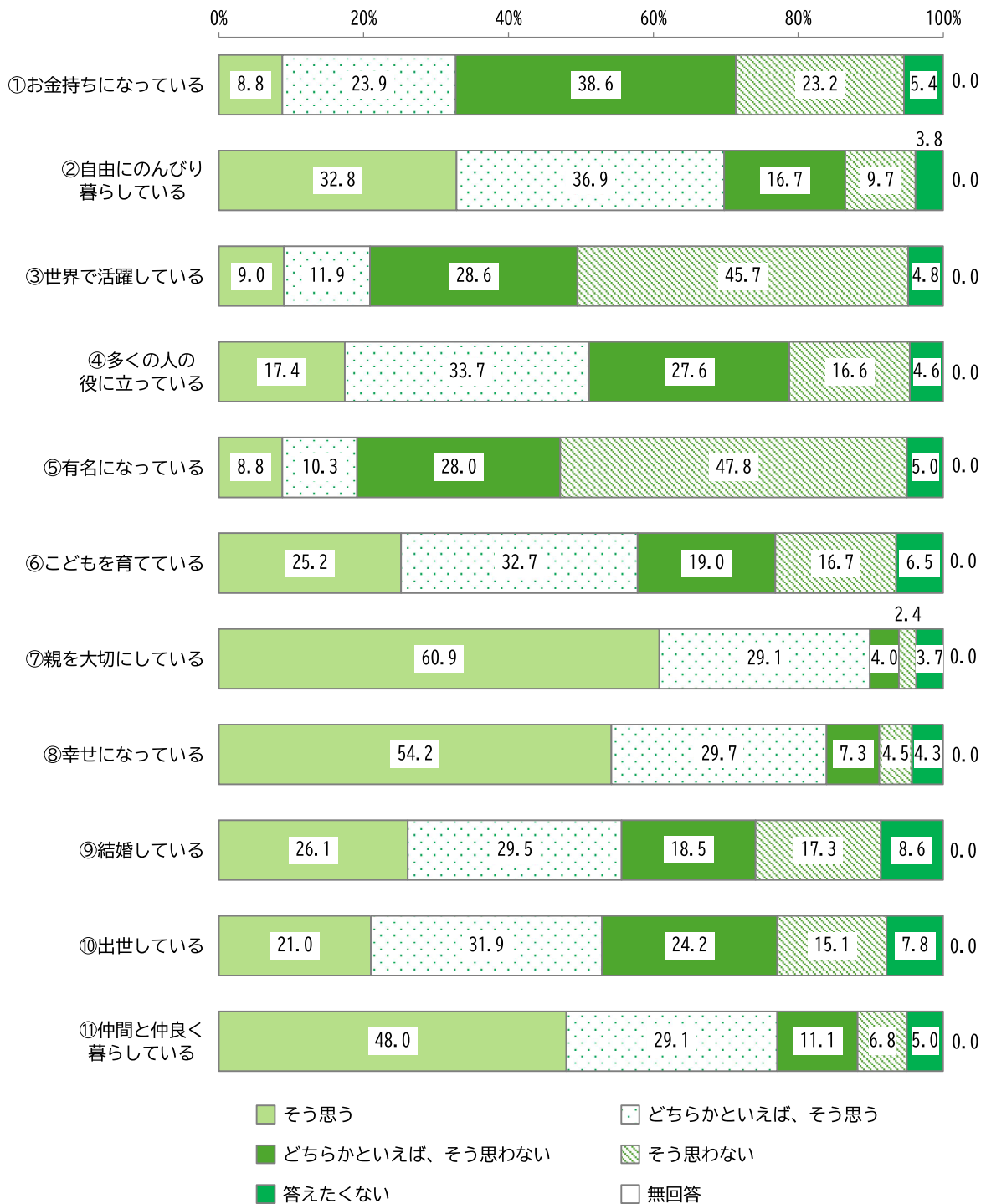
「どちらかといえば、希望がある」が38.4%で最も高く、次いで「希望がある」が37.9%、「どちらかといえば、希望がない」が14.0%と続きます。



問16 あなたが大人になったとき、どのようになっていると思いますか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“⑦親を大切にしている”(90.0%)が最も高く、次いで“⑧幸せになっている”(83.9%)、“⑪仲間と仲良く暮らしている”(77.1%)となっています。

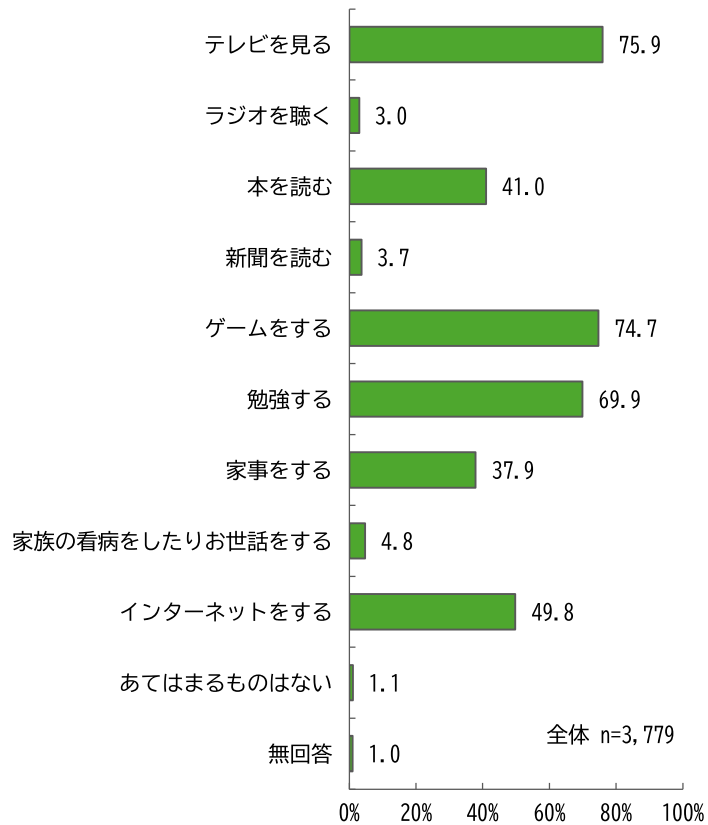
全体 n=3,779



(2) あなたの生活について

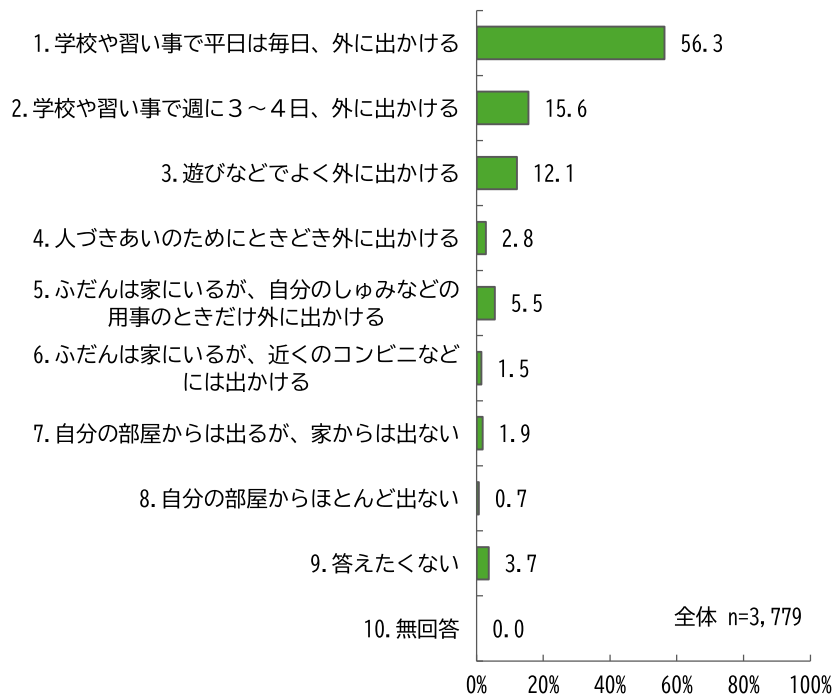
問17 ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（複数回答）

「テレビを見る」が75.9%で最も高く、次いで「ゲームをする」が74.7%、「勉強する」が69.9%と続きます。



問18 あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。(単数回答)

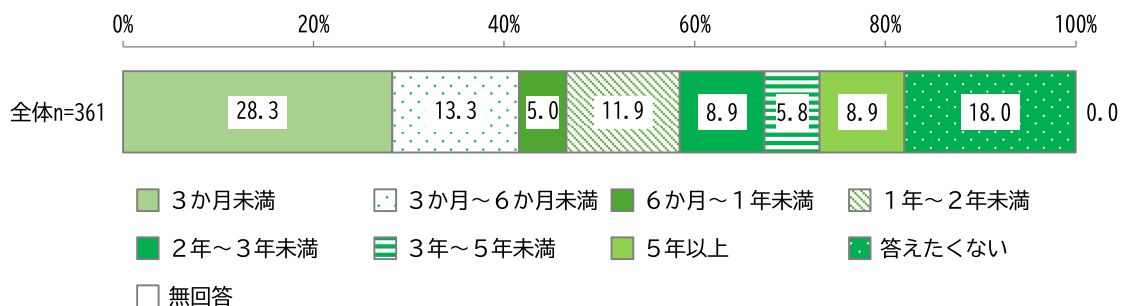
「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」が56.3%で最も高く、次いで「学校や習い事で週に3～4日、外に出かける」が15.6%、「遊びなどでよく外に出かける」が12.1%と続きます。



【問18で「5.」から「8.」を選んだ方のみ、お答えください】

問19 あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらいたちますか。(単数回答)

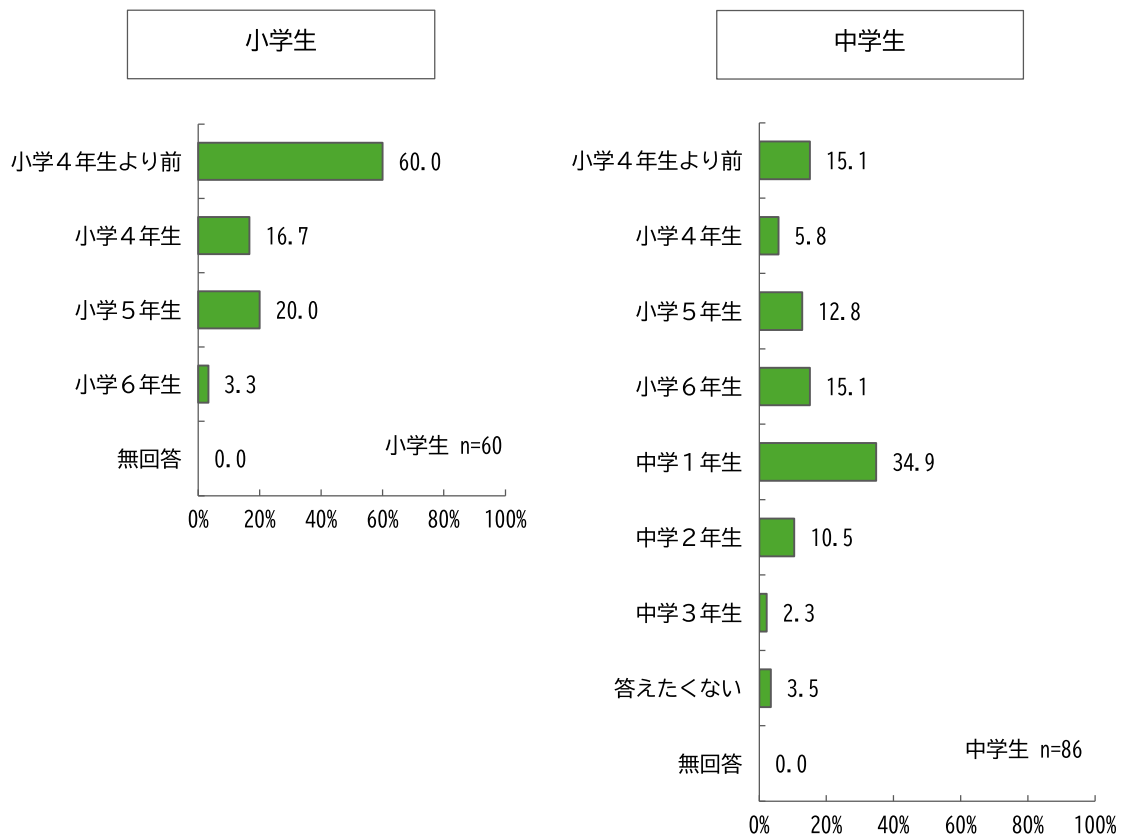
「3か月未満」が28.3%で最も高く、次いで「3か月～6か月未満」が13.3%、「1年～2年未満」が11.9%となっています。



【問19で「3. 6か月～1年未満」から「7. 5年以上」を選んだ方のみ、お答えください】

問20 あなたの外出状況が今のようになったのは、いつ頃ですか。(単数回答)

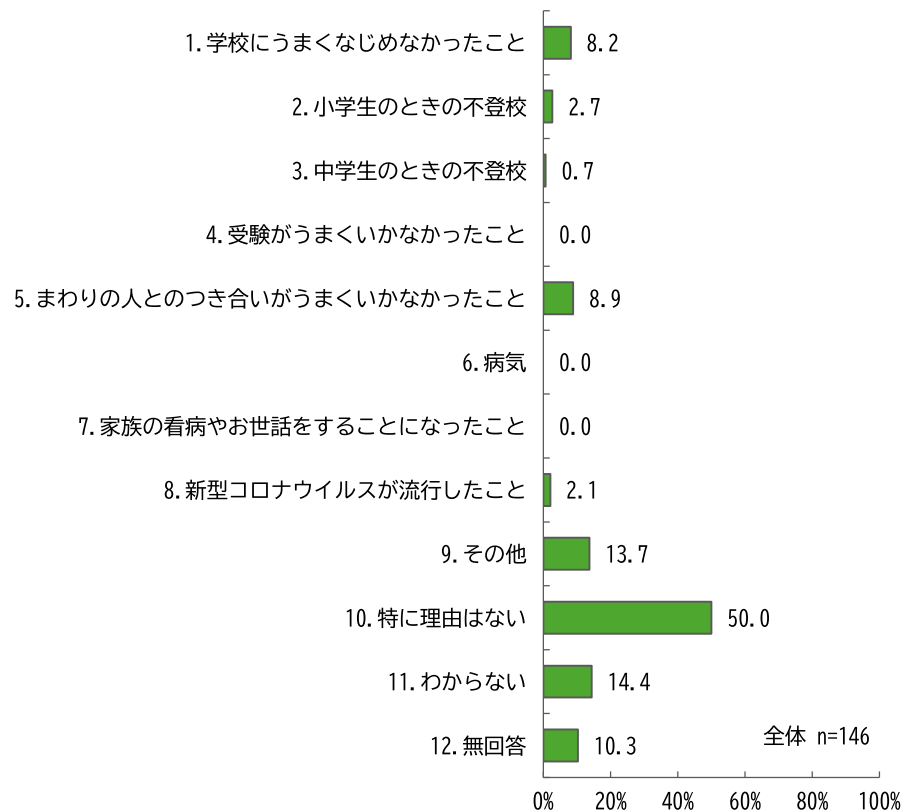
小学生では「小学4年生より前」が60.0%で最も高く、次いで「小学5年生」が20.0%となっています。中学生では、「中学1年生」が34.9%で最も高く、次いで「小学4年生より前」、「小学6年生」が各15.1%となっています。



【問19で「3. 6か月～1年未満」から「7. 5年以上」を選んだ方のみ、お答えください】

問21-1 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。（複数回答）

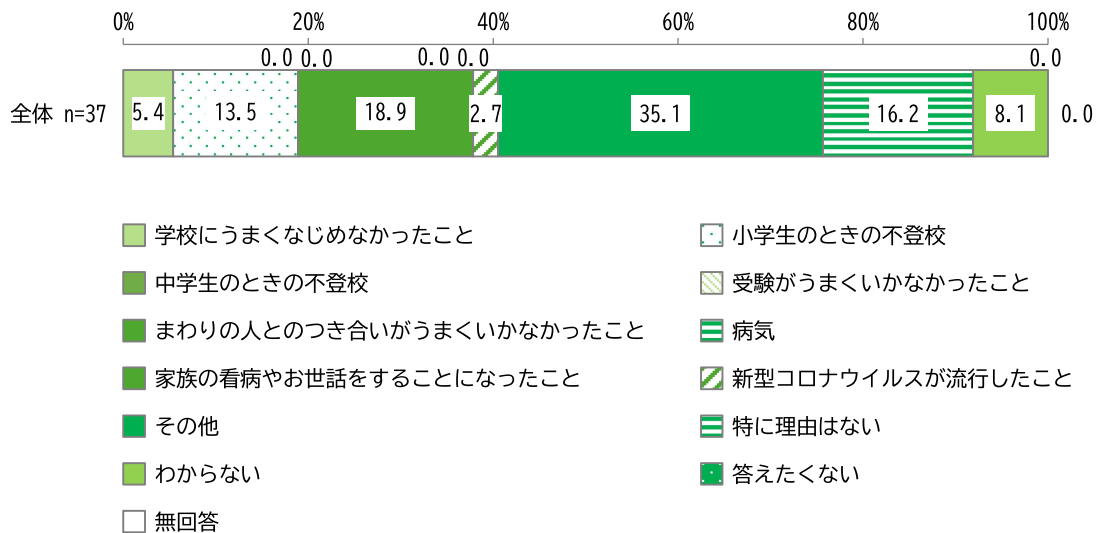
「まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと」が8.9%、「学校にうまくなじめなかったこと」が8.2%となっていますが、「特に理由はない」が50.0%と最も高くなっています。



【問21-1で「1.」から「9.」を選んだ方のみ、お答えください】

問21-2 あなたの外出状況が今ようになった最も大きな理由は何ですか。
(単数回答)

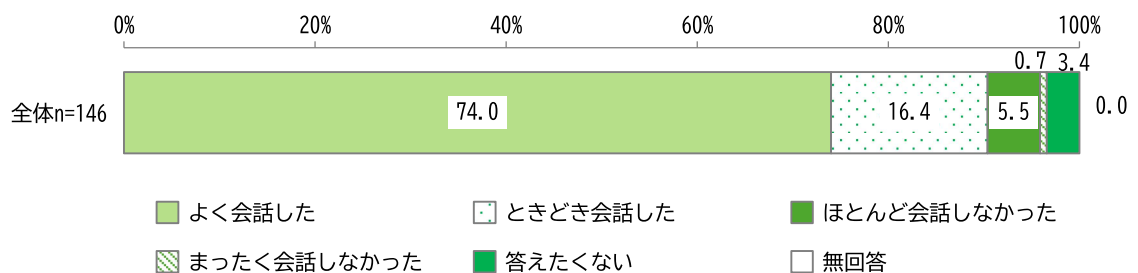
「まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと」が18.9%、「特に理由はない」が16.2%、「小学生のときの不登校」が13.5%と続きます。



【問19で「3. 6か月～1年未満」から「7. 5年以上」を選んだ方のみ、お答えください】

問22 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(単数回答)

「よく会話した」が74.0%で最も高く、次いで「ときどき会話した」が16.4%と続きます。

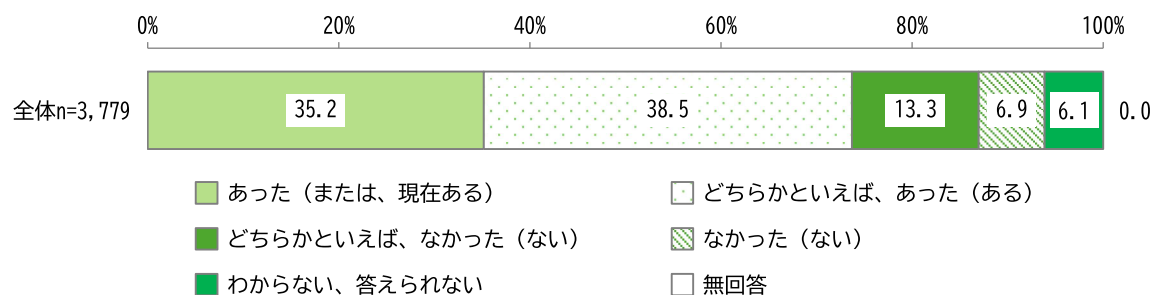


3 悩みや不安の有無

(1) 悩みや不安の有無について

問23 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。最もあてはまるものを選んでください。
(単数回答)

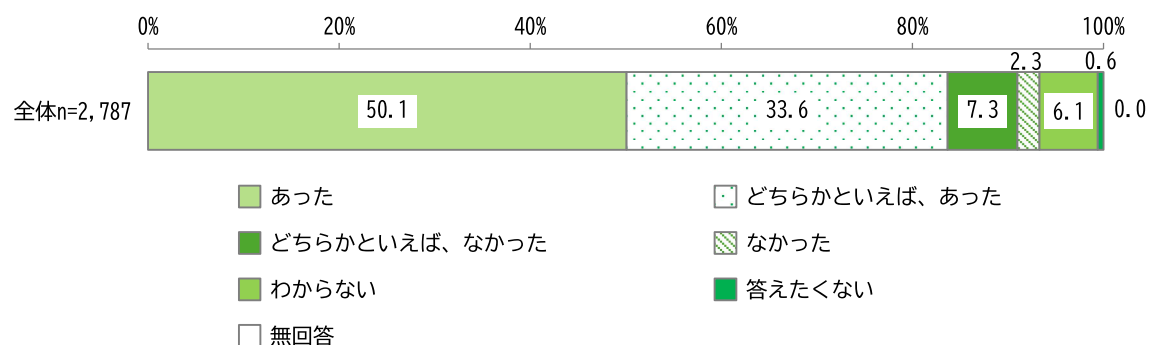
「どちらかといえば、あった（ある）」が38.5%で最も高く、次いで「あった（または、現在ある）」が35.2%、「どちらかといえば、なかった（ない）」が13.3%と続きます。



【問23で「1. あった」または「2. どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください】

問24 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。(単数回答)

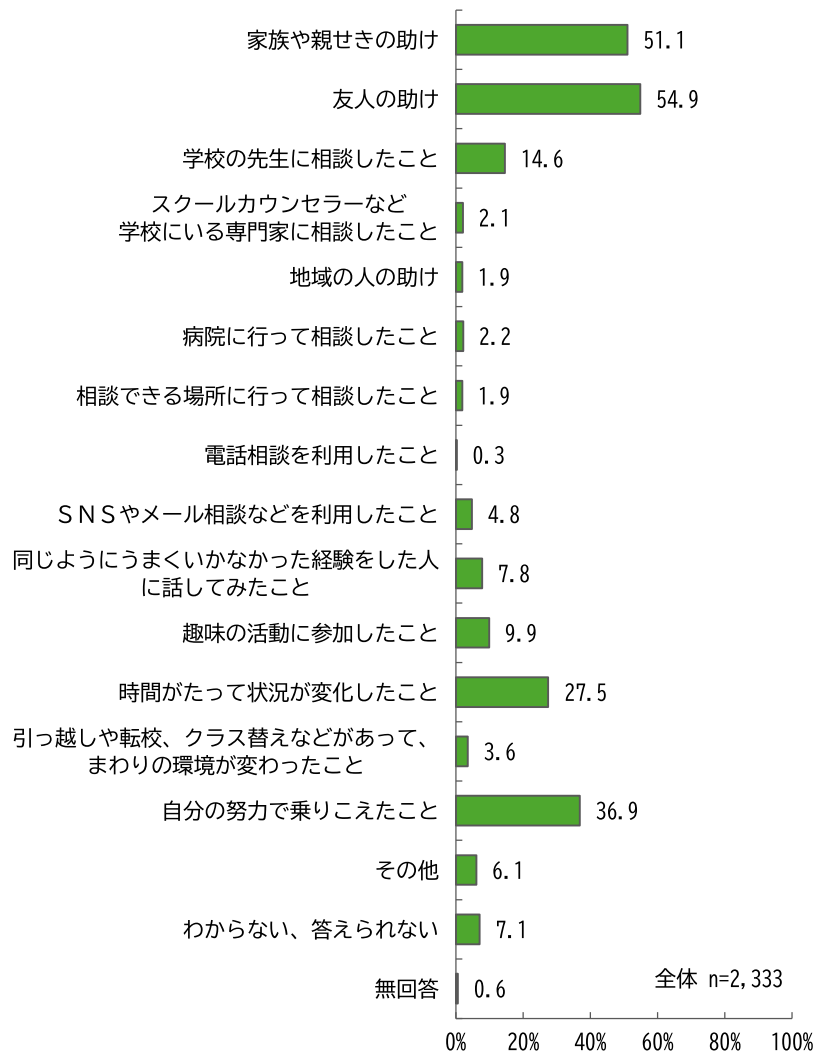
「あった」が50.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば、あった」が33.6%と続きます。



【問24で「1. あった」または「2. どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください】

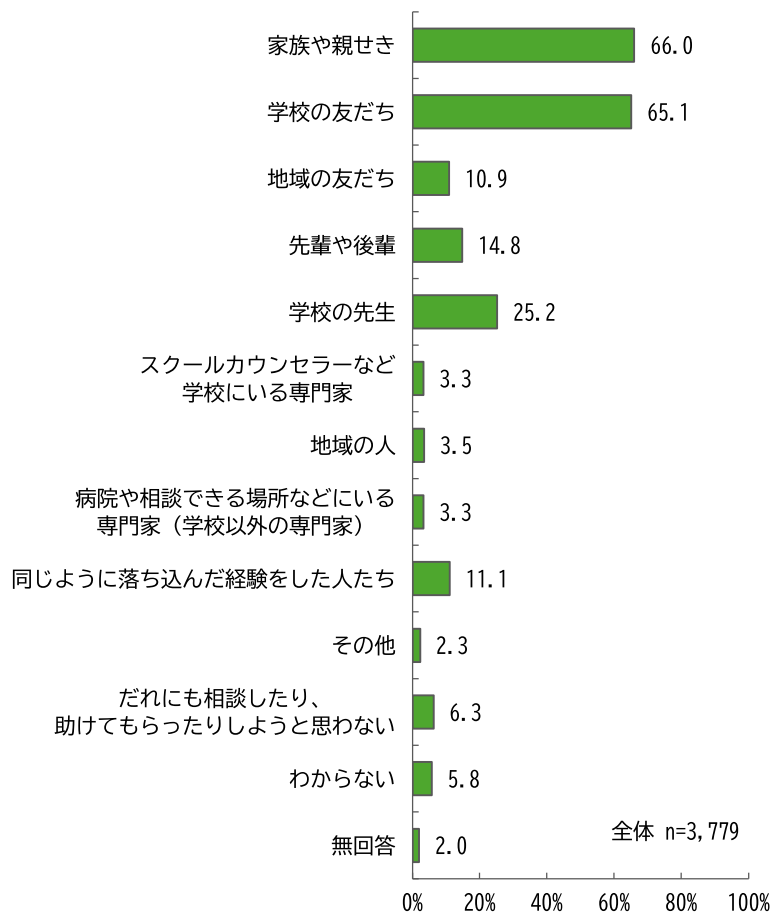
問25 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。(複数回答)

「友人の助け」が54.9%で最も高く、次いで「家族や親せきの助け」が51.1%、「自分の努力で乗り越えたこと」が36.9%と続きます。



問26 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、こういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。（複数回答）

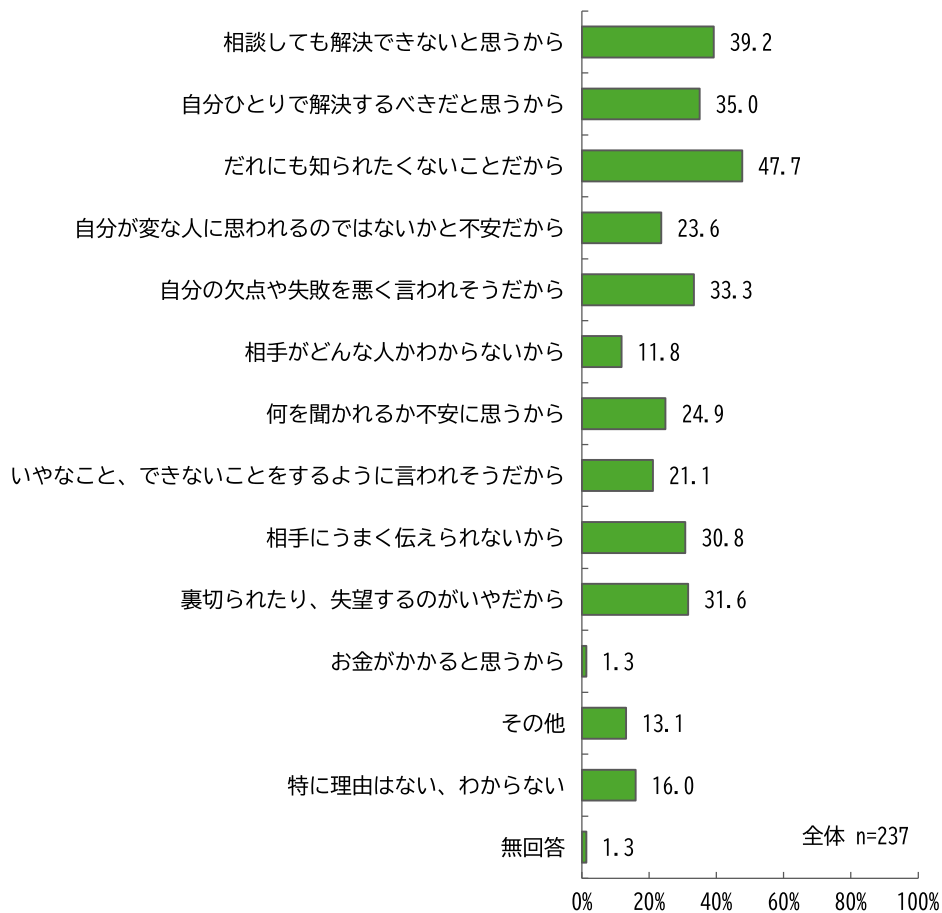
「家族や親せき」が66.0%で最も高く、次いで「学校の友だち」が65.1%、「学校の先生」が25.2%と続きます。



【問26で「11. だれにも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」を選んだ方のみ、お答えください】

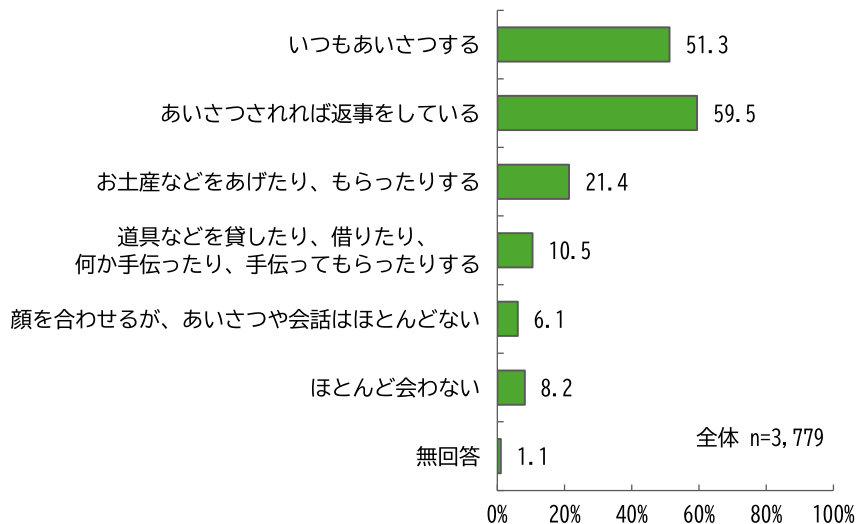
問27 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。（複数回答）

「だれにも知られたくないことだから」が47.7%で最も高く、次いで「相談しても解決できないと思うから」が39.2%、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」が35.0%と続きます。



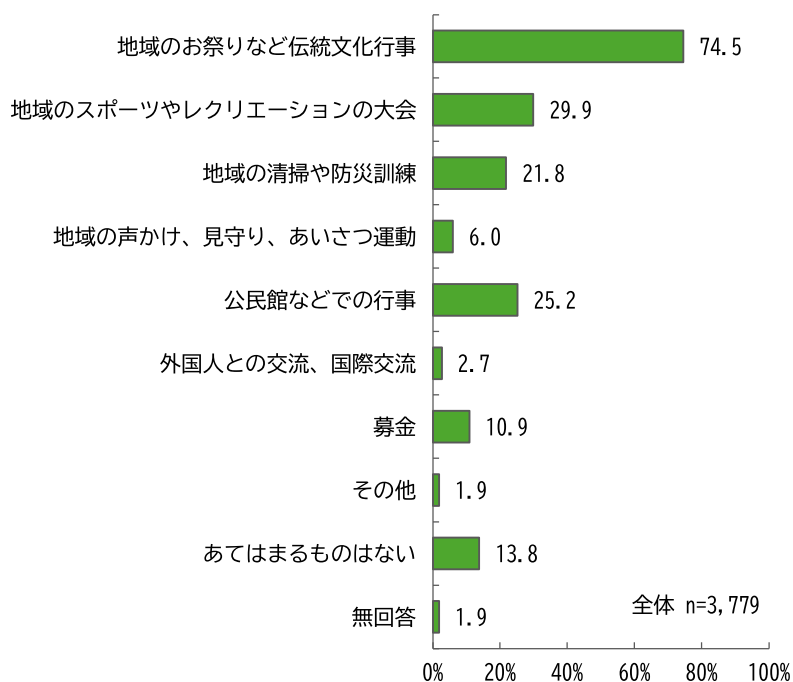
問28 あなたと近所の人について、次のようなことはありますか。(複数回答)

「あいさつされれば返事をしている」が59.5%で最も高く、次いで「いつもあいさつする」が51.3%、「お土産などをあげたり、もらったりする」が21.4%と続きます。



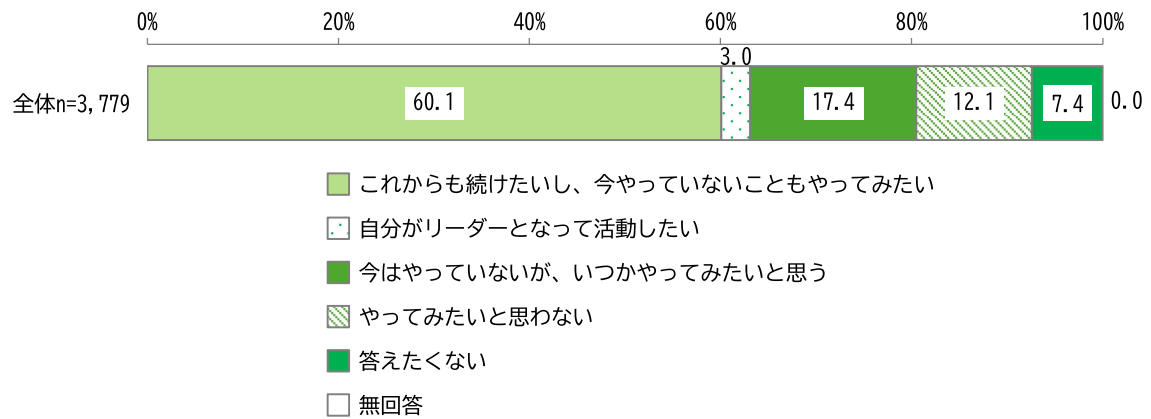
問29 あなたは最近1年間で、次のようなことに参加したり、行動したことがありますか。(複数回答)

「地域のお祭りなど伝統文化行事」が74.5%で最も高く、次いで「地域のスポーツやレクリエーションの大会」が29.9%、「公民館などでの行事」が25.2%と続きます。



問30 あなたは、問29のような活動を、この先、どのように考えていますか。
(単数回答)

「これからも続けたいし、今やっていないこともやってみたい」が60.1%で最も高く、次いで「今はやっていないが、いつかやってみたいと思う」が17.4%と続きます。

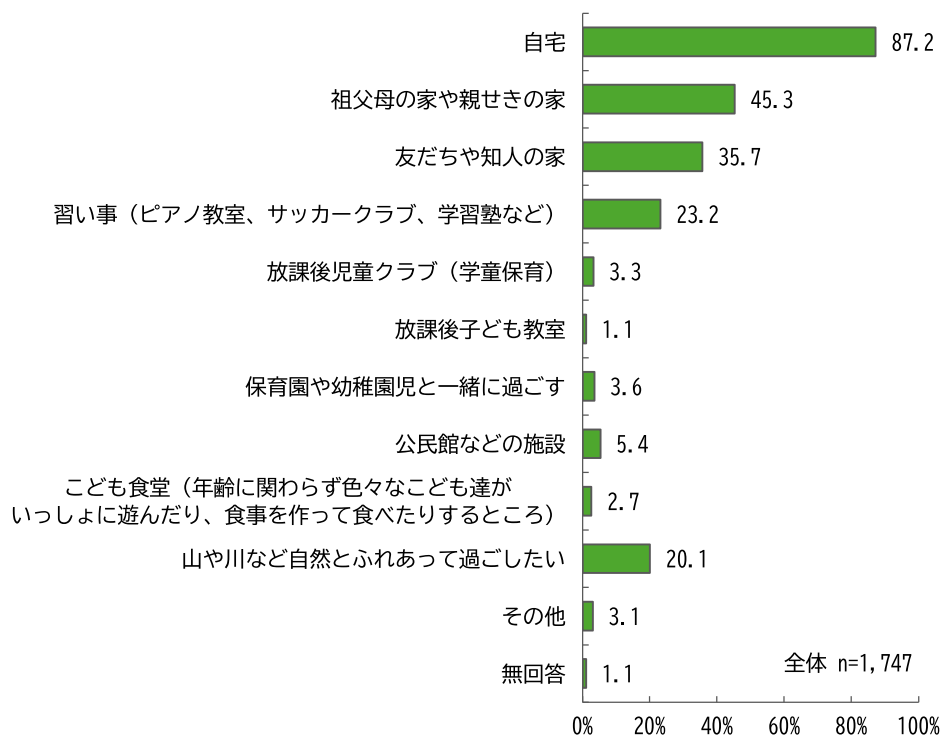


4 長期休暇の過ごし方

【小学4年生から小学6年生にお聞きします】

問31 あなたは、夏休みなどの長い休みがある時に、昼間はどこで過ごしたいですか。
(複数回答)

「自宅」が87.2%で最も高く、次いで「祖父母の家や親せきの家」が45.3%、「友だちや知人の家」が35.7%と続きます。



■問31 学年別クロス

	自宅	祖父母の家や親せきの家	友だちや知人の家	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	保育園や幼稚園児と一緒に過ごす	公民館などの施設	こども食堂	山や川など自然とふれあって過ごしたい	その他	無回答
小4 n=586	84.0	44.5	27.6	23.4	5.3	1.2	3.1	6.8	3.8	19.6	3.2	1.4
小5 n=604	87.9	49.7	38.7	22.4	2.3	0.5	4.6	5.1	2.6	20.7	3.3	0.8
小6 n=557	89.9	41.5	40.9	23.9	2.3	1.6	3.1	4.3	1.8	20.1	2.7	1.1

5 ヤングケアラーについて

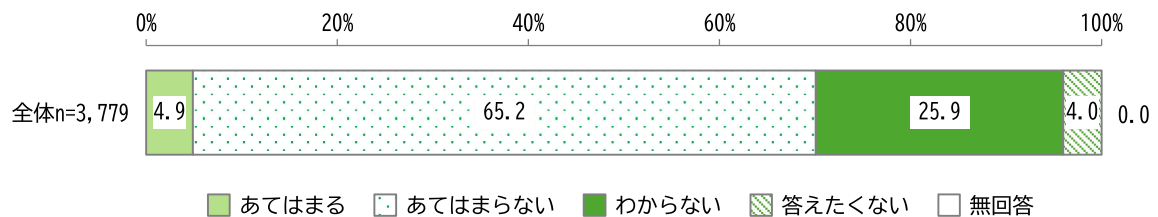
■ ヤングケアラーのイメージ（例）



©一般社団法人日本ケアラー連盟「こんな人がヤングケアラーです」

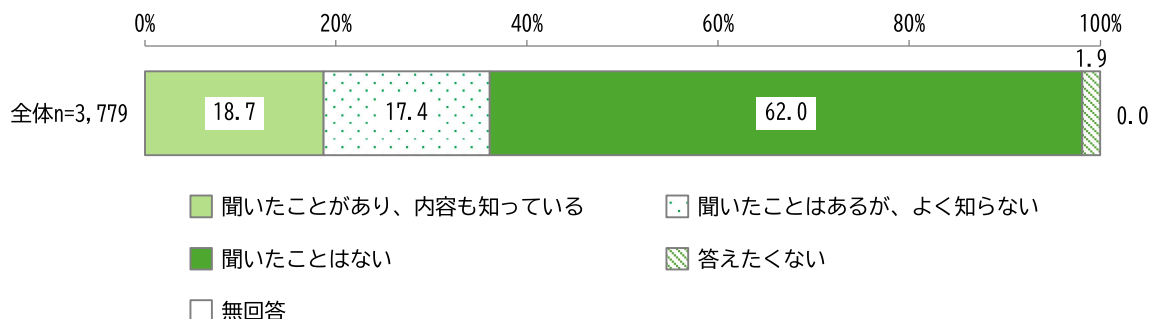
問32 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（単数回答）

「あてはまる」が4.9%、「あてはまらない」が65.2%となっています。



問33 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(単数回答)

「聞いたことはない」が62.0%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が18.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が17.4%となっています。



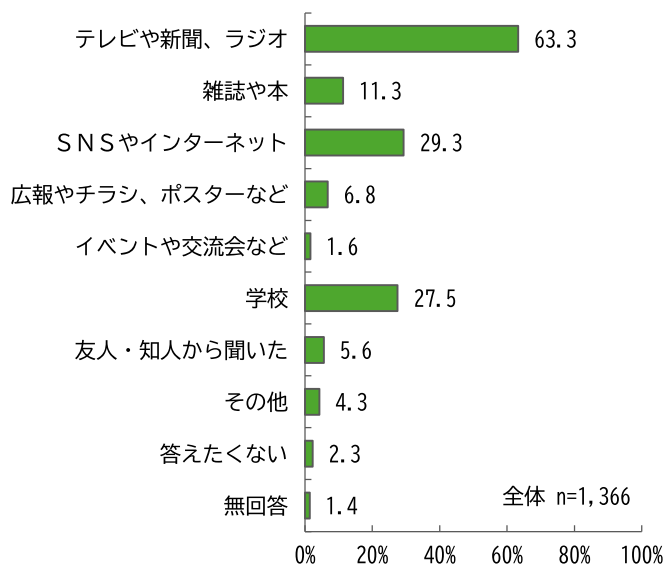
■問32・33 学年別クロス

	問32 「あてはまる」		問33 聞いたことがあり、内容も知っている	
	件	%	件	%
小4 n=586	60	10.2	23	3.9
小5 n=604	54	8.9	41	6.8
小6 n=557	20	3.6	52	9.3
中1 n=754	28	3.7	136	18.0
中2 n=556	10	1.8	160	28.8
中3 n=722	14	1.9	295	40.9

【問33で「1. 聞いたことがあり、内容(ないよう)も知っている」または「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問34 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(複数回答)

「テレビや新聞、ラジオ」が63.3%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が29.3%、「学校」が27.5%と続きます。

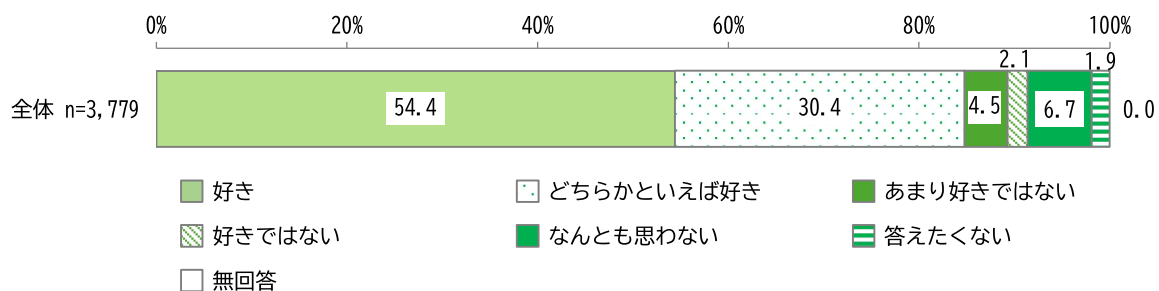


6 飯田市について

(1) 飯田市について

問35 あなたは、飯田市が好きですか。(単数回答)

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると、84.8%が『好き』と回答しています。一方で、「あまり好きではない」と「好きではない」を合わせた、6.6%は『好きではない』と回答しています。



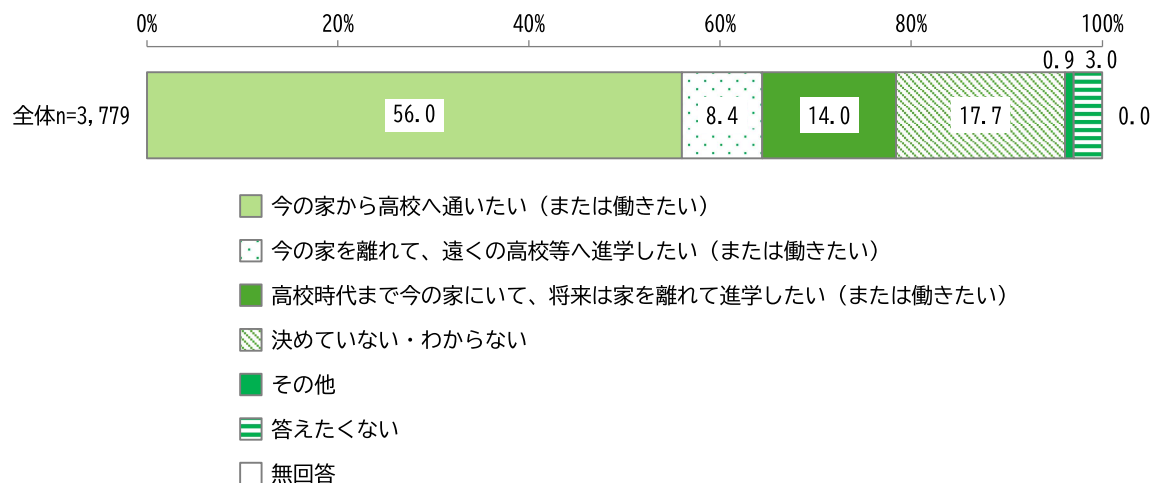
■問35 学年別クロス

	好き	どちらかとい えば好き	あまり好き ではない	好きでは ない	なんとも 思わない	答えたく ない	無回答
小4 n=586	77.0	14.8	2.4	0.7	2.4	2.7	0.0
小5 n=604	67.7	23.0	3.0	0.8	4.0	1.5	0.0
小6 n=557	63.0	27.5	2.2	2.0	4.7	0.7	0.0
中1 n=754	49.5	32.5	4.9	2.5	8.2	2.4	0.0
中2 n=556	39.0	35.8	8.1	3.1	11.7	2.3	0.0
中3 n=722	35.2	45.3	6.2	3.2	8.4	1.7	0.0

(2) あなたの今後について

問36 あなたは、中学卒業後の進路をどのように考えていますか。(単数回答)

「今の家から高校へ通いたい（または働きたい）」が56.0%で最も高く、次いで「決めていない・わからない」が17.7%、「高校時代まで今の家にいて、将来は家を離れて進学したい（または働きたい）」が14.0%と続きます。

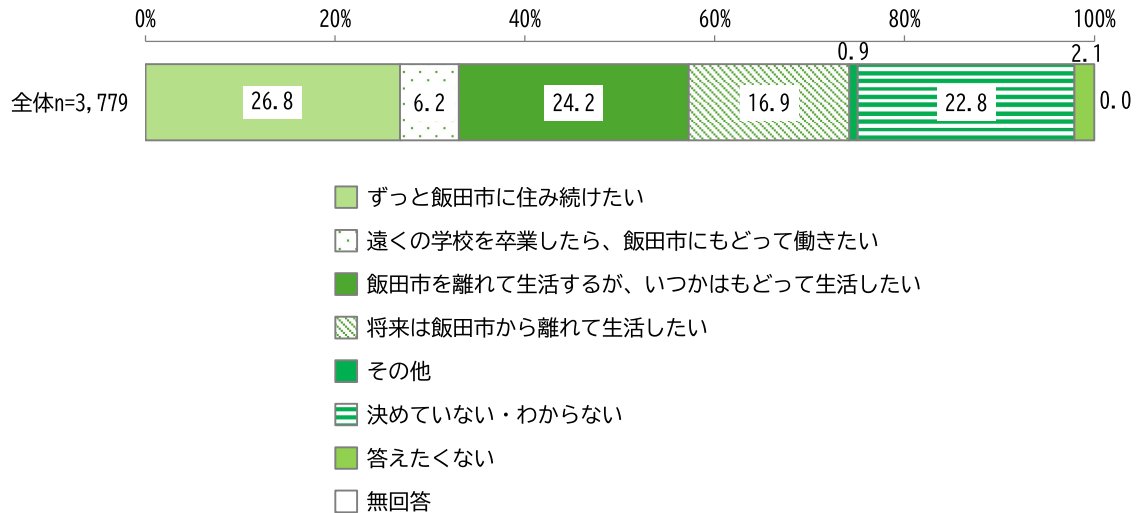


■問36 学年別クロス

	今の家から高校へ通いたい（または働きたい）	今の家を離れて、遠くの高校等へ進学したい（または働きたい）	高校時代まで今の家にいて、将来は家を離れて進学したい（または働きたい）	決めていない・わからない	その他	答えたくない	無回答
小4 n=586	54.6	6.5	7.7	24.9	0.9	5.5	0.0
小5 n=604	51.2	9.8	10.1	25.0	1.2	2.8	0.0
小6 n=557	56.4	8.4	11.1	20.3	1.3	2.5	0.0
中1 n=754	52.1	9.7	15.6	19.4	0.9	2.3	0.0
中2 n=556	55.8	7.6	17.6	15.3	0.4	3.4	0.0
中3 n=722	65.0	7.9	20.2	4.0	0.7	2.2	0.0

問37 あなたは、将来、飯田市に住みたいですか。(単数回答)

「ずっと飯田市に住み続けたい」が26.8%で最も高く、次いで「飯田市を離れて生活するが、いつかはもどって生活したい」が24.2%、「決めていない・わからない」が22.8%と続きます。



■問37 学年別クロス

	ずっと飯田市に住み続けたい	遠くの学校を卒業したら、飯田市にもどって働きたい	飯田市を離れて生活するが、いつかはもどって生活したい	将来は飯田市から離れて生活したい	決めていない・わからない	その他	答えたくない	無回答
小4 n=586	44.7	10.2	20.8	8.7	1.0	11.3	3.2	0.0
小5 n=604	36.9	5.6	25.5	9.8	2.2	18.4	1.7	0.0
小6 n=557	29.4	6.1	26.6	11.5	0.9	24.6	0.9	0.0
中1 n=754	20.8	5.6	24.3	21.1	0.4	26.0	1.9	0.0
中2 n=556	18.2	5.0	24.5	22.8	0.4	26.6	2.5	0.0
中3 n=722	14.5	5.1	24.0	24.9	0.8	28.3	2.4	0.0

第3章

小学4年生～中学3年生保護者 調査結果

第3章 小学4年生～中学3年生保護者調査結果

1 あなたのことについて

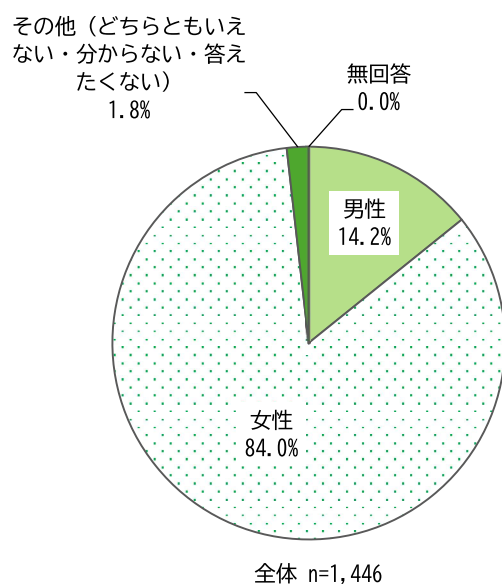
(1) 回答者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

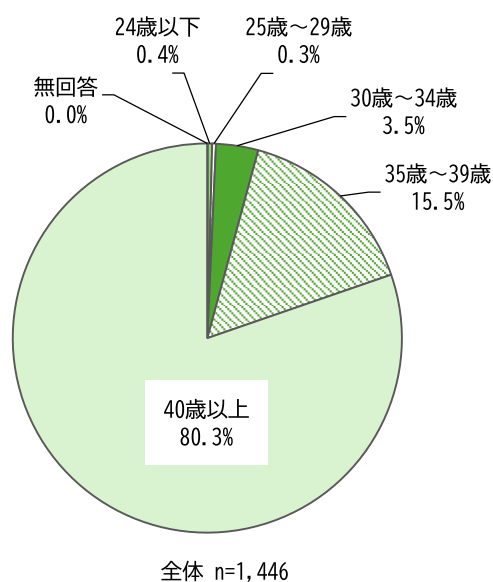
問2-1 あなたの年齢についてお答えください。(単数回答)

回答者の属性は、以下のとおりです。

問1 性別



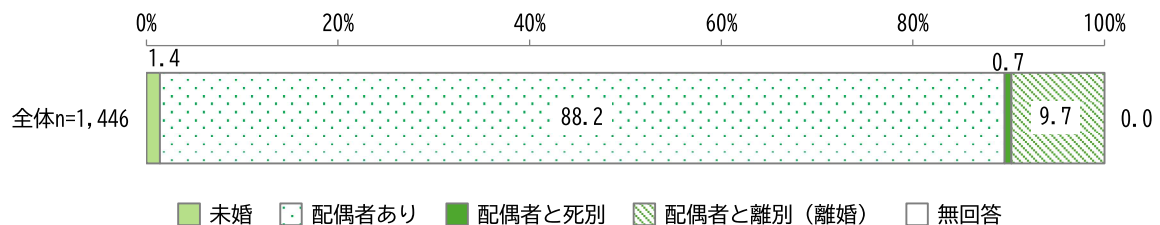
問2-1 年齢



(2) 婚姻状況

問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(単数回答)

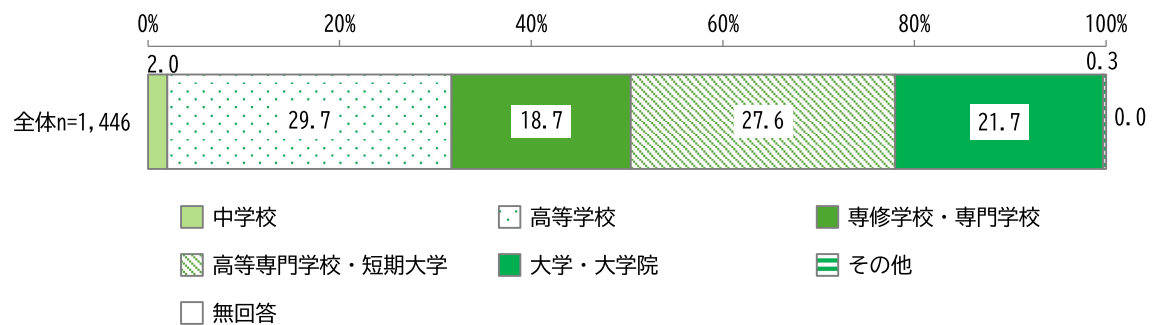
「配偶者あり」が88.2%で最も高く、次いで「配偶者と離別（離婚）」が9.7%となっています。



(3) 就学状況

問4 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(単数回答)

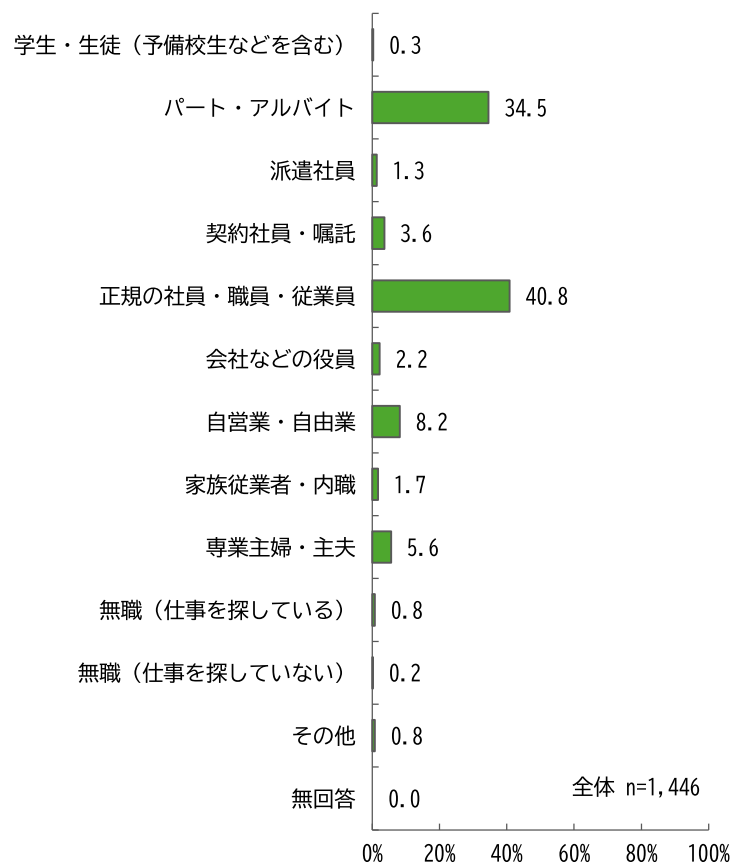
「高等学校」が29.7%で最も高く、次いで「高等専門学校・短期大学」が27.6%、「大学・大学院」が21.7%と続きます。



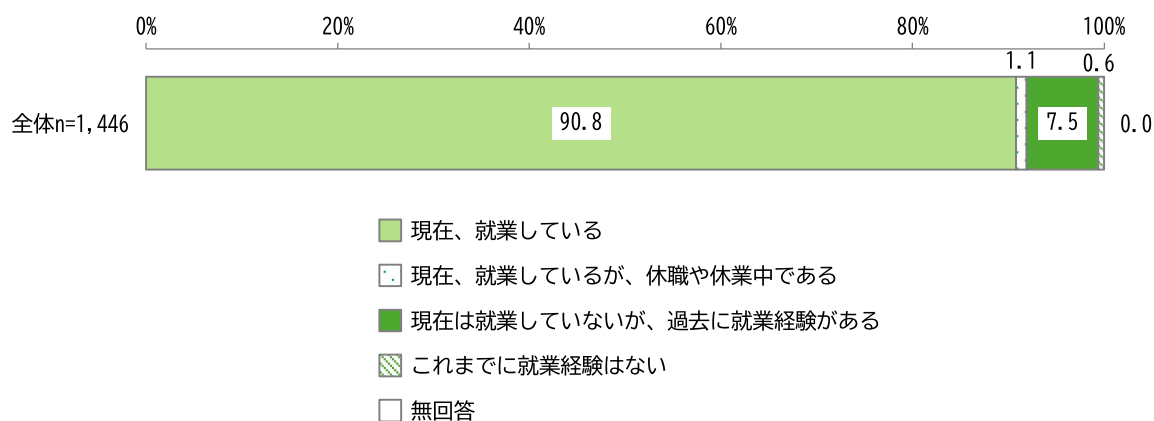
(4) 就労状況

問5 あなたの現在の仕事をお答えください。(単数回答)

現在の就労状況は、「正規の社員・職員・従業員」が40.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が34.5%、「自営業・自由業」が8.2%となっています。

問6 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)
(単数回答)

「現在、就業している」が90.8%で最も高く、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が7.5%と続きます。

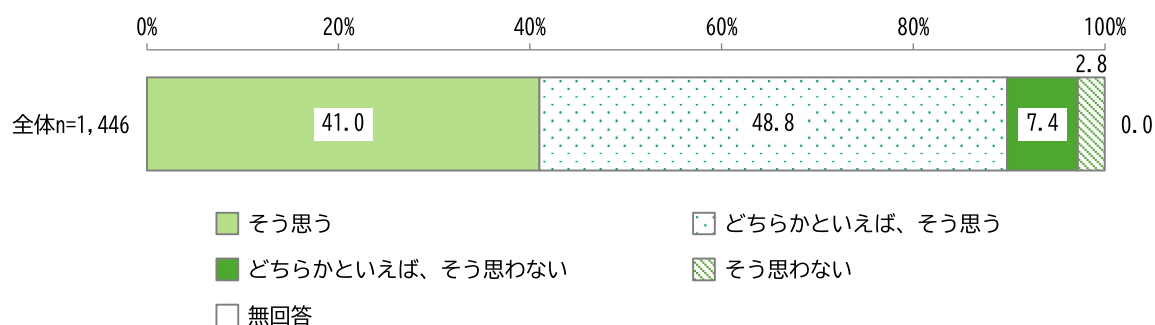


2 あなたの日頃の意識と生活について

(1) あなたの考えについて

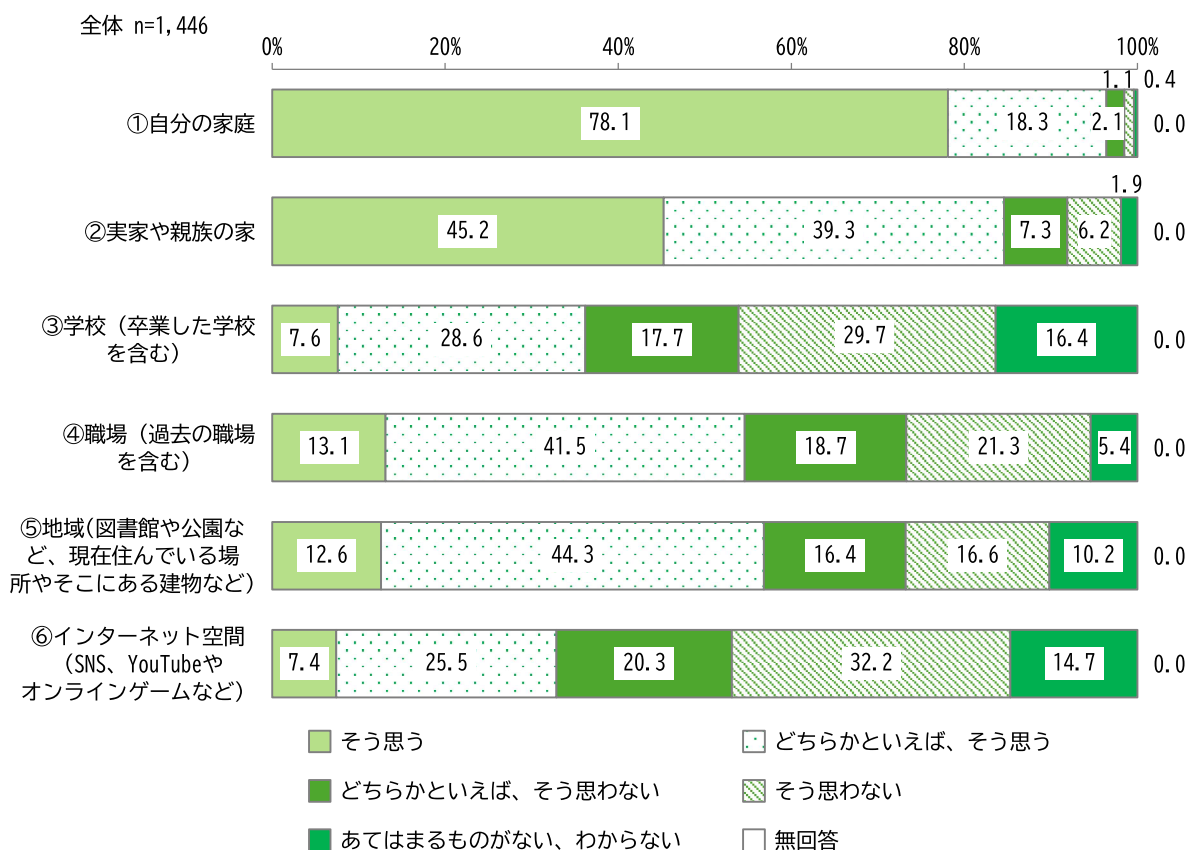
問7 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(単数回答)

幸福感について、「どちらかといえば、そう思う」が48.8%で最も高く、次いで「そう思う」が41.0%と続きます。



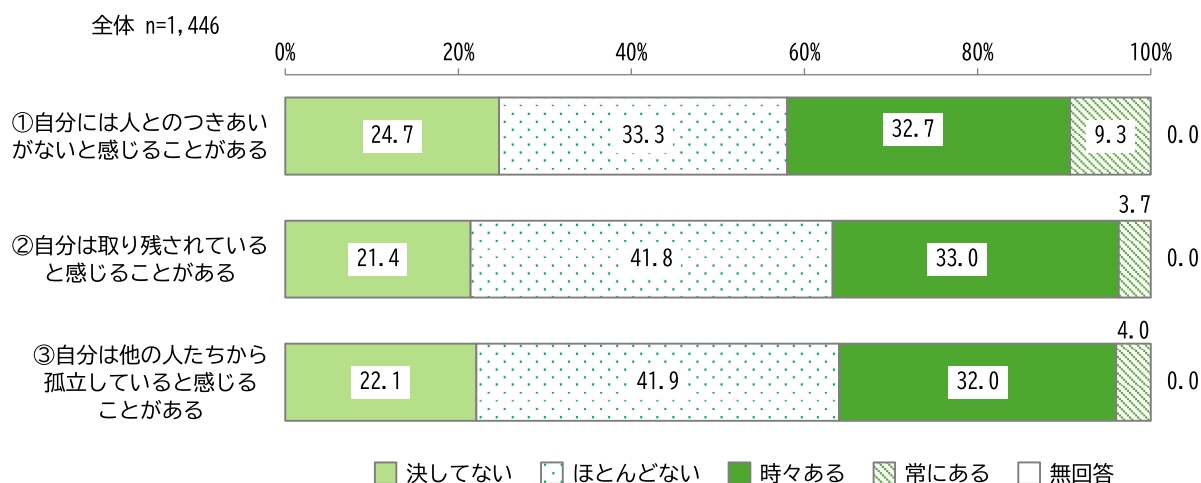
問8 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。(単数回答)

居場所になっている場所について、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると“①自分の家庭” (96.4%) が最も高く、次いで“②実家や親族の家” (84.5%) となっています。



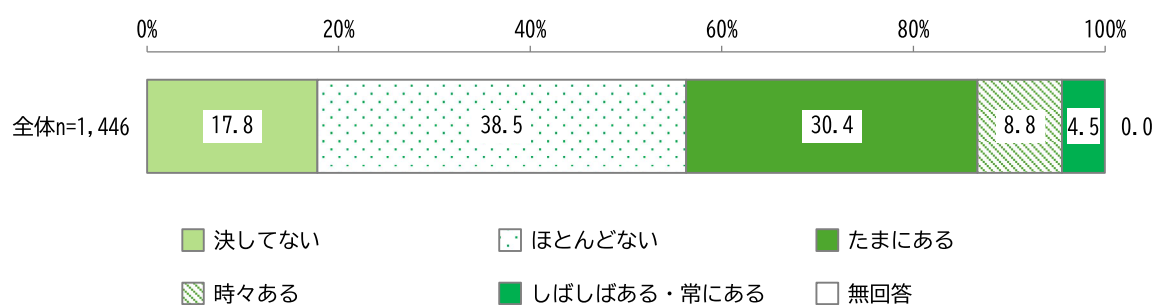
問9-1 以下の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。(単数回答)

孤独感について、「時々ある」と「常にある」を合わせると“①自分には人とのつきあいがないと感じることがある”(42.0%)が最も高く、次いで“②自分を取り残されていると感じることがある”(36.7%)となっています。



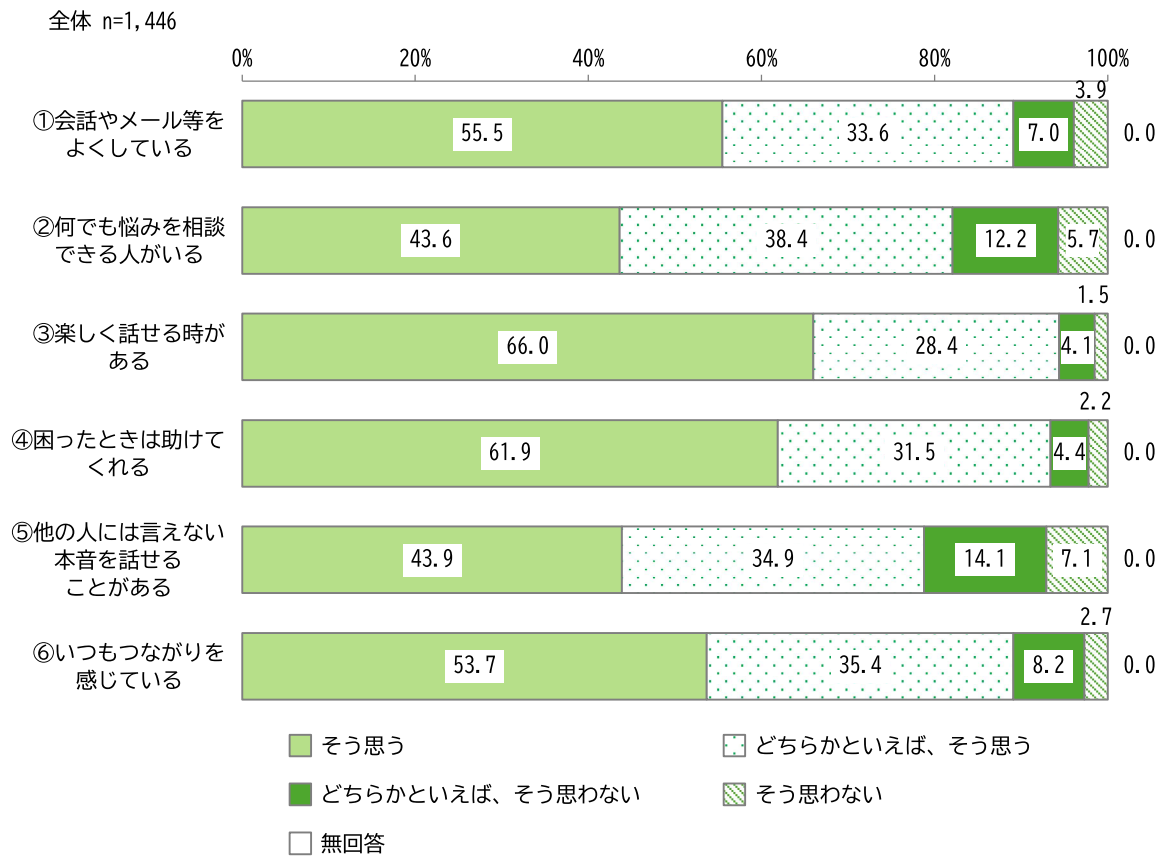
問9-2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

孤独感の程度について、「ほとんどない」が38.5%で最も高く、次いで「たまにある」が30.4%、「決してない」が17.8%となっています。



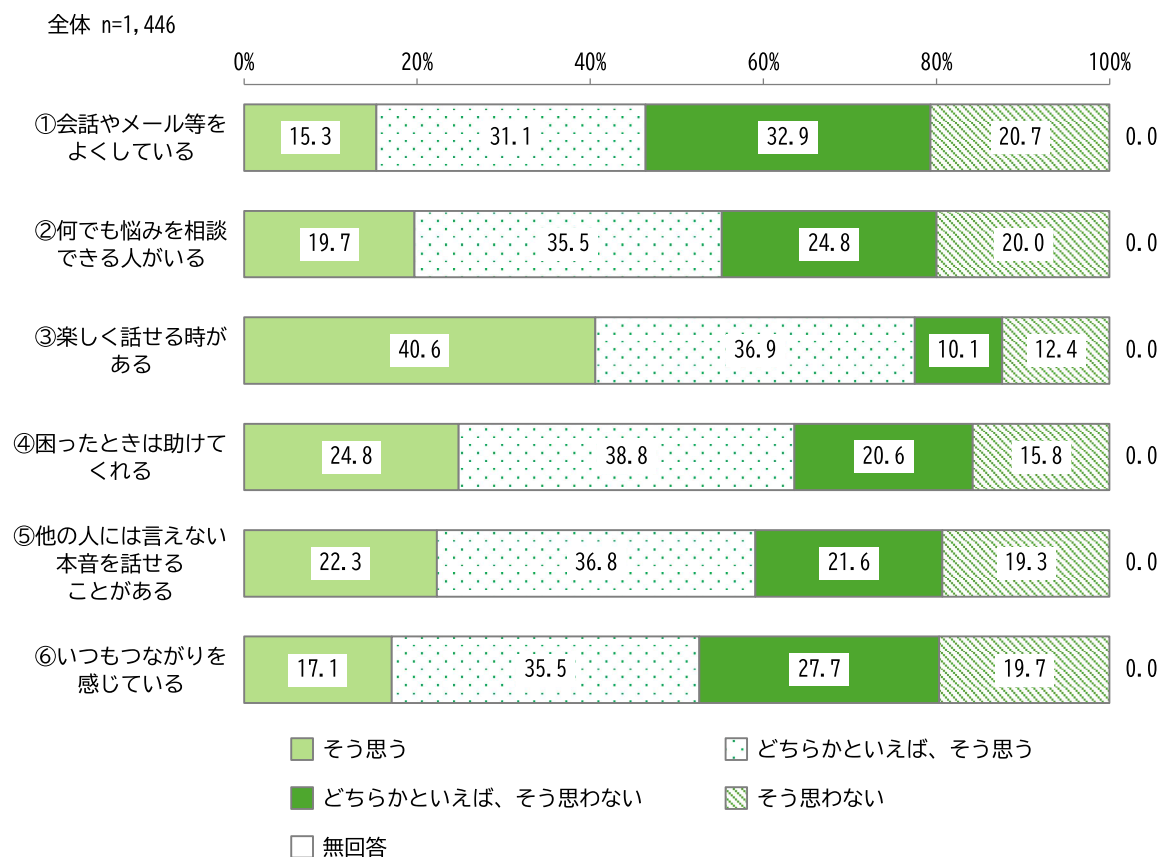
問10 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”(94.4%)が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”(93.4%)となっています。



問11 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）とあなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（単数回答）

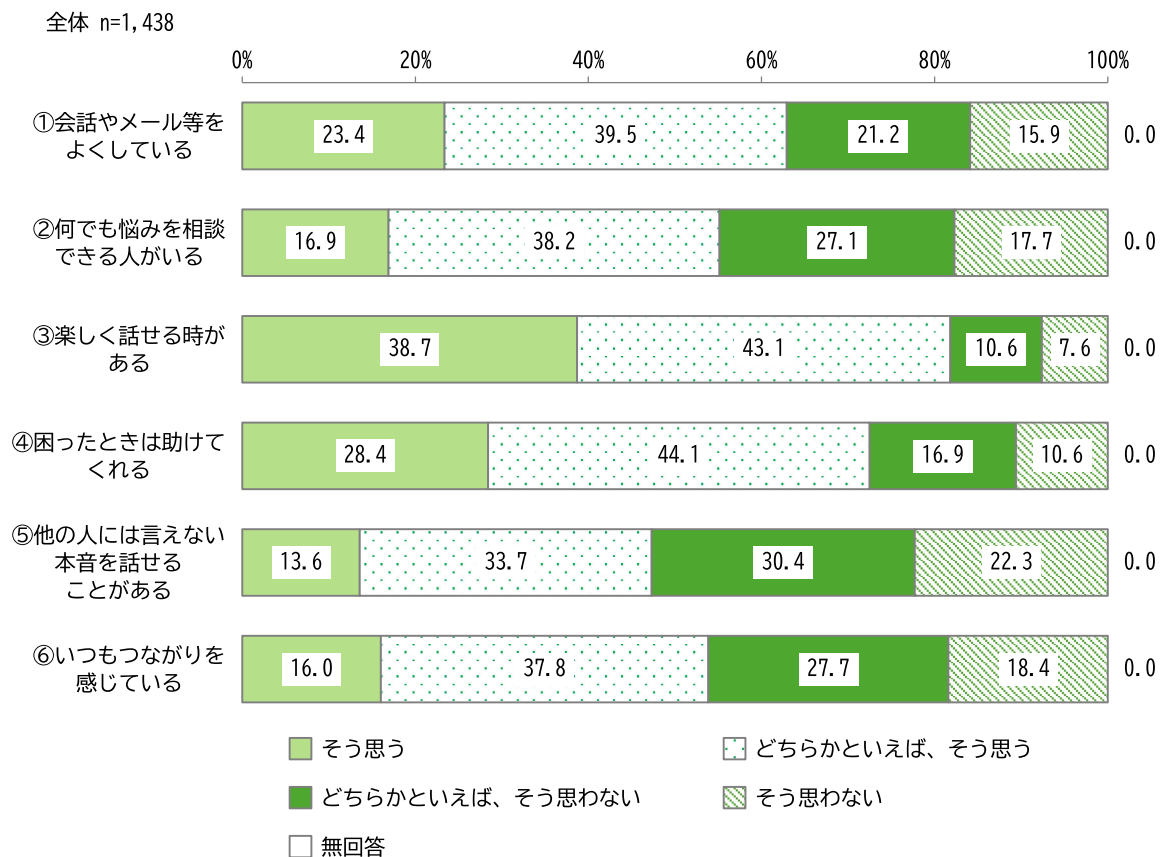
「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（77.5%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（63.6%）となっています。



【問6 就労経験について「1. 現在、就業している」「2. 現在就業しているが、休職や休業中である」「3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方がお答えください】

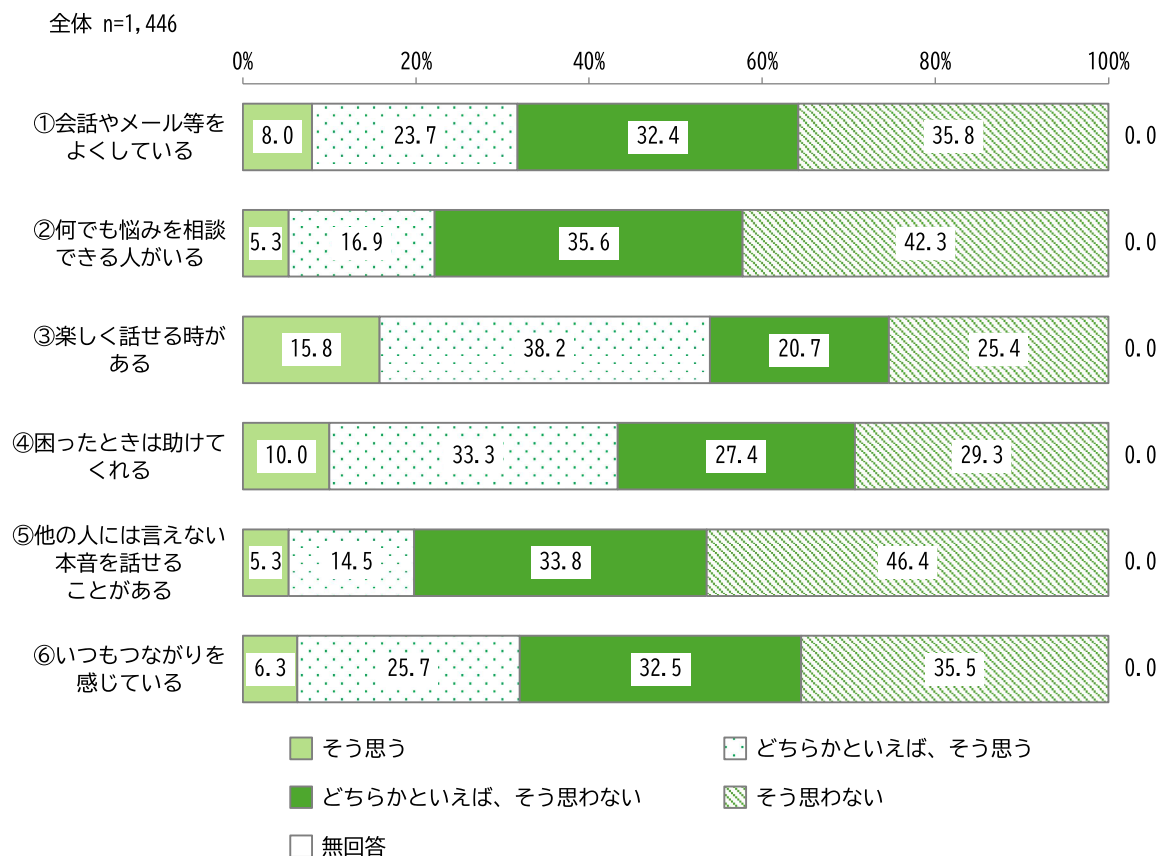
問12 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（81.8%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（72.5%）となっています。



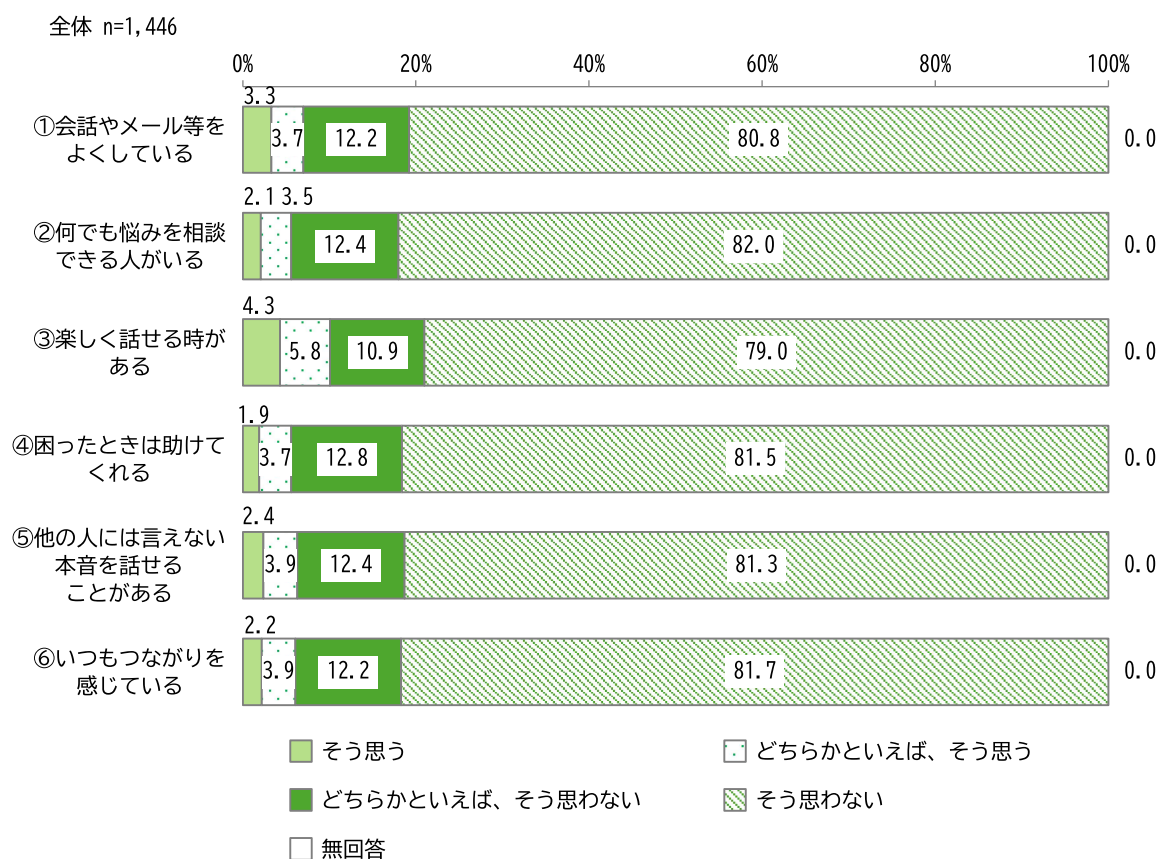
問13 地域の人（町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人やサークルなど）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（54.0%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（43.3%）となっています。



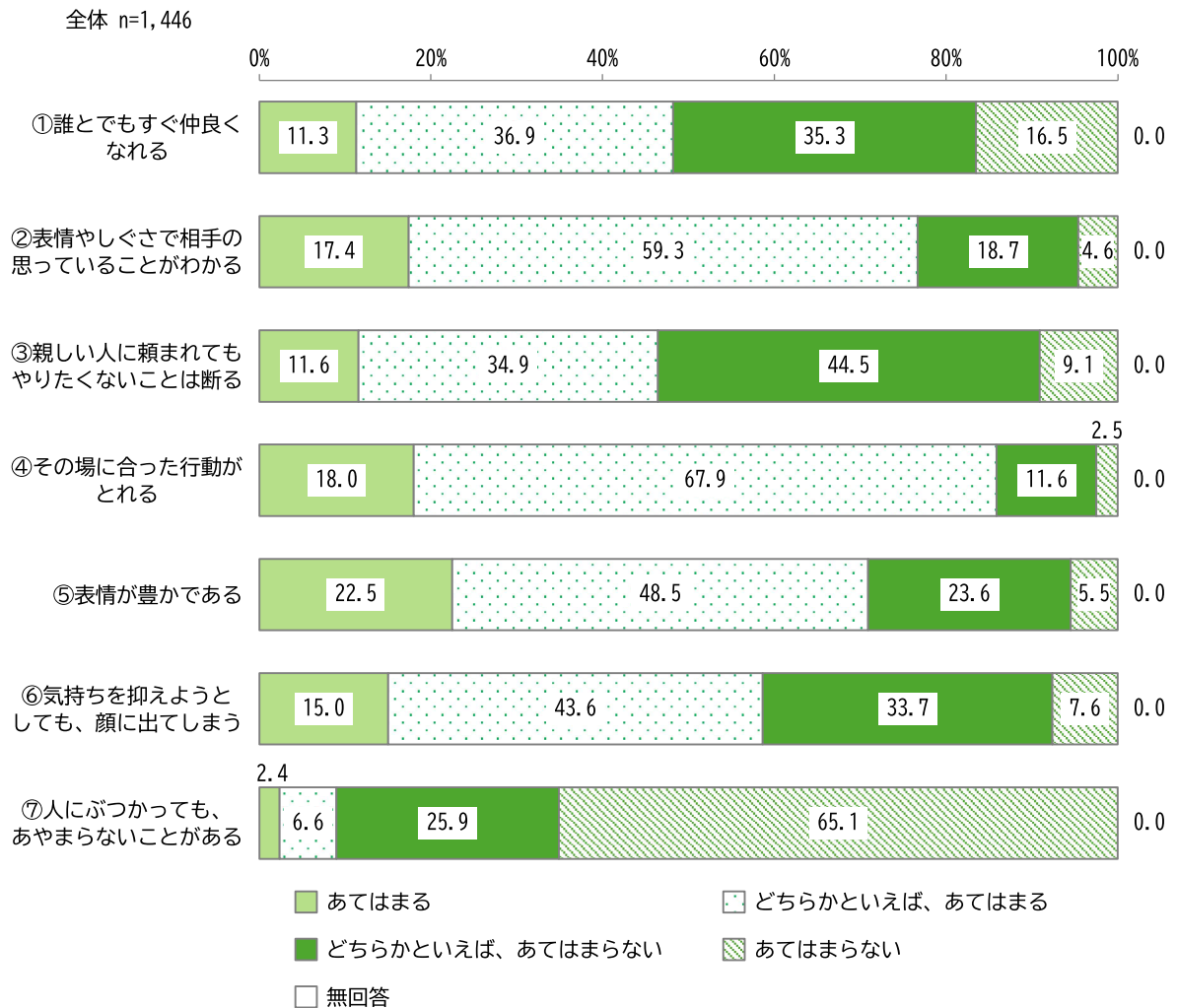
問14 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（10.1%）が最も高く、次いで“①会話やメール等をよくしている”（7.0%）となっています。一方で、すべての項目で「そう思わない」が最も高く、約8割となっています。



問15 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。(単数回答)

「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせると、“④その場に合った行動がとれる”(85.9%)が最も高く、次いで“②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる”(76.7%)となっています。



3 悩みや不安の有無

(1) 悩みや不安の有無について

問16 あなたが、子育てに深く悩んだり、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(複数回答)

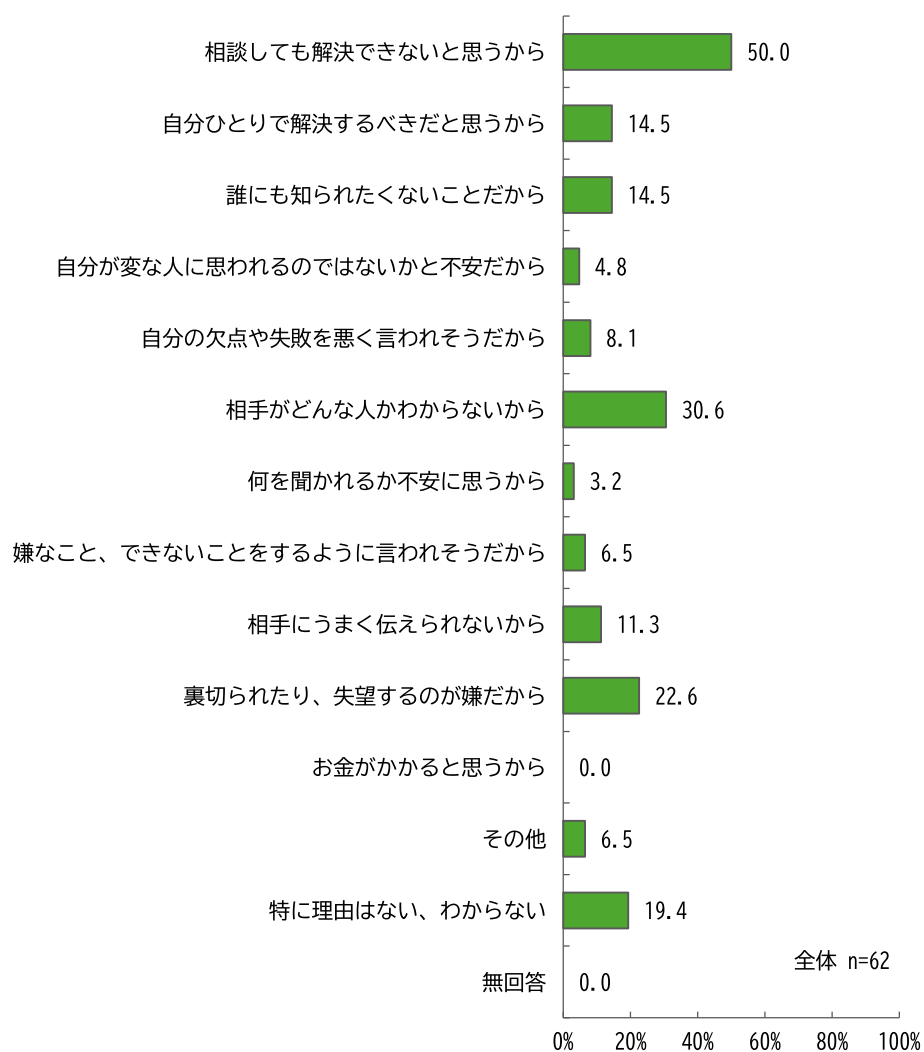
「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が72.7%で最も高く、次いで「相手が同世代である」が44.3%、「無料で相談できる」が43.8%と続きます。



【問16で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください】

問17 相談したくないと思う理由は何ですか。（複数回答）

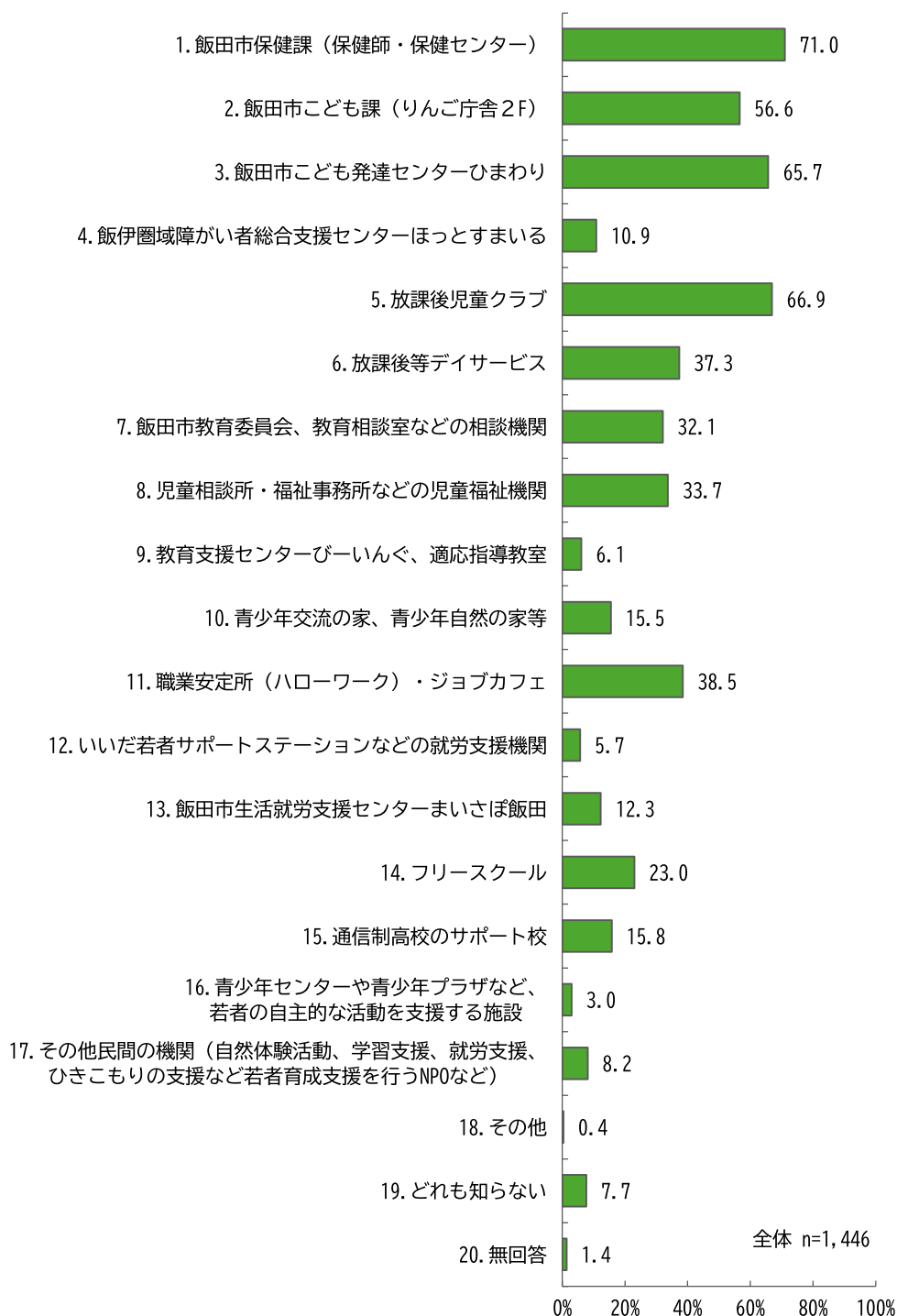
「相談しても解決できないと思うから」が50.0%で最も高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」が30.6%、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」が22.6%となっています。



4 育成支援機関等について

問18 あなたは、こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(複数回答)

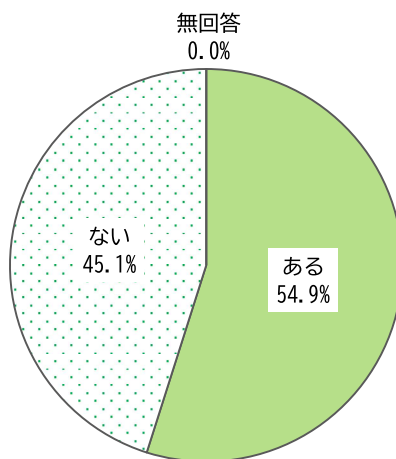
「飯田市保健課（保健師・保健センター）」が71.0%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ」が66.9%、「飯田市こども発達センターひまわり」が65.7%、「飯田市こども課（りんご庁舎2F）」が56.6%となっています。一方で、「どれも知らない」が7.7%となっています。



【問18で「1.」から「18.」を選んだ方のみ、お答えください】

問19 これらの機関を利用したことはありますか。(単数回答)

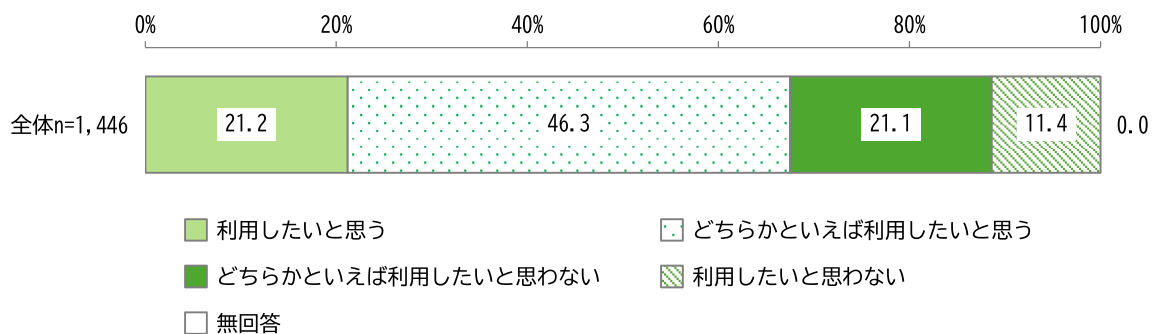
育成支援機関等の利用の有無について、「ある」が54.9%、「ない」が45.1%となっています。



全体 n=1,314

問20 これらの機関について利用したいと思いますか。(単数回答)

育成支援機関等の利用意向について、「どちらかといえば利用したいと思う」が46.3%で最も高く、次いで「利用したいと思う」が21.2%、「どちらかといえば利用したいと思わない」が21.1%と続きます。



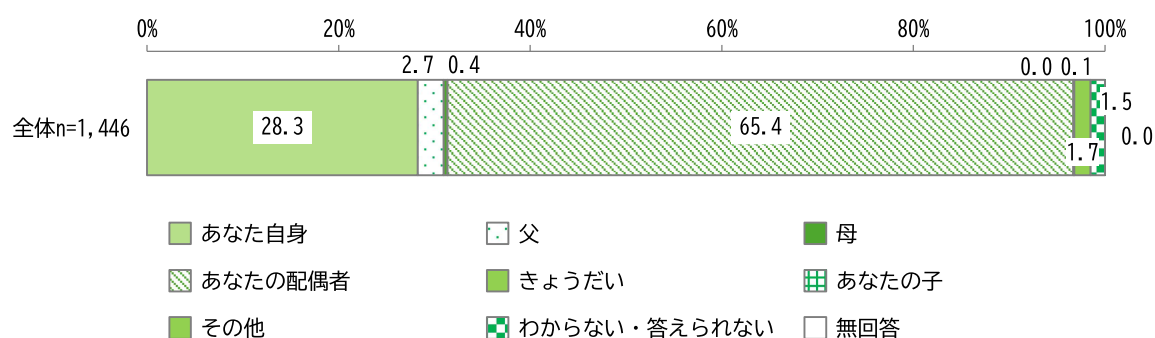
5 暮らしの状況

(1) 暮らしの状況

問21 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。

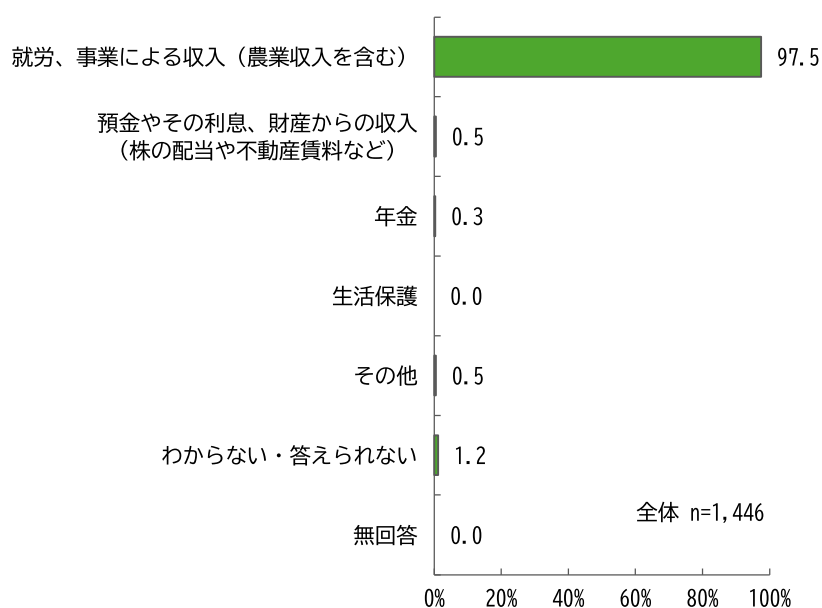
(1) 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。
(単数回答)

「あなたの配偶者」が65.4%で最も高く、次いで「あなた自身」が28.3%と続きます。



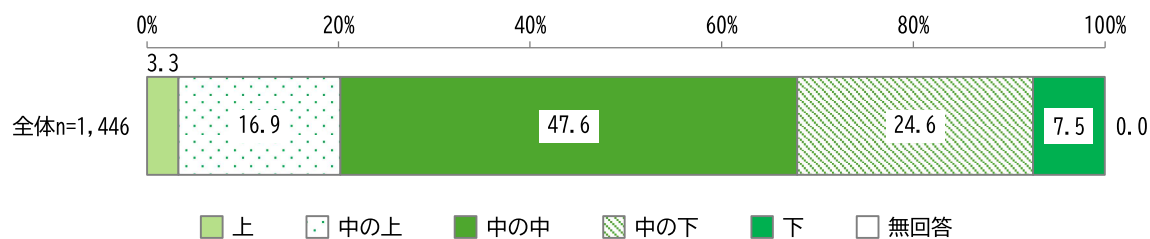
(2) 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(単数回答)

「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が97.5%で最も高くなっています。



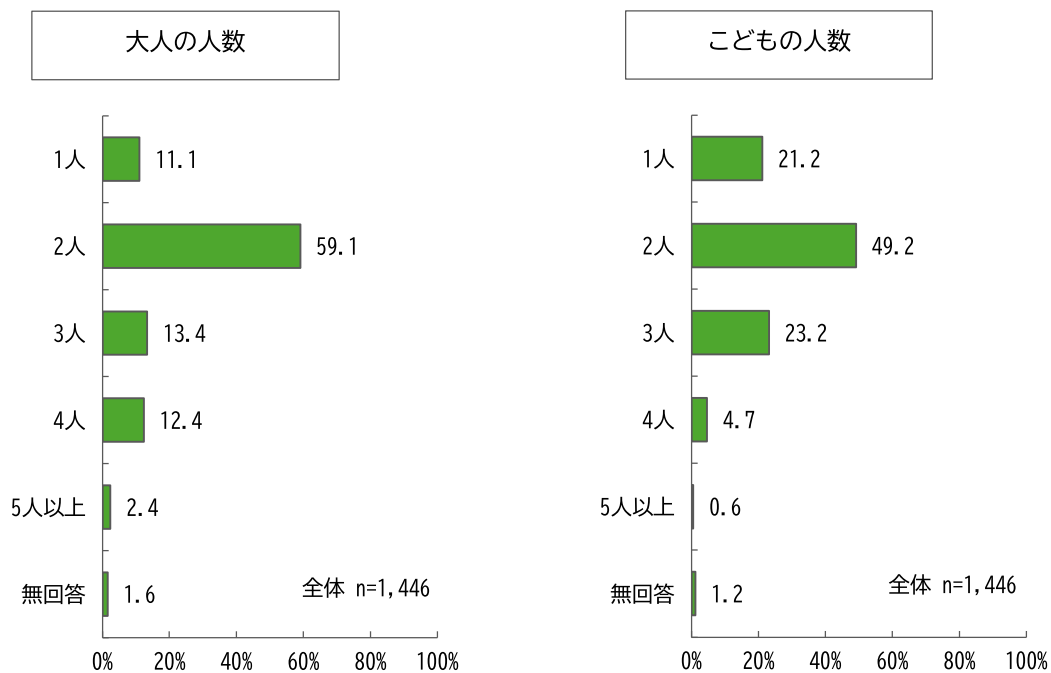
問22 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。（単数回答）

「中の中」が47.6%で最も高く、次いで「中の下」が24.6%、「中の上」が16.9%と続きます。



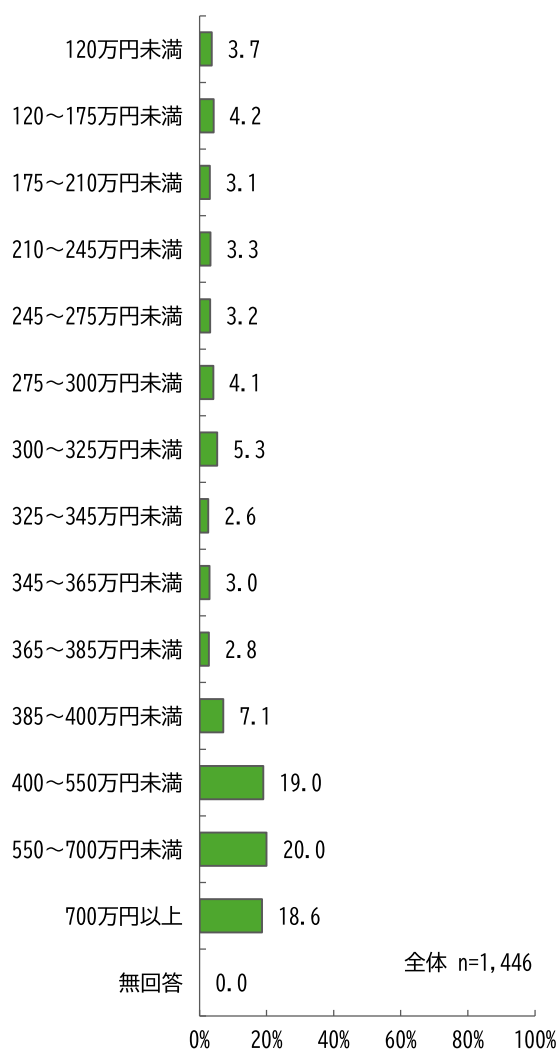
問23 あなたと同居している人数（あなたを含む）を数字で回答してください。
※こどもは18歳未満（数量回答）

同居している大人の人数は、「2人」が59.1%で最も高く、次いで「3人」が13.4%、「4人」が12.4%、こどもの人数は、「2人」が49.2%で最も高く、次いで「3人」が23.2%、「1人」が21.2%となっています。



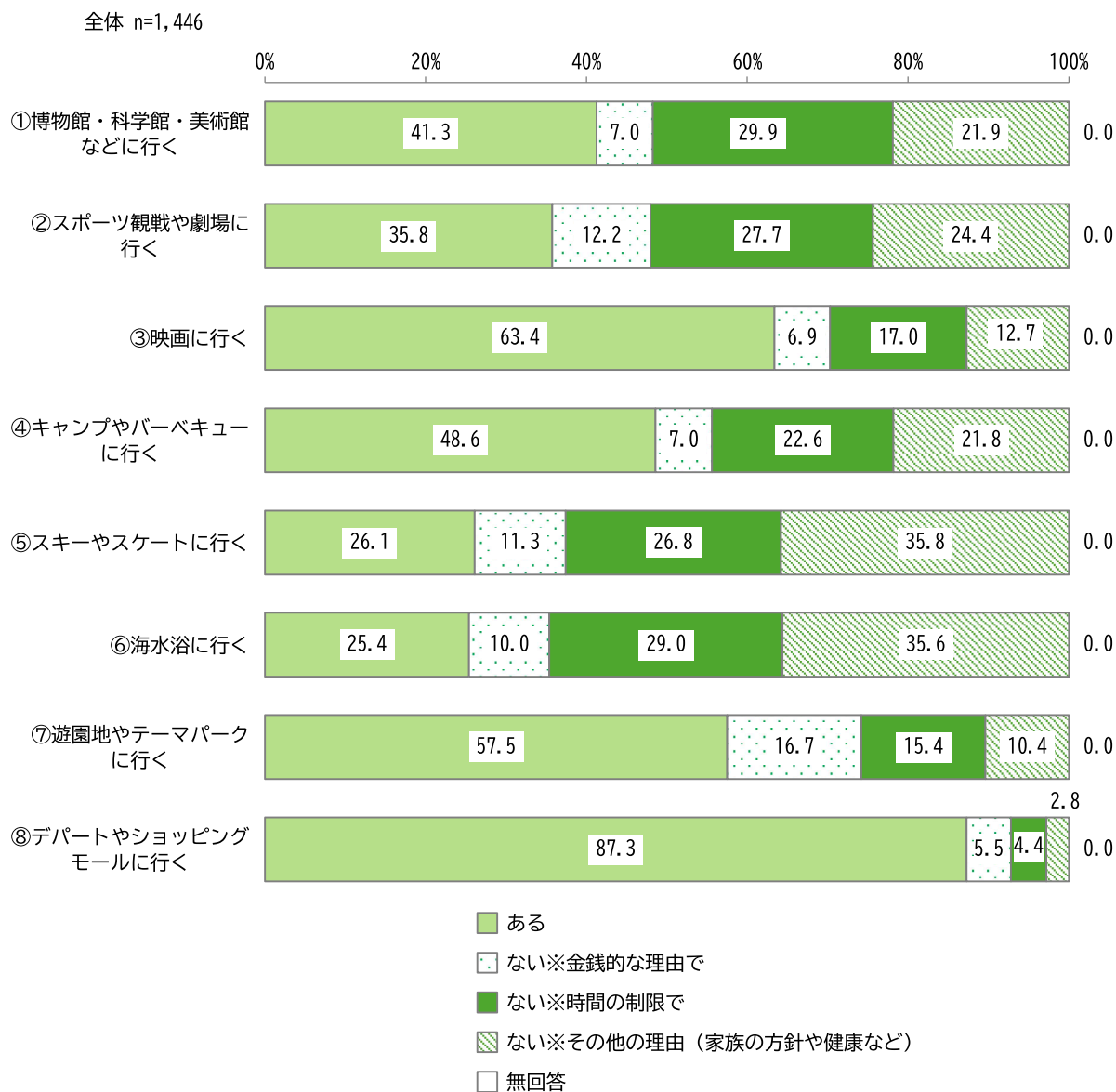
問24 前年（2023年1～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、児童手当など公的年金、社会保障給付金や、親族等からの仕送りを足した金額でお答えください。（単数回答）

世帯の収入は、「550～700万円未満」が20.0%で最も高く、次いで「400～550万円未満」が19.0%、「700万円以上」が18.6%、「385～400万円未満」が7.1%となっています。



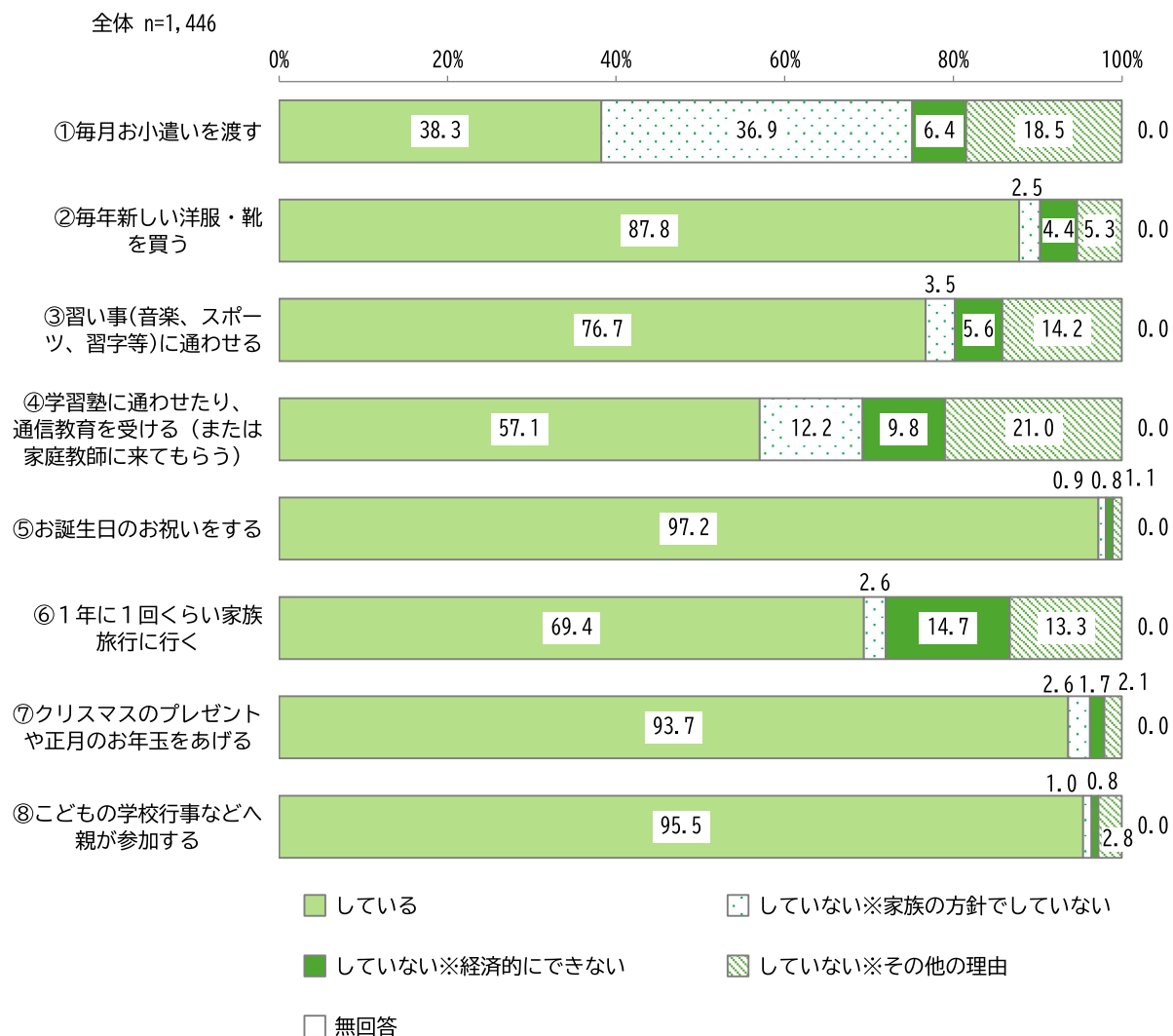
問25 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(単数回答)

行ったことが「ある」場所は、“⑧デパートやショッピングモールに行く”(87.3%)が最も高く、次いで“③映画に行く”(63.4%)、⑦遊園地やテーマパークに行く”(57.5%)と続きます。



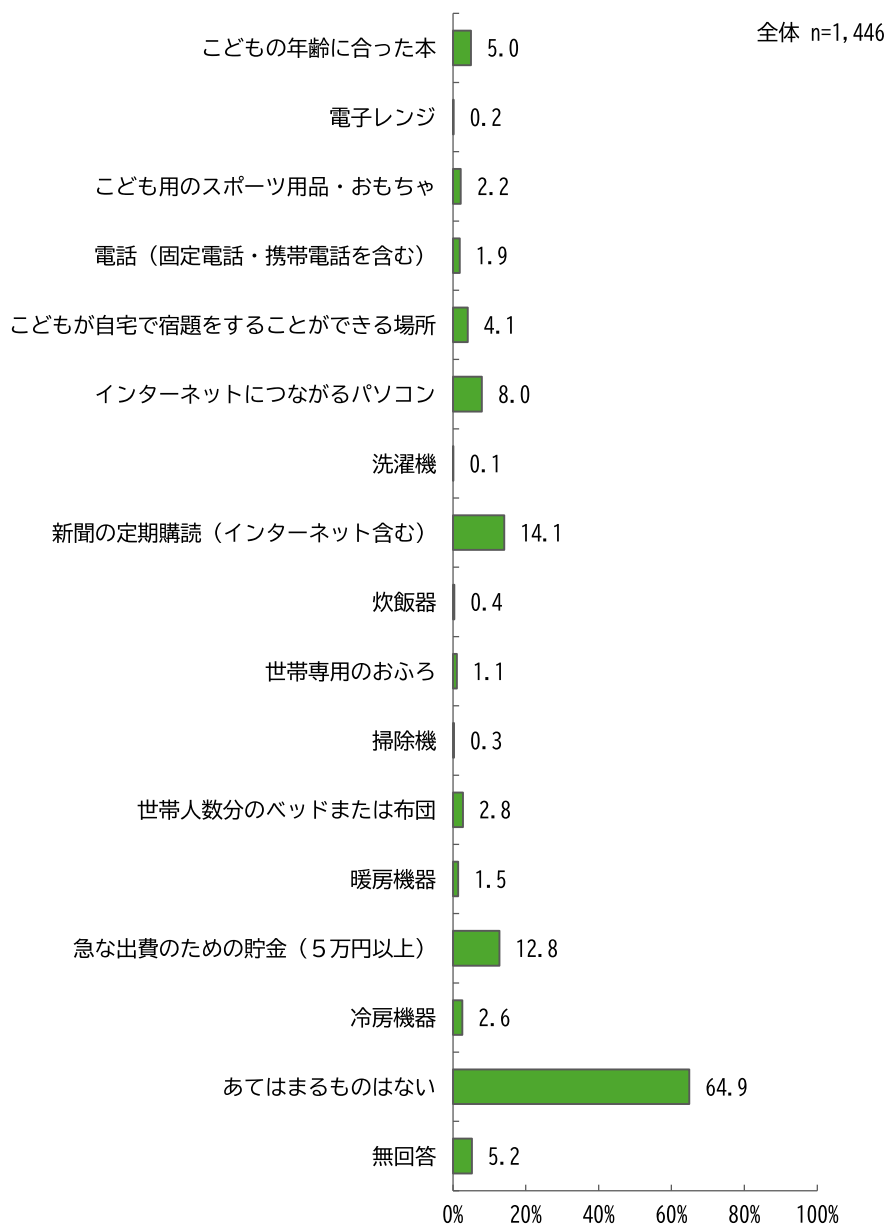
問26 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(単数回答)

お子さんに「している」ことは、“⑤お誕生日のお祝いをする”(97.2%)が最も高く、次いで“⑧こどもの学校行事などへ親が参加する”(95.5%)、“⑦クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる”(93.7%)と続きます。



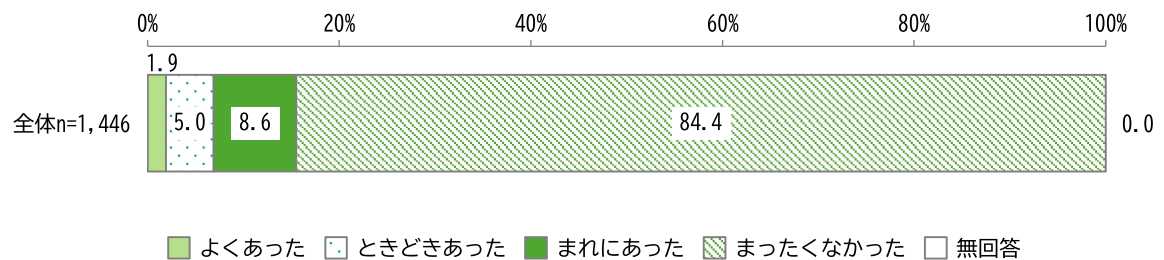
問27 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはどれですか。
(複数回答)

「新聞の定期購読（インターネット含む）」が14.1%、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が12.8%、「インターネットにつながるパソコン」が8.0%と続きますが、「あてはまるものはない」が64.9%で最も高くなっています。



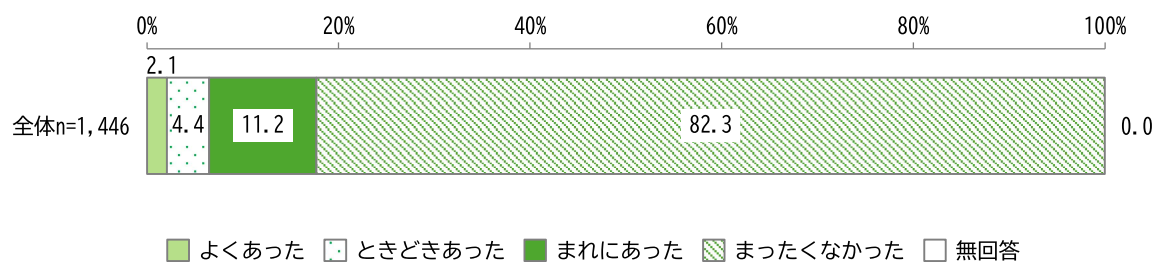
問28 あなたのご家庭では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(単数回答)

「まったくなかった」が84.4%で最も高く、次いで「まれにあった」が8.6%、「ときどきあった」が5.0%となっています。



問29 あなたのご家庭では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。(単数回答)

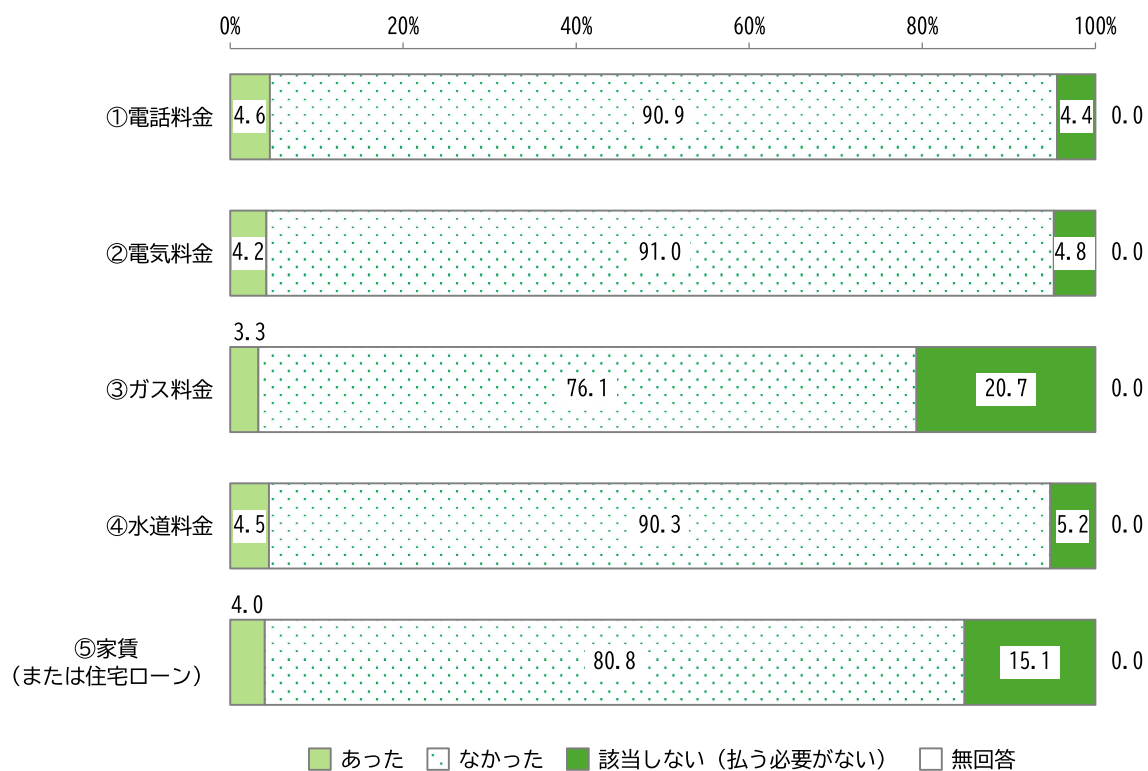
「まったくなかった」が82.3%で最も高く、次いで「まれにあった」が11.2%となっています。



問30 過去1年間に、経済的な理由で、以下の①～⑤のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単数回答)

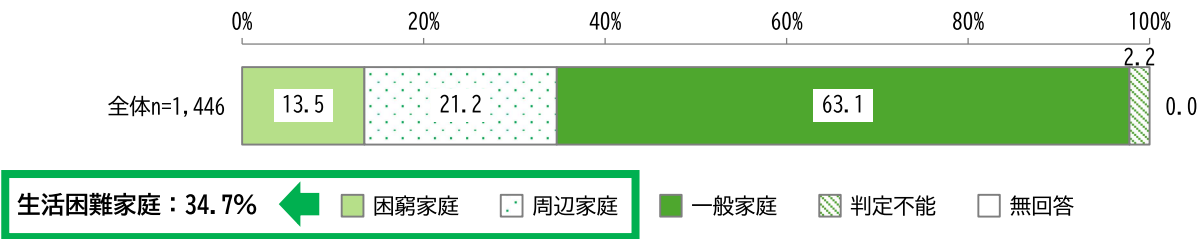
サービス・料金が「支払えなかった(あった)」割合は、すべての項目で5%未満となっています。

全体 n=1,446



生活困難家庭について

長野県の「子どもと子育て家庭の生活実態調査」（令和４年度実施）にて算出している「生活困難家庭」※について、小中学生保護者調査にて同じ条件で算出したところ、本市における「生活困難家庭」は34.7%となっています。



「生活困難家庭」の算出について

「生活困難家庭」（「困窮家庭」「周辺家」と「一般家庭」の算出にあたっては、長野県が令和４年度に実施した「子どもと子育て家庭の生活実態調査」の定義を基にしています。以下判定材料となる①②③の要素は以下のとおりです。

- ①低所得（小中学生保護者調査票 問 23、問 24）
世帯の可処分所得（収入による可処分所得＋児童手当等の支給額等）、世帯人数と組み合わせた分類表で、該当する世帯を算出。

世帯の可処分所得

世帯人員	世帯可処分所得	世帯人員	世帯可処分所得
2人	175万円未満	5人	275万円未満
3人	210万円未満	6人	300万円未満
4人	245万円未満	7人	325万円未満

- ②家計の逼迫（小中学生保護者調査票 問 28、問 29、問 30）
7項目（電話・電気・ガス・水道の公共料金、家賃、食料・衣類の購入）について、経済的な理由で払えなかった、または買えなかったことが1つ以上ある世帯を算出。
- ③こどもの体験や所有物の欠如（小中学生保護者調査票 問 25、問 26、問 27）
こどもの体験や所有物など15項目のうち、経済的な理由でしていない、金銭的な理由でないなど欠如する項目が3つ以上ある世帯を算出。

子どもの体験や所有物などの15項目

①海水浴に行く	⑨学習塾に通わせたり、通信教育を受ける
②博物館・科学館・美術館などに行く	⑩お誕生日のお祝いをする
③キャンプやバーベキューに行く	⑪1年に1回くらい家族旅行に行く
④スポーツ観戦や劇場に行く	⑫クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
⑤遊園地やテーマパークに行く	⑬子どもの年齢に合った本
⑥毎月お小遣いを渡す	⑭子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
⑦毎年新しい洋服・靴を買う	⑮子どもが自宅で宿題をすることができる場所
⑧習い事 音楽、スポーツ、習字等に通わせる	

①②③の要素の回答状況から区分し、以下のように分類しています。

生活困難家庭 算出要件※

生活困難家庭	困窮家庭＋周辺家庭
困窮家庭	2つ以上の要素に該当
周辺家庭	いずれか1つの要素に該当
一般家庭	いずれの要素にも該当しない

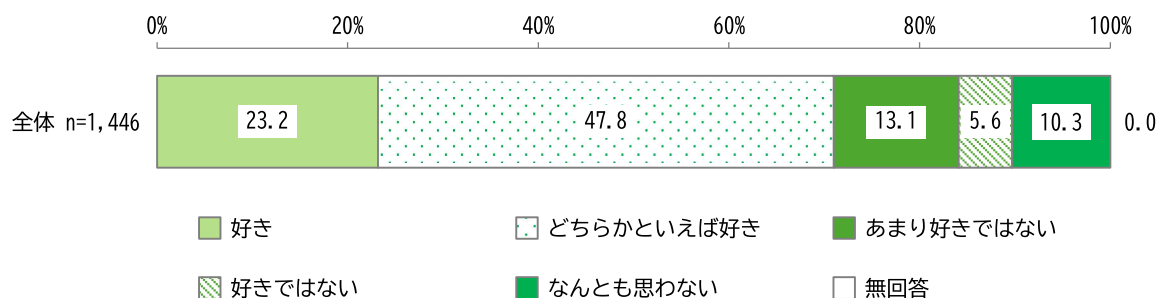
※無回答等により分類できない世帯は「判定不能」としています
困窮家庭と周辺家庭を併せて「生活困難家庭」としています。

6 飯田市について

(1) 飯田市について

問31 あなたは、飯田市が好きですか。(単数回答)

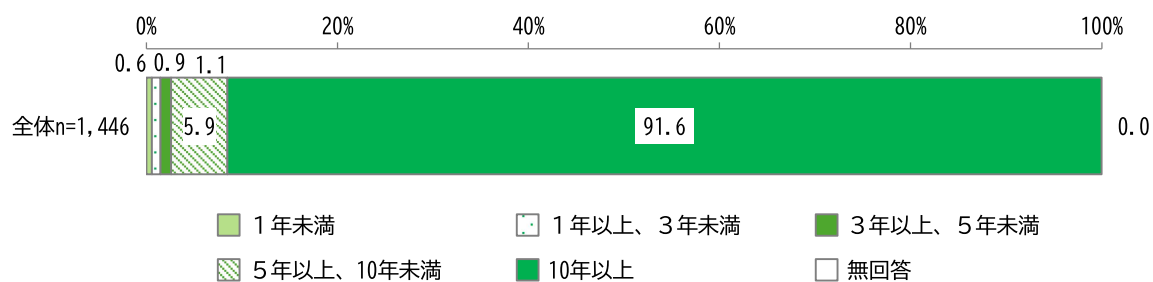
「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると、71.0%が『好き』と回答しています。一方で、「あまり好きではない」と「好きではない」を合わせると、18.7%が、『好きではない』と回答しています。



(2) 定住意向について

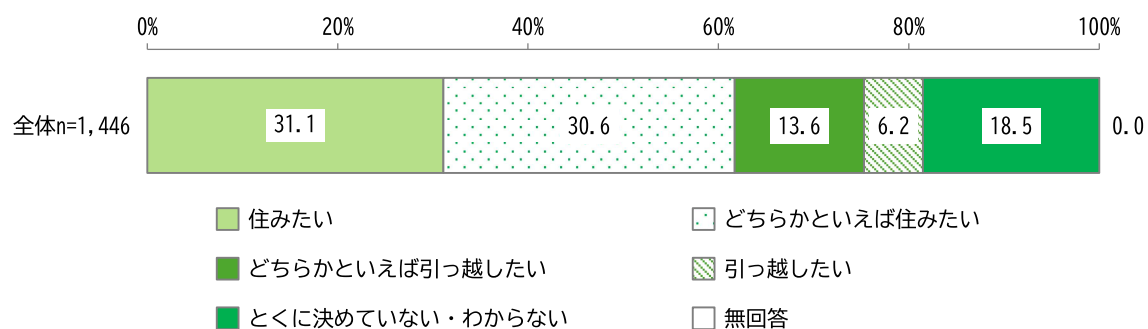
問32 あなたは、飯田市にどれくらい住んでいますか。(単数回答)

「10年以上」が91.6%で最も高く、次いで「5年以上、10年未満」が5.9%と続きます。



問33-1 あなたは、今の住所にこれからも住みたいですか。(単数回答)

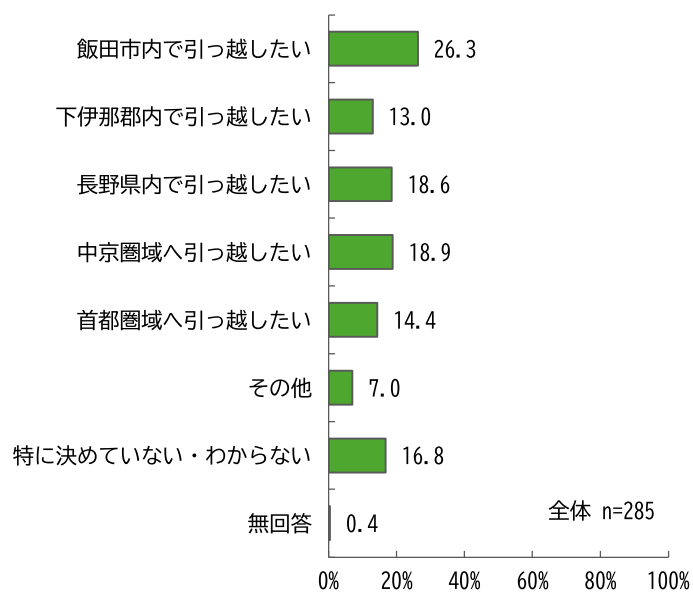
「住みたい」が31.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が30.6%と続きます。



【問33-1で「3. どちらかといえば引っ越したい」または「4. 引っ越したい」を選んだ方のみ、お答えください】

問33-2 引っ越したい先はどんなところですか。(複数回答)

「飯田市内で引っ越したい」が26.3%で最も高く、次いで「中京圏域へ引っ越したい」が18.9%、「長野県内で引っ越したい」が18.6%と続きます。



第4章

16 歳～39 歳 調査結果

第4章 16～39 歳 調査結果

1 あなたのことについて

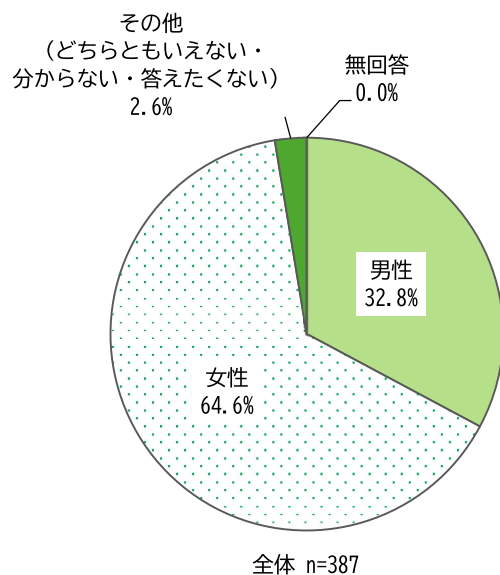
(1) 回答者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

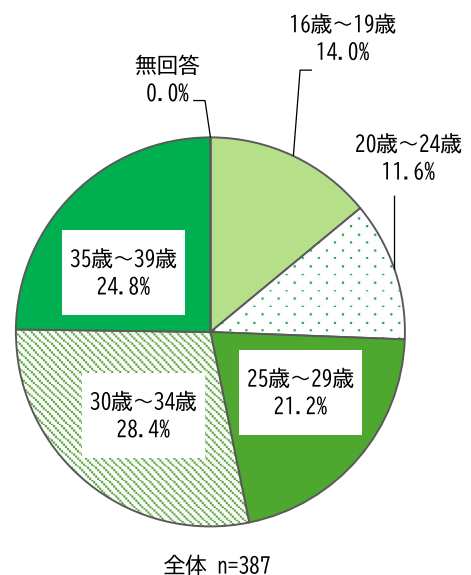
問2-1 あなたの年齢についてお答えください。(単数回答)

回答者の属性は、以下のとおりです。

問1 性別



問2-1 年齢

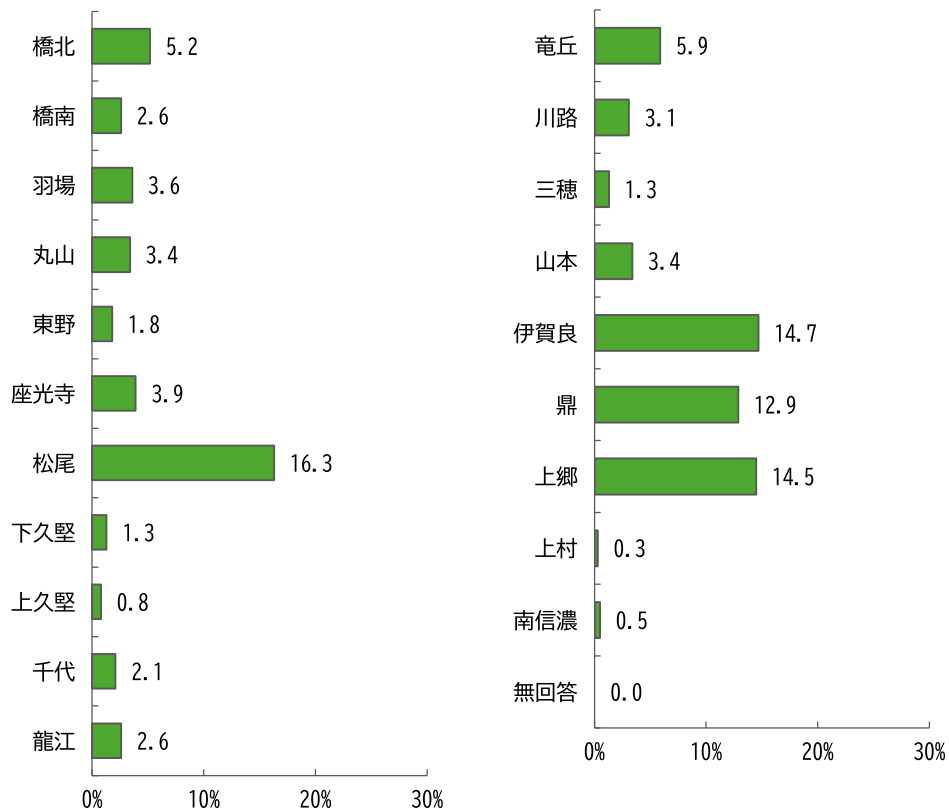


(2) 居住地域の状況

問2-2 お住まいの地区はどこですか。(単数回答)

回答者の学校区は、以下のとおりです。

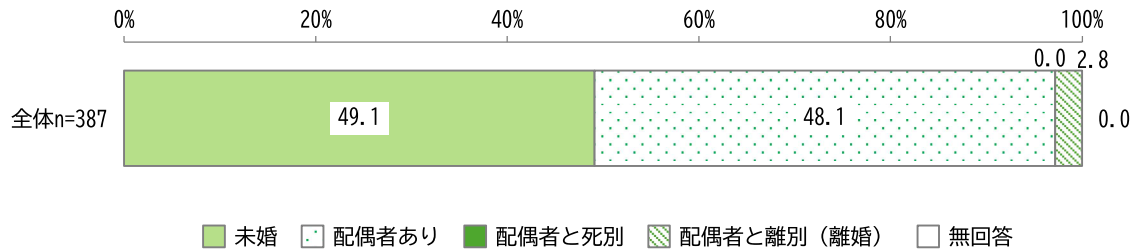
全体 n=387



(3) 婚姻状況

問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(単数回答)

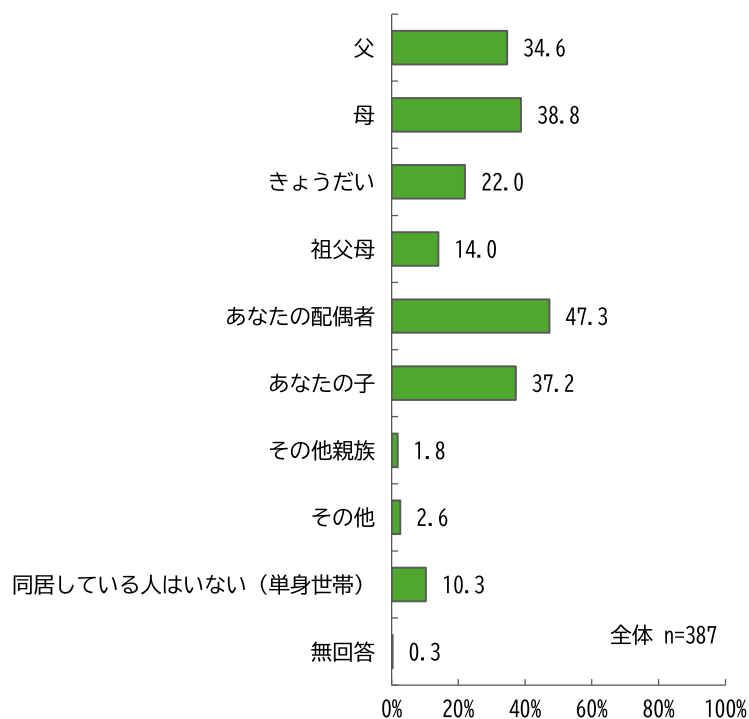
「未婚」が49.1%で最も高く、次いで「配偶者あり」が48.1%、「配偶者と死別」が2.8%となっています。



(4) 家族構成

問4 あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(複数回答)

「あなたの配偶者」が47.3%で最も高く、次いで「母」が38.8%、「あなたの子」が37.2%、「父」が34.6%と続きます。

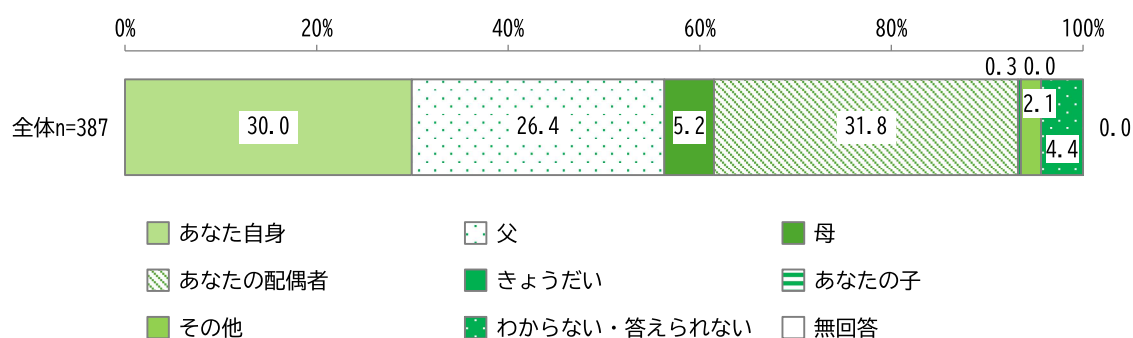


(5) 暮らしの状況

問5 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。

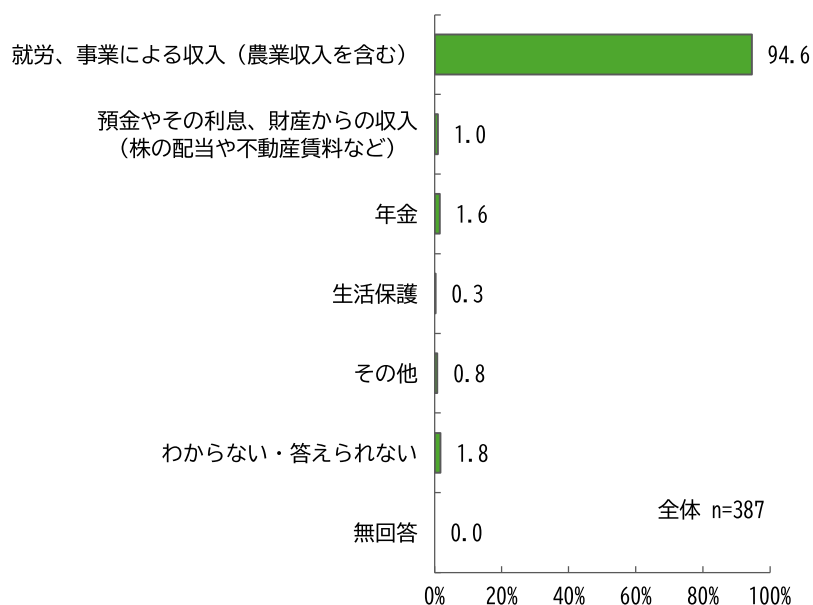
(1) 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。
(単数回答)

「あなたの配偶者」が31.8%で最も高く、次いで「あなた自身」が30.0%、「父」が26.4%と続きます。



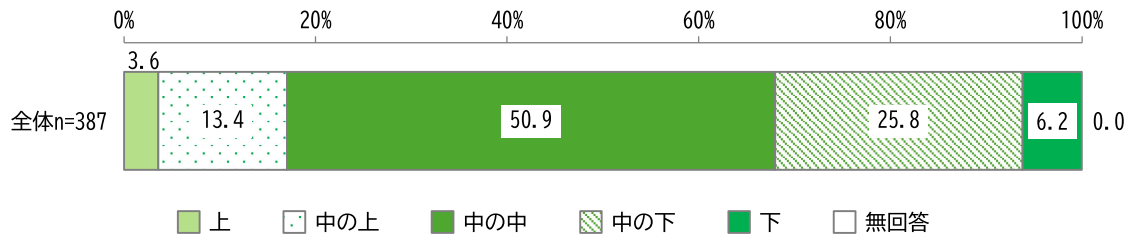
(2) 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(単数回答)

「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が94.6%で最も高くなっています。



問6 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。（単数回答）

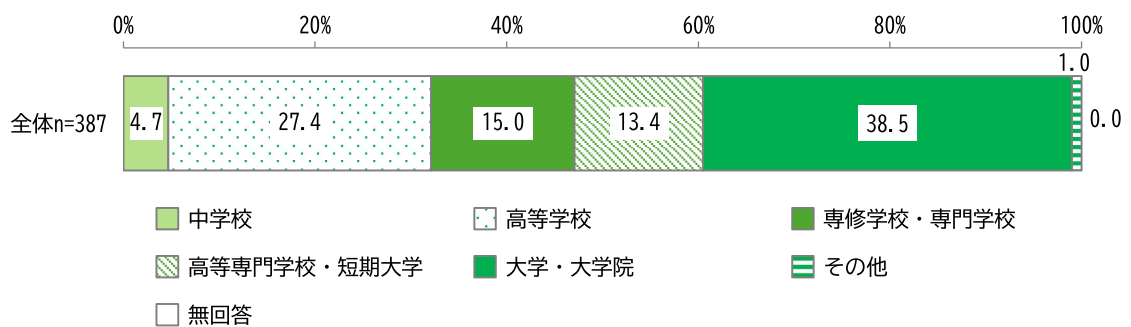
「中の中」が50.9%で最も高く、次いで「中の下」が25.8%、「中の上」が13.4%と続きます。



（6）就学状況

問7 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（単数回答）

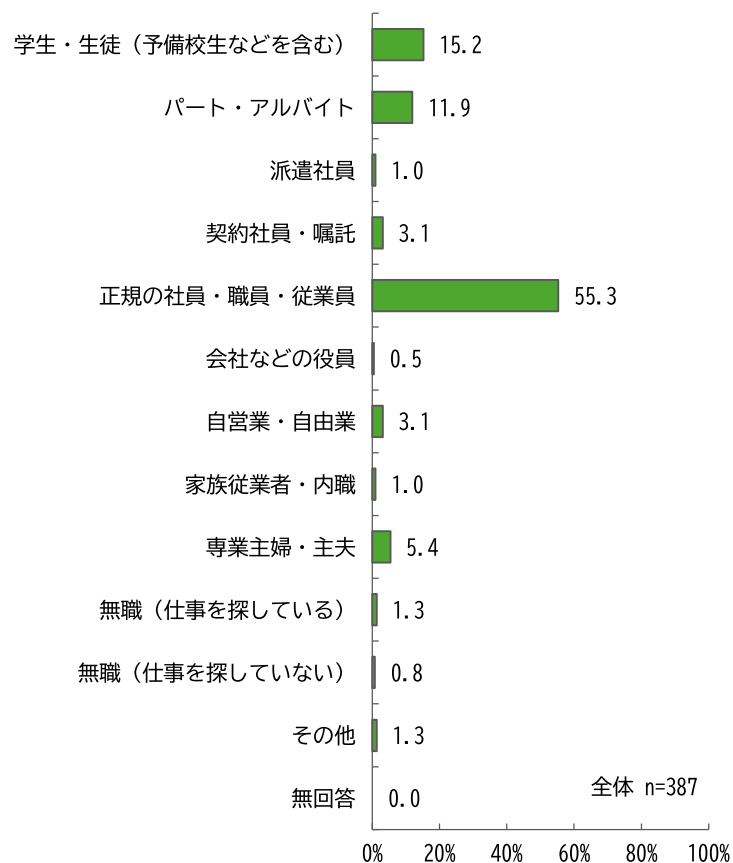
「大学・大学院」が38.5%で最も高く、次いで「高等学校」が27.4%、「専修学校・専門学校」が15.0%と続きます。



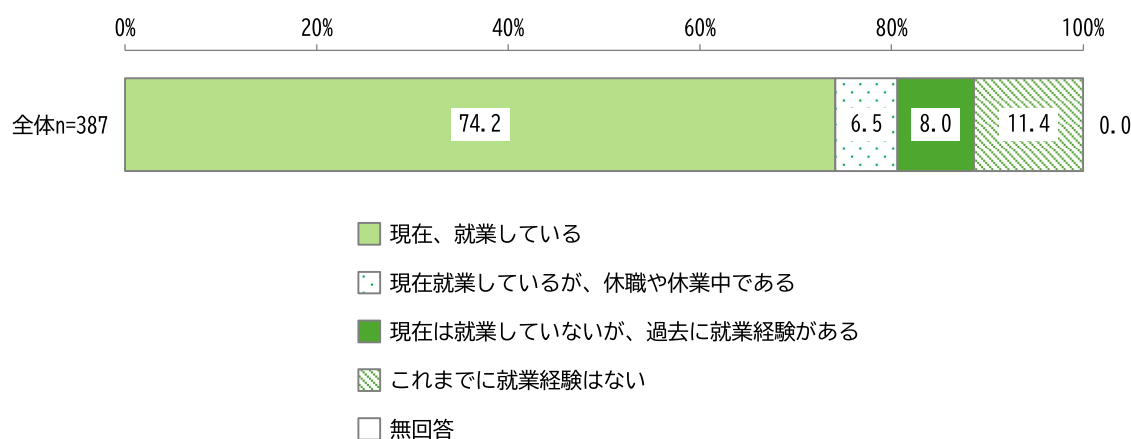
(7) 就労状況

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(単数回答)

現在の就労状況は、「正規の社員・職員・従業員」が55.3%で最も高く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が15.2%、「パート・アルバイト」が11.9%となっています。

問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)
(単数回答)

「現在、就業している」が74.2%で最も高く、次いで「これまでに就業経験はない」が11.4%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が8.0%と続きます。

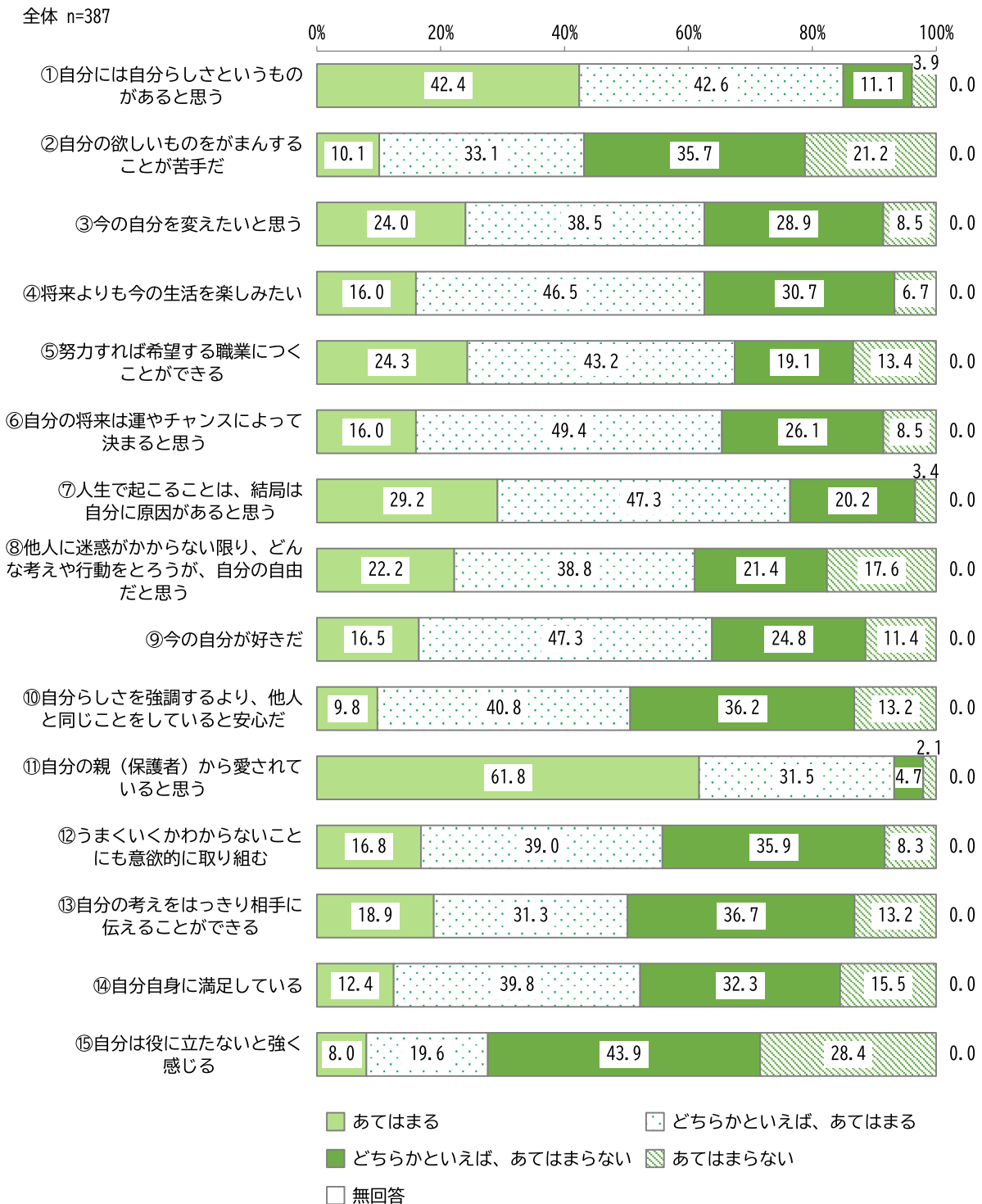


2 あなたの日頃の意識と生活について

(1) あなたの考えについて

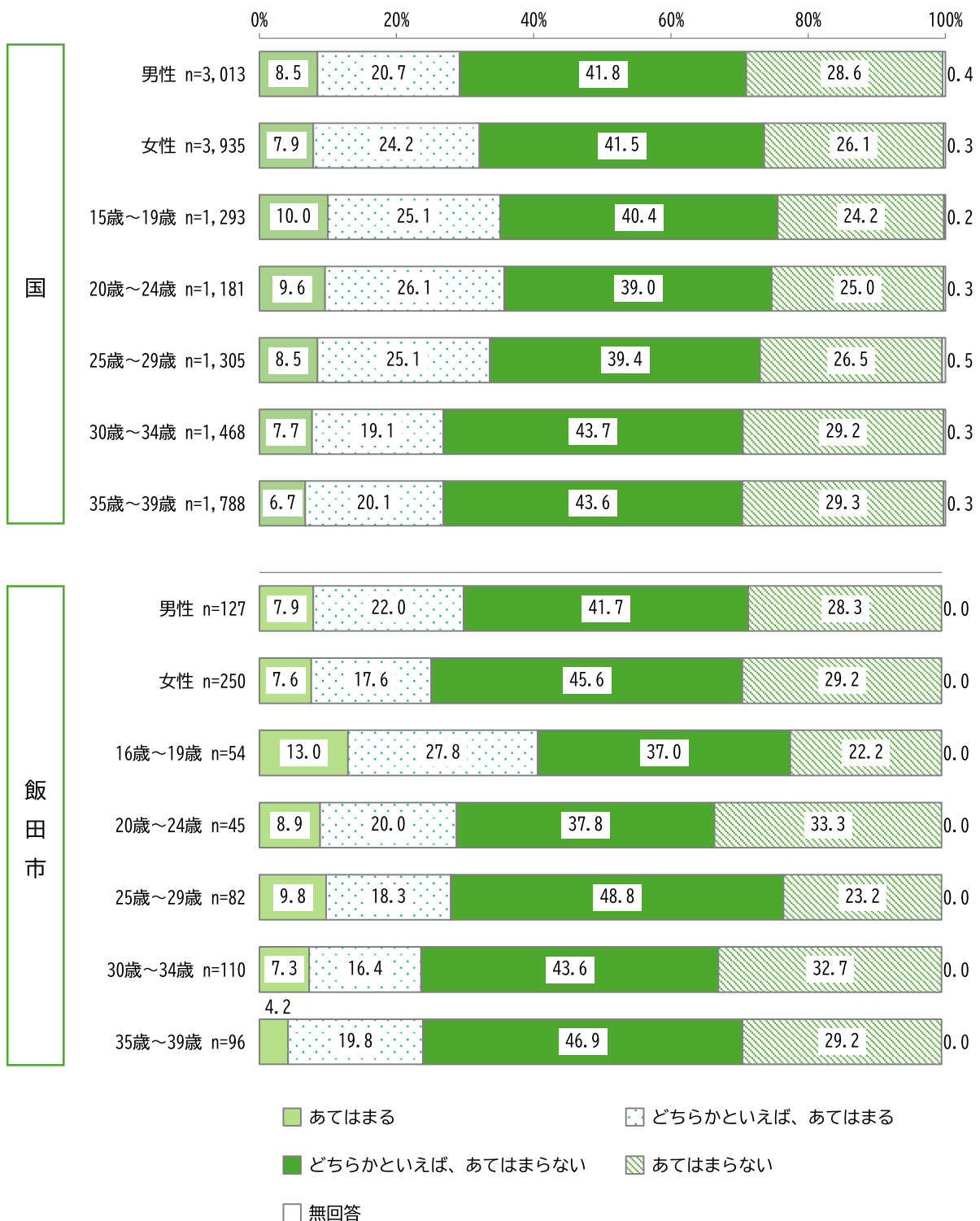
問10 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(単数回答)

自己認識について、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせると“⑪自分の親（保護者）から愛されていると思う”（93.3%）が最も高く、次いで“①自分には自分らしさというものがあると思う”（85.0%）となっています。



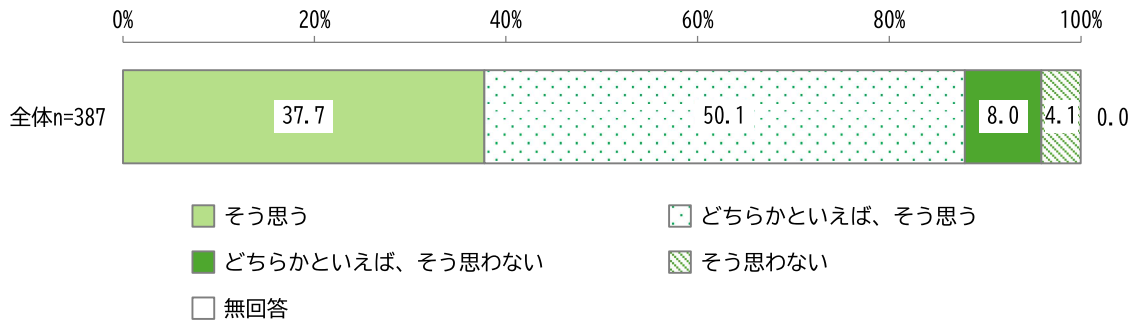
“⑮自分は役に立たないと強く感じる”について、「あてはまる」と回答した割合を国調査（令和5年3月内閣府資料）と比較すると、全体では「あてはまる」と回答した若者は、国調査より少ない状況です（飯田市27.6％・国31.1％）。

一方、年齢別では、「16歳～19歳」（飯田市40.8％・国35.1％）で、飯田市が国調査を5.7ポイント上回る状況です。



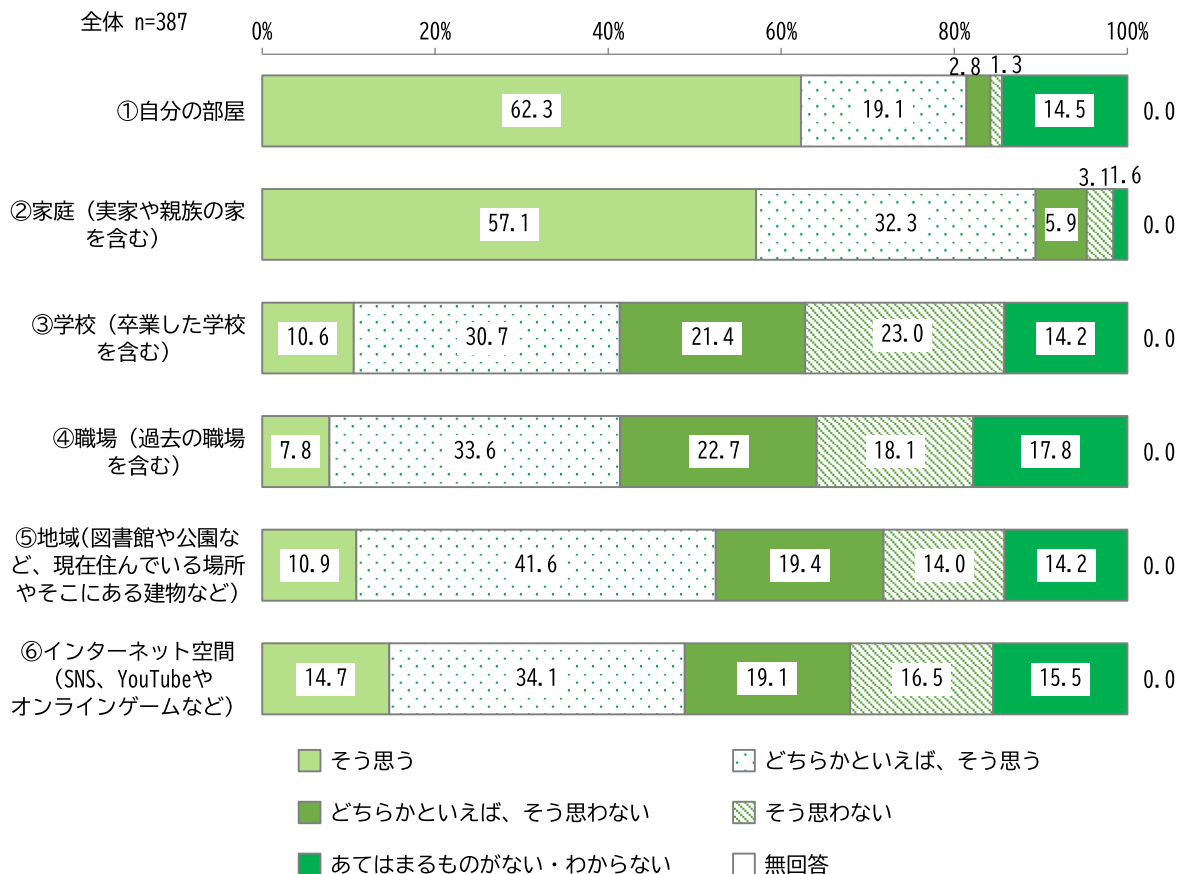
問11 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(単数回答)

幸福感について、「どちらかといえば、そう思う」が50.1%で最も高く、次いで「そう思う」が37.7%と続きます。



問12 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。(単数回答)

居場所になっている場所について、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると“②家庭（実家や親族の家を含む）”（89.4%）が最も高く、次いで“①自分の部屋”（81.4%）となっています。

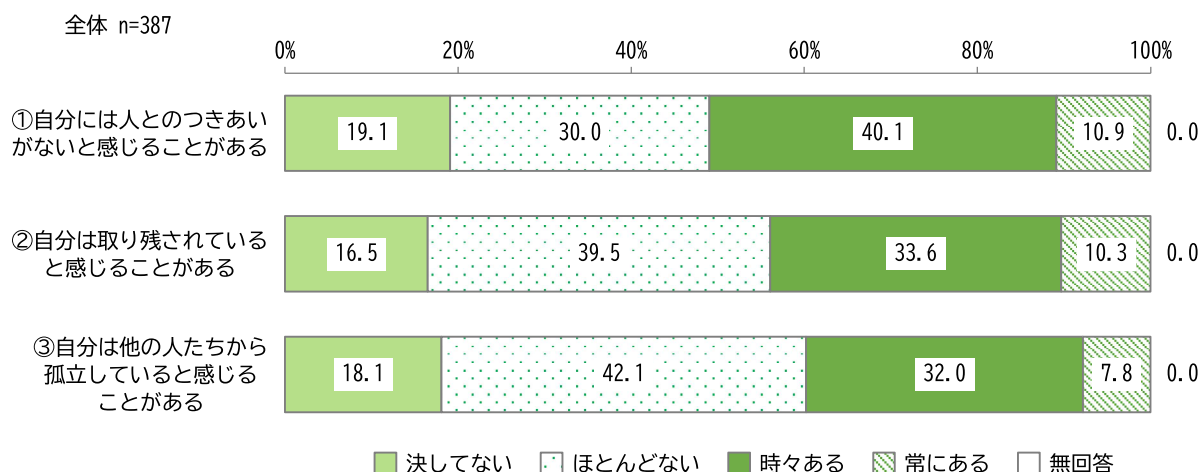


問13-1 以下の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。(単数回答)

孤独感について、「時々ある」と「常にある」を合わせると“①自分には人とのつきあいが無いと感じることがある”(51.0%)が最も高く、次いで“②自分は取り残されていると感じることがある”(43.9%)となっています。

“①自分には人とのつきあいが無いと感じることがある”を年齢別にみると、「常にある」割合は、「25歳～29歳」が13.4%で最も高くなりますが、他の年代と大きな差はありません。

“②自分は取り残されていると感じることがある”を年齢別にみると、「常にある」割合は、「16歳～19歳」が14.8%で最も高くなり、年齢が低い程高くなる傾向にあります。



■問13-1①自分には人とのつきあいが無いと感じることがある 問2-1年齢別クロス

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
16歳～19歳 n=54	25.9	31.5	33.3	9.3	0.0
20歳～24歳 n=45	22.2	31.1	35.6	11.1	0.0
25歳～29歳 n=82	19.5	32.9	34.1	13.4	0.0
30歳～34歳 n=110	19.1	23.6	48.2	9.1	0.0
35歳～39歳 n=96	13.5	33.3	41.7	11.5	0.0

■問13-1②自分は取り残されていると感じることがある 問2-1年齢別クロス

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
16歳～19歳 n=54	16.7	46.3	22.2	14.8	0.0
20歳～24歳 n=45	22.2	26.7	37.8	13.3	0.0
25歳～29歳 n=82	14.6	37.8	37.8	9.8	0.0
30歳～34歳 n=110	20.0	42.7	28.2	9.1	0.0
35歳～39歳 n=96	11.5	39.6	40.6	8.3	0.0

“③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある”を年齢別にみると、「常にある」割合は、“35歳～39歳”が9.4%で最も高くなりますが、他の年代と大きな差はありません。

■問13-1③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある 問2-1年齢別クロス

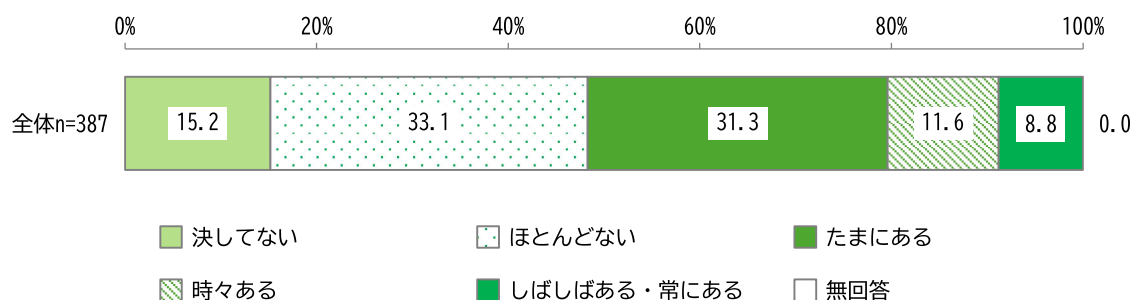
	決していない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
16歳～19歳 n=54	22.2	42.6	27.8	7.4	0.0
20歳～24歳 n=45	22.2	35.6	33.3	8.9	0.0
25歳～29歳 n=82	14.6	46.3	32.9	6.1	0.0
30歳～34歳 n=110	23.6	43.6	25.5	7.3	0.0
35歳～39歳 n=96	10.4	39.6	40.6	9.4	0.0

問13-2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

孤独感の程度について、「ほとんどない」が33.1%で最も高く、次いで「たまにある」が31.3%と続きます。

婚姻状況別では、「時々ある」と「しばしばある・常にある」を合わせた孤独感のある割合は、“配偶者と離別”が45.5%で最も高く、次いで、“未婚”が24.2%となっています。

年齢別では、「時々ある」と「しばしばある・常にある」を合わせた孤独感のある割合は、“20歳～24歳”が24.4%で最も高く、次いで、“16歳～19歳”が20.4%となっています。



■問13-2 問3婚姻状況別クロス

	決していない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある	無回答
未婚 n=190	11.6	30.0	34.2	12.6	11.6	0.0
配偶者あり n=186	18.8	37.6	28.5	10.2	4.8	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別 n=11	18.2	9.1	27.3	18.2	27.3	0.0

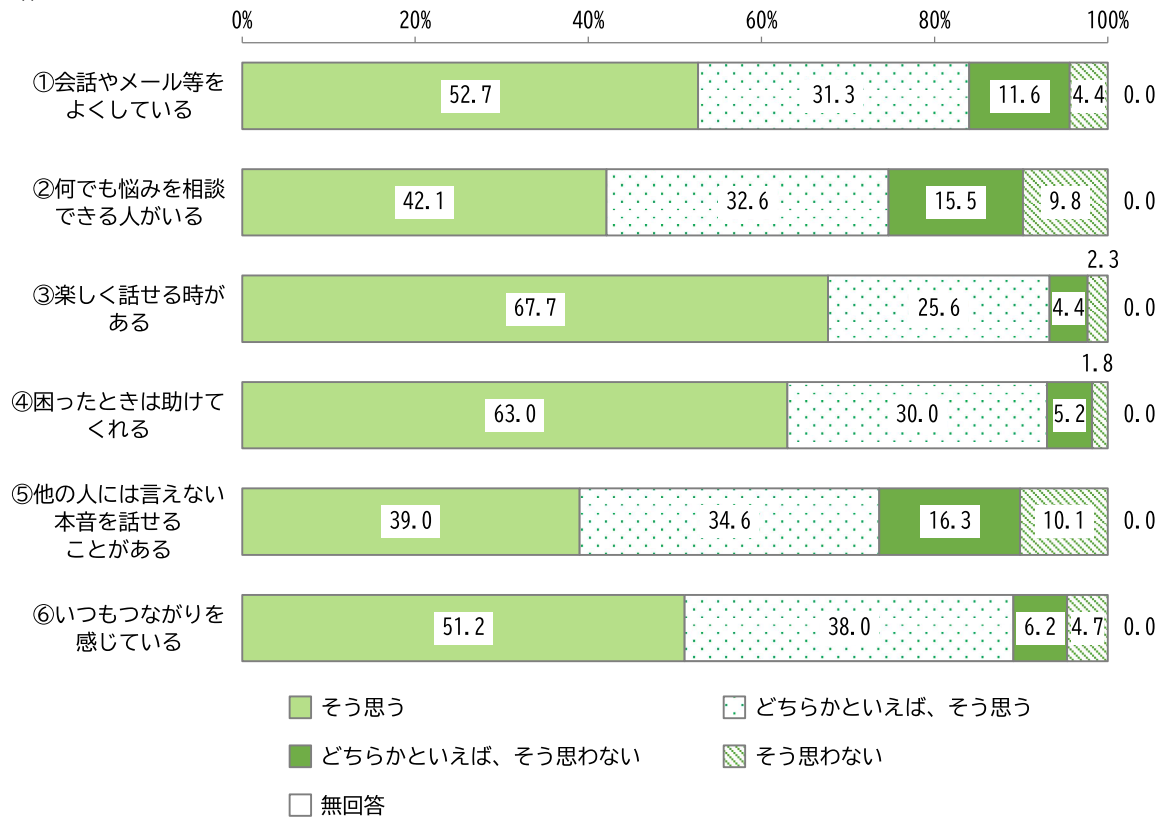
■問13-2 問2-1年齢別クロス

	決していない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある	無回答
16歳～19歳 n=54	16.7	37.0	25.9	13.0	7.4	0.0
20歳～24歳 n=45	20.0	22.2	33.3	13.3	11.1	0.0
25歳～29歳 n=82	13.4	31.7	35.4	13.4	6.1	0.0
30歳～34歳 n=110	19.1	37.3	24.5	10.0	9.1	0.0
35歳～39歳 n=96	9.4	32.3	37.5	10.4	10.4	0.0

問14 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”(93.3%)が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”(93.0%)となっています。

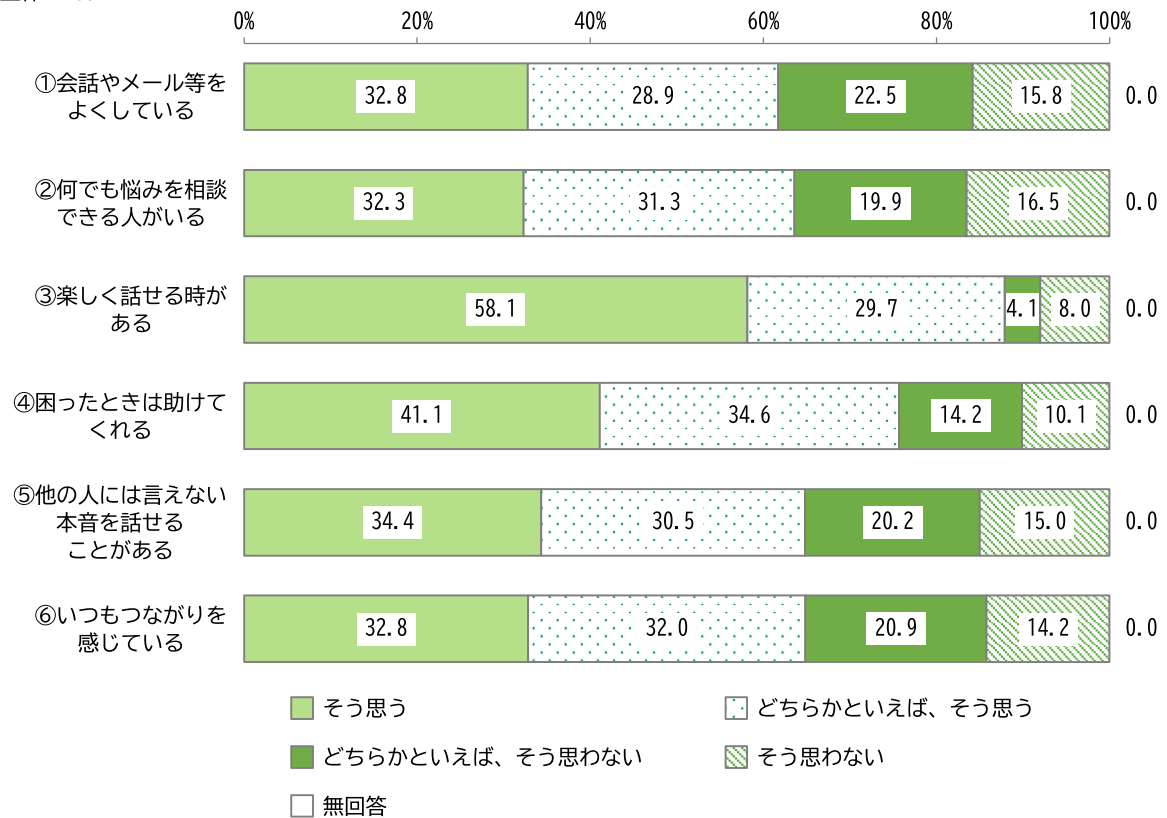
全体 n=387



問15 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）とあなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（87.8%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（75.7%）となっています。

全体 n=387

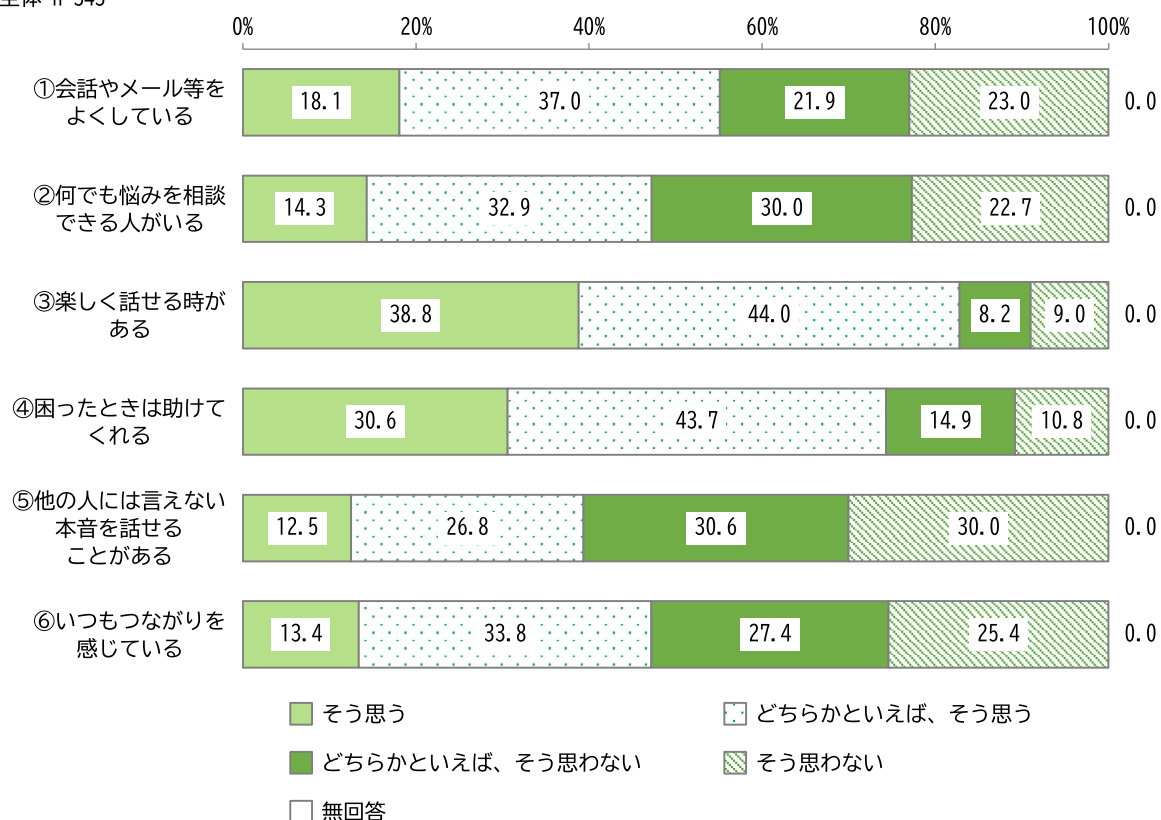


【問9 就労経験について「1. 現在、就業している」「2. 現在就業しているが、休職や休業中である」「3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方がお答えください】

問16 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（82.8%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（74.3%）となっています。

全体 n=343

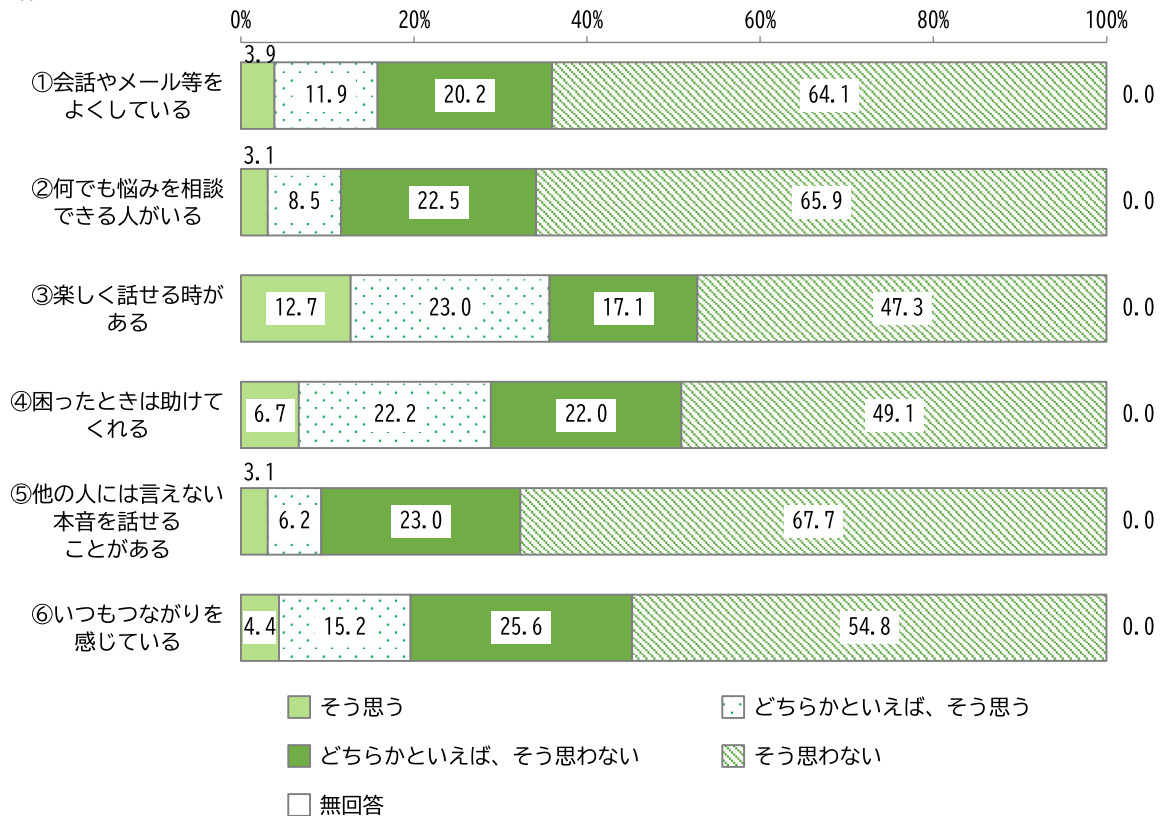


問17 地域の人（町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人やサークルなど）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（35.7%）が最も高く、次いで“④困ったときは助けてくれる”（28.9%）となっています。

“⑥いつもつながりを感じている”を年齢別にみると、「そう思わない」割合は、“20歳～24歳”が62.2%で最も高くなり、次いで、“30歳～34歳”が58.2%となっています。

全体 n=387



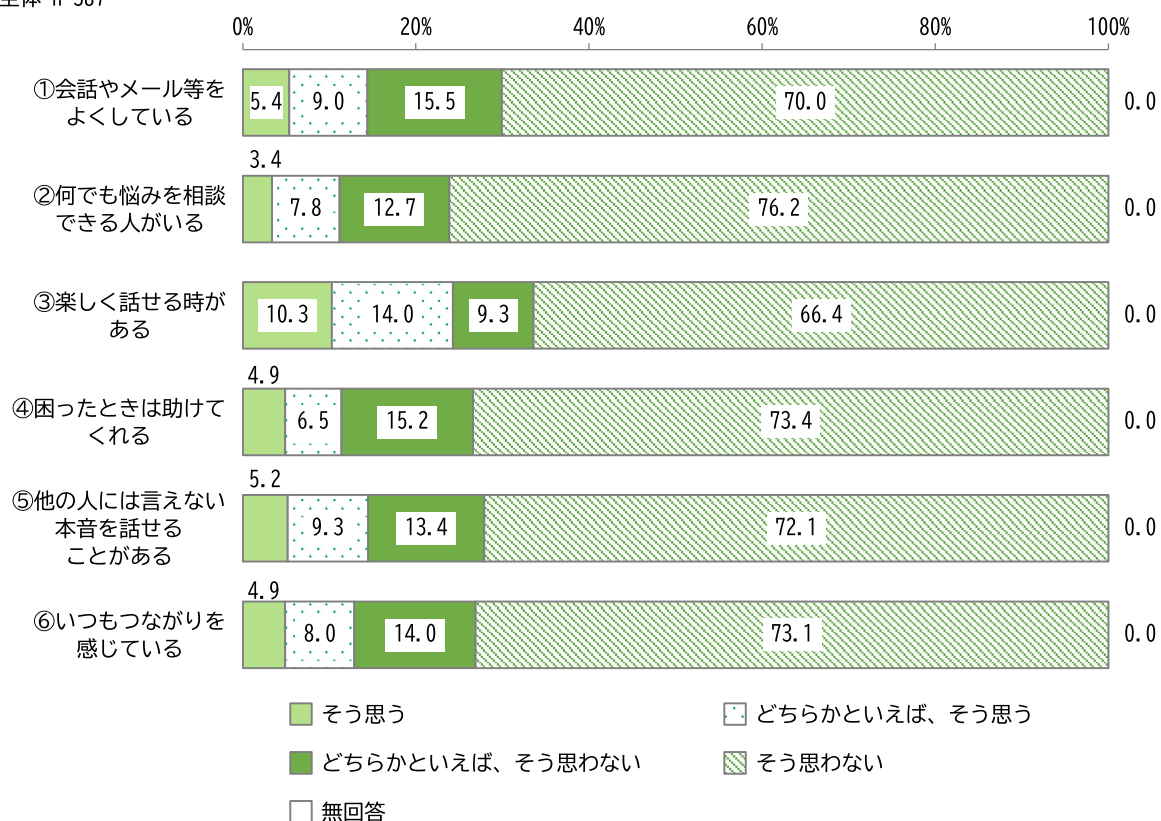
■問17⑥いつもつながりを感じている 問2-1年齢別クロス

	そう思う	どちらかとい えば、 そう思う	どちらかとい えば、 そう思わない	そう思わない	無回答
16歳～19歳 n=54	5.6	13.0	24.1	57.4	0.0
20歳～24歳 n=45	4.4	13.3	20.0	62.2	0.0
25歳～29歳 n=82	6.1	13.4	29.3	51.2	0.0
30歳～34歳 n=110	2.7	15.5	23.6	58.2	0.0
35歳～39歳 n=96	4.2	18.8	28.1	49.0	0.0

問18 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（単数回答）

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“③楽しく話せる時がある”（24.3%）が最も高く、次いで“⑤他の人には言えない本音を話せることがある”（14.5%）、“①会話やメール等をよくしている”（14.4%）となっています。一方で、すべての項目で、「そう思わない」が最も高く、6割を超えています。

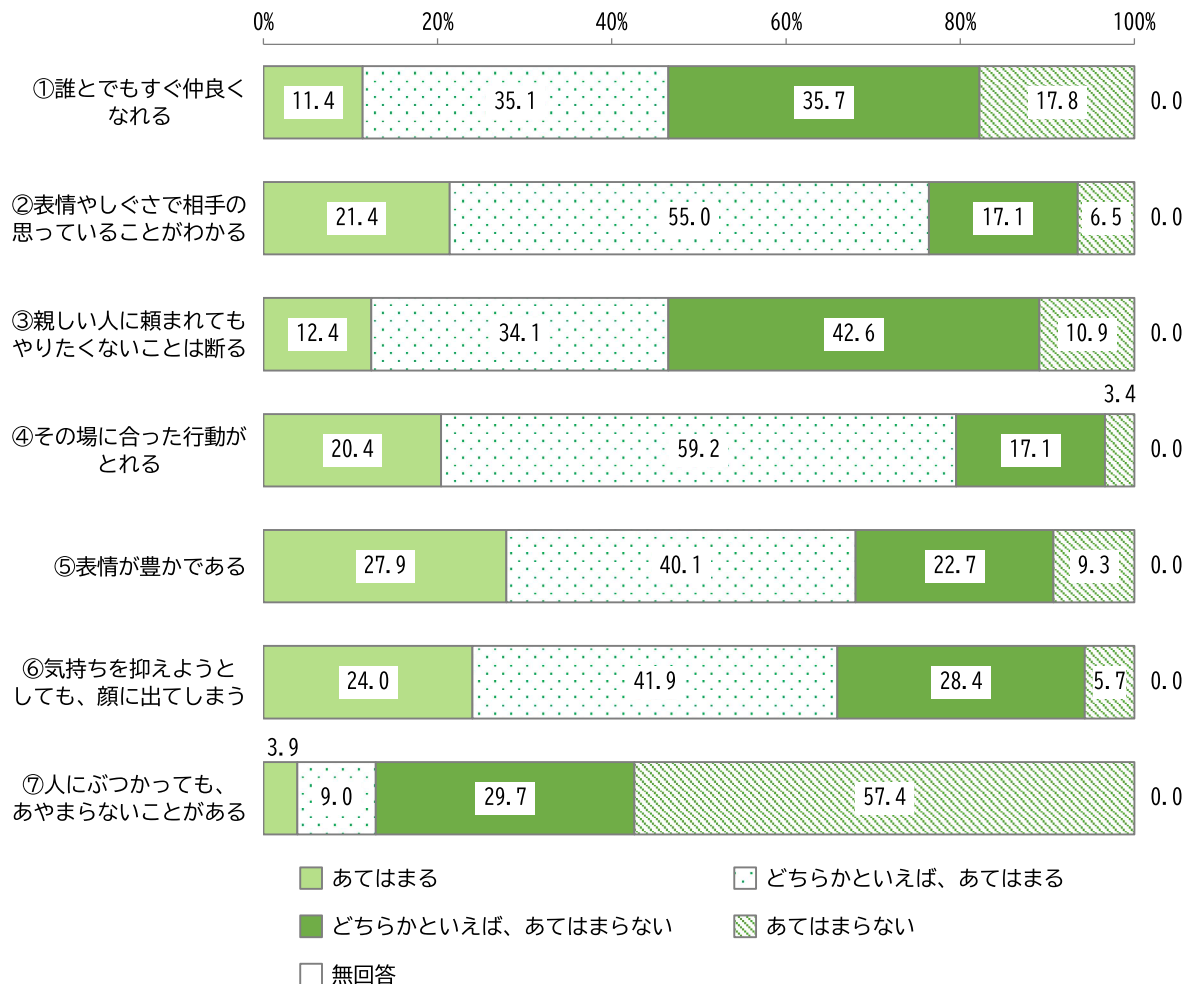
全体 n=387



問19 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。(単数回答)

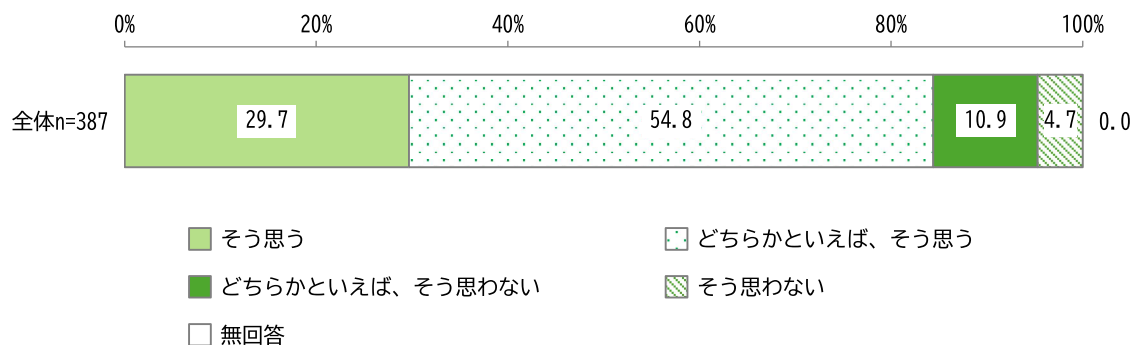
「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“④その場に合った行動がとれる”(79.6%)が最も高く、次いで“②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる”(76.4%)となっています

全体 n=387



問20 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(単数回答)

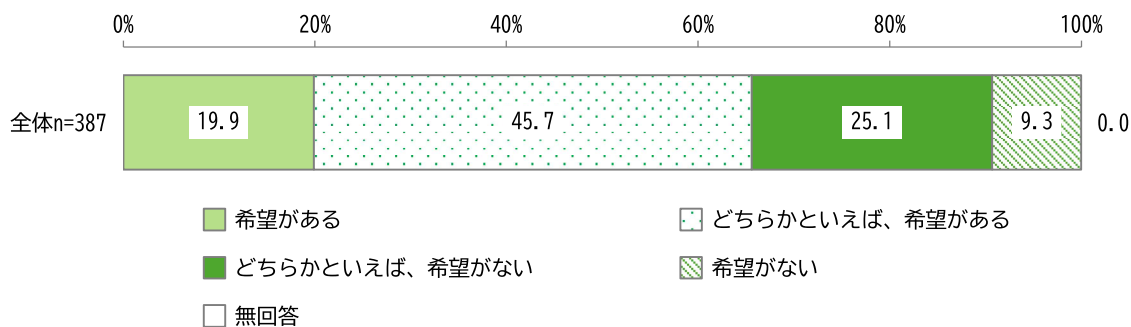
「どちらかといえば、そう思う」が54.8%で最も高く、次いで「そう思う」が29.7%と続きます。



問21 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(単数回答)

「どちらかといえば、希望がある」が45.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、希望がない」が25.1%と続きます。

婚姻状況別では、「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」を合わせた希望がある割合は、「配偶者あり」が77.4%で最も高く、次いで、「未婚」が55.8%となっています。



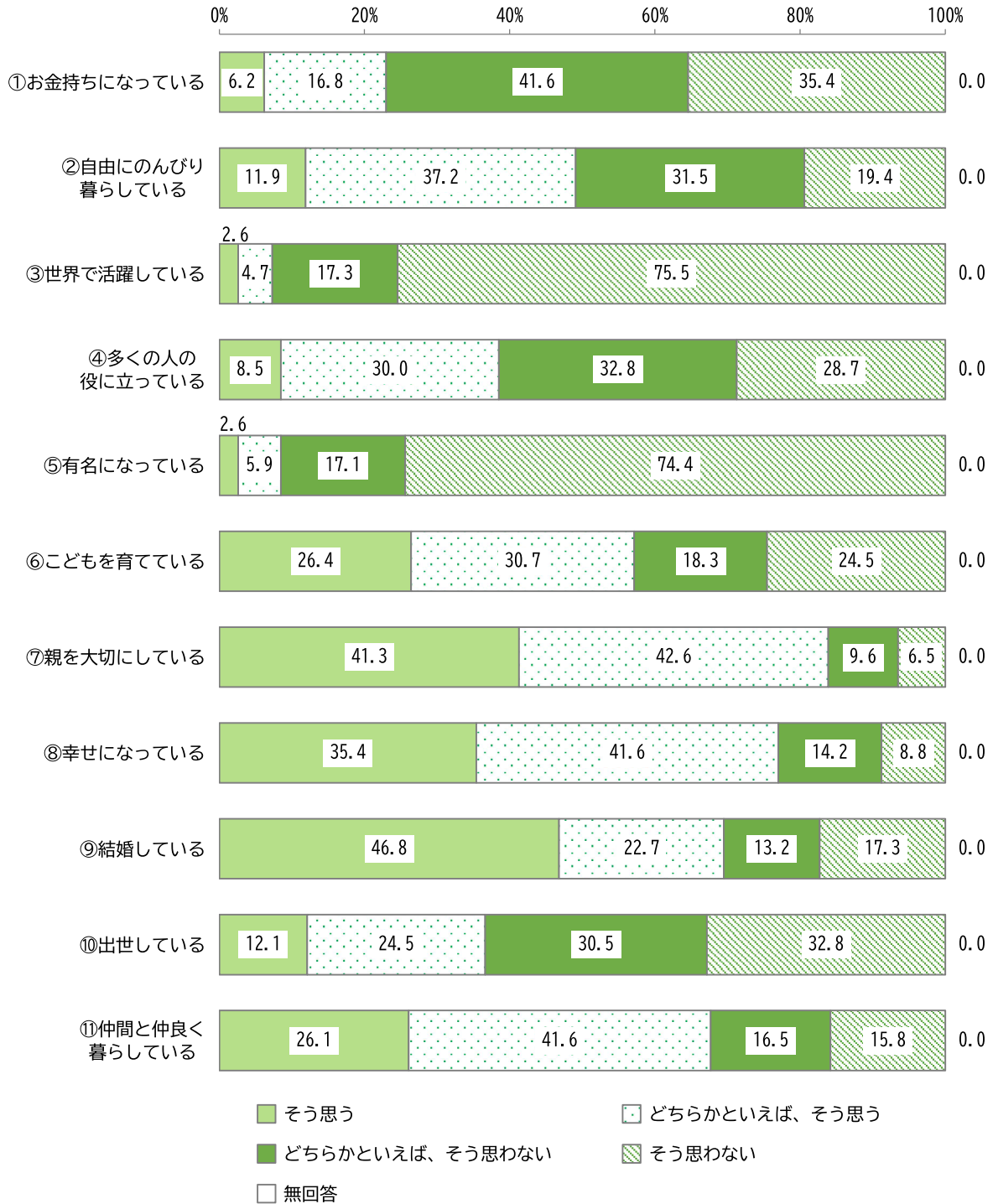
■問21 問3 婚姻状況別クロス

	希望がある	どちらかとい えば、希望が ある	どちらかとい えば、希望が ない	希望がない	無回答
未婚 n=190	21.6	34.2	31.6	12.6	0.0
配偶者あり n=186	18.8	58.6	17.7	4.8	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別 n=11	9.1	27.3	36.4	27.3	0.0

問22 20年後、あなたはどのようになっていると思いますか。(単数回答)

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“⑦親を大切にしている”(83.9%)が最も高く、次いで“⑧幸せになっている”(77.0%)、“⑨結婚している”(69.5%)となっています。

全体 n=387



“④多くの人の役に立っている”を婚姻状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた役に立っている割合は、“未婚”が42.1%で最も高く、次いで、“配偶者あり”が35.5%となっています。また、年齢別では、役に立っている割合は、“20歳～24歳”が48.9%で最も高く、次いで、“16歳～19歳”が44.4%となっています。

■問22④多くの人の役に立っている 問3婚姻状況別クロス

	そう思う	どちらかとい えば、 そう思う	どちらかとい えば、 そう思わない	そう思わない	無回答
未婚 n=190	10.5	31.6	29.5	28.4	0.0
配偶者あり n=186	7.0	28.5	37.1	27.4	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別 n=11	0.0	27.3	18.2	54.5	0.0

■問22④多くの人の役に立っている 問2-1年齢別クロス

	そう思う	どちらかとい えば、 そう思う	どちらかとい えば、 そう思わない	そう思わない	無回答
16歳～19歳 n=54	14.8	29.6	37.0	18.5	0.0
20歳～24歳 n=45	13.3	35.6	26.7	24.4	0.0
25歳～29歳 n=82	11.0	30.5	29.3	29.3	0.0
30歳～34歳 n=110	4.5	30.0	32.7	32.7	0.0
35歳～39歳 n=96	5.2	27.1	36.5	31.3	0.0

“⑥子どもを育てている”を婚姻状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた役に立っている割合は、“配偶者あり”が68.8%で最も高く、次いで、“未婚”が46.9%となっています。

■問22⑥子どもを育てている 問3婚姻状況別クロス

	そう思う	どちらかとい えば、 そう思う	どちらかとい えば、 そう思わない	そう思わない	無回答
未婚 n=190	13.2	33.7	19.5	33.7	0.0
配偶者あり n=186	40.3	28.5	16.7	14.5	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別 n=11	18.2	18.2	27.3	36.4	0.0

“⑨結婚している”を婚姻状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた役に立っている割合は、“配偶者あり”が93.1%で最も高く、次いで、“未婚”が49.0%となっています。

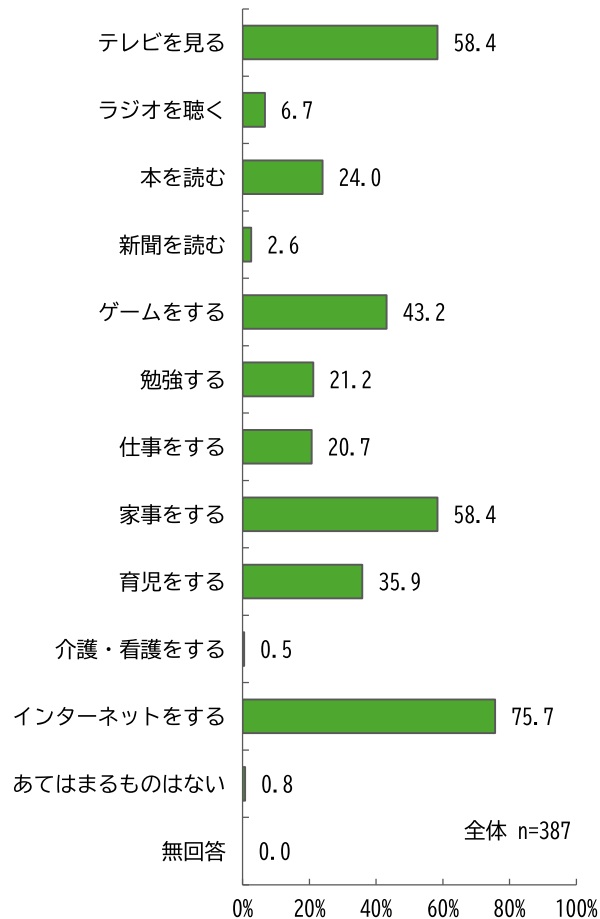
■問22⑨結婚している 問3婚姻状況別クロス

	そう思う	どちらかとい えば、 そう思う	どちらかとい えば、 そう思わない	そう思わない	無回答
未婚 n=190	17.4	31.6	24.2	26.8	0.0
配偶者あり n=186	78.0	15.1	2.2	4.8	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別 n=11	27.3	0.0	9.1	63.6	0.0

(2) あなたの生活について

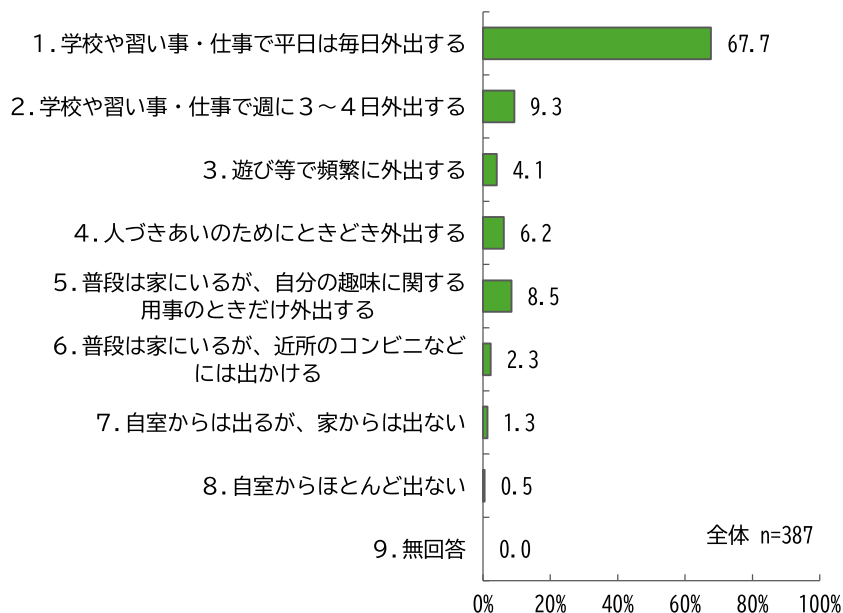
問23 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（複数回答）

「インターネットをする」が75.7%で最も高く、次いで「テレビを見る」、「家事をする」が各58.4%、「ゲームをする」が43.2%となっています。



問24 あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。現在のことについてお答えください。(単数回答)

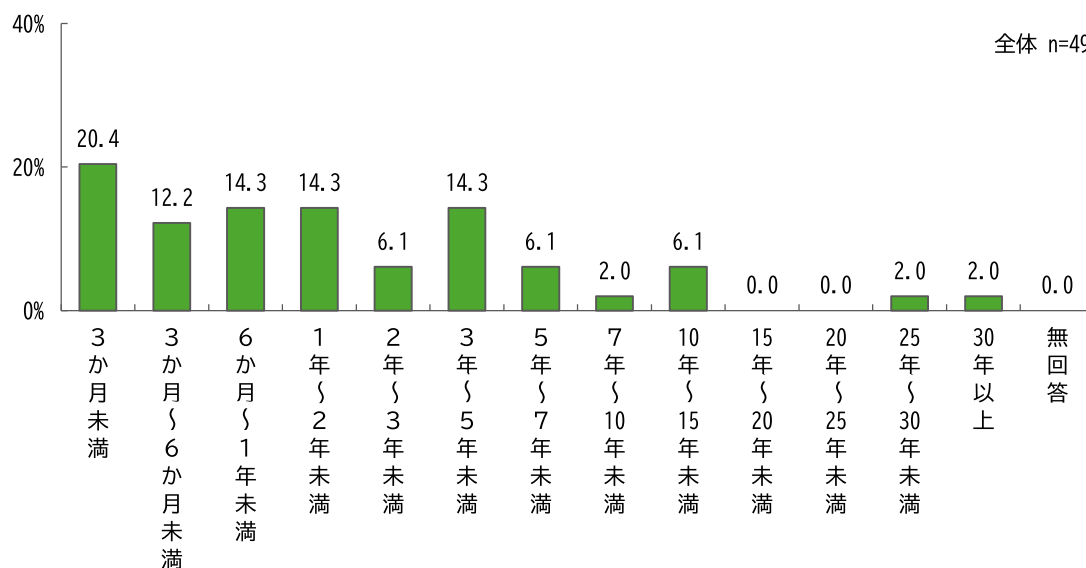
「学校や習い事・仕事で平日は毎日外出する」が67.7%で最も高く、次いで「学校や習い事・仕事で週に3～4日外出する」が9.3%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が8.5%と続きます。



【問24で「5.」から「8.」を選んだ方のみ、お答えください】

問25 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(単数回答)

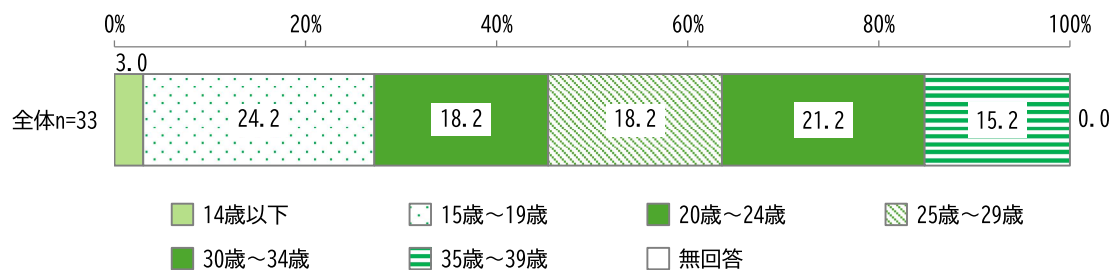
「3か月未満」が20.4%で最も高く、次いで「6か月～1年未満」、「1年～2年未満」、「3年～5年未満」が各14.3%となっています。



【問25で「3. 6か月～」から「13. 30年以上」を選んだ方のみ、お答えください】

問26 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。（単数回答）

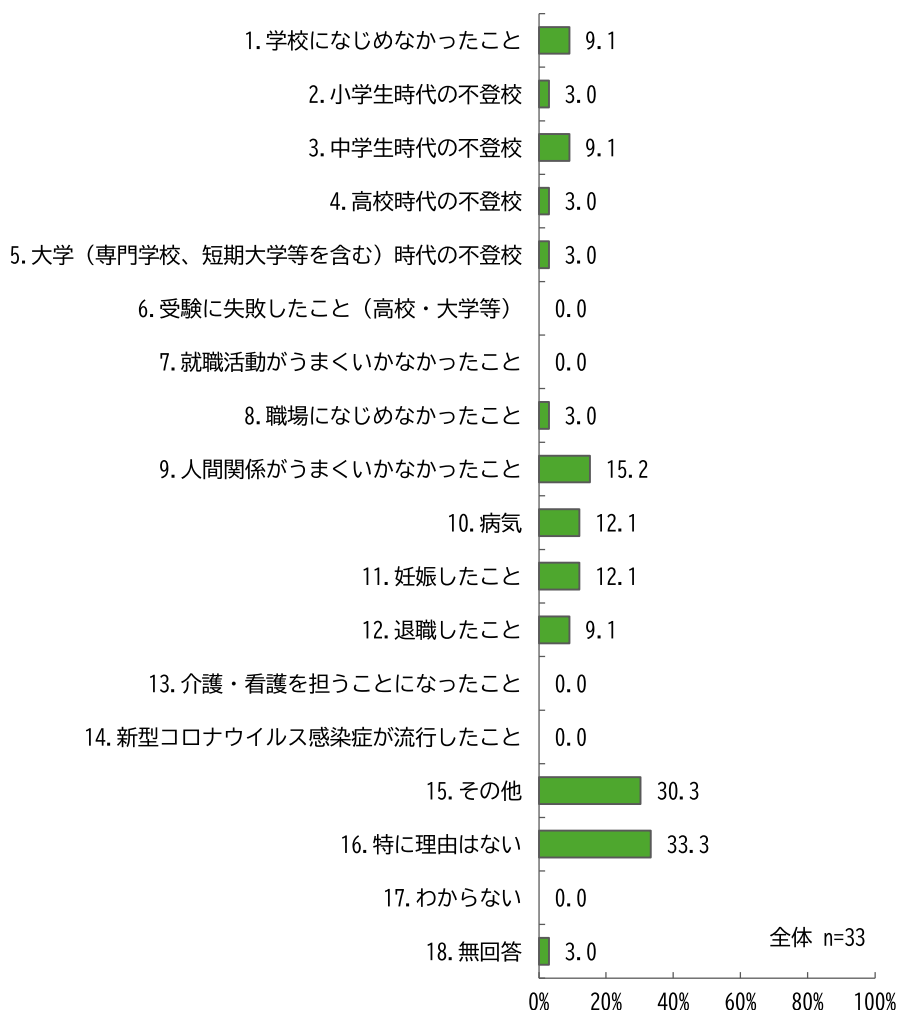
「15歳～19歳」が24.2%で最も高く、次いで「30歳～34歳」が21.2%、「20歳～24歳」、「25歳～29歳」が各18.2%となっています。



【問25で「3. 6か月～」から「13. 30年以上」を選んだ方のみ、お答えください】

問27-1 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。（複数回答）

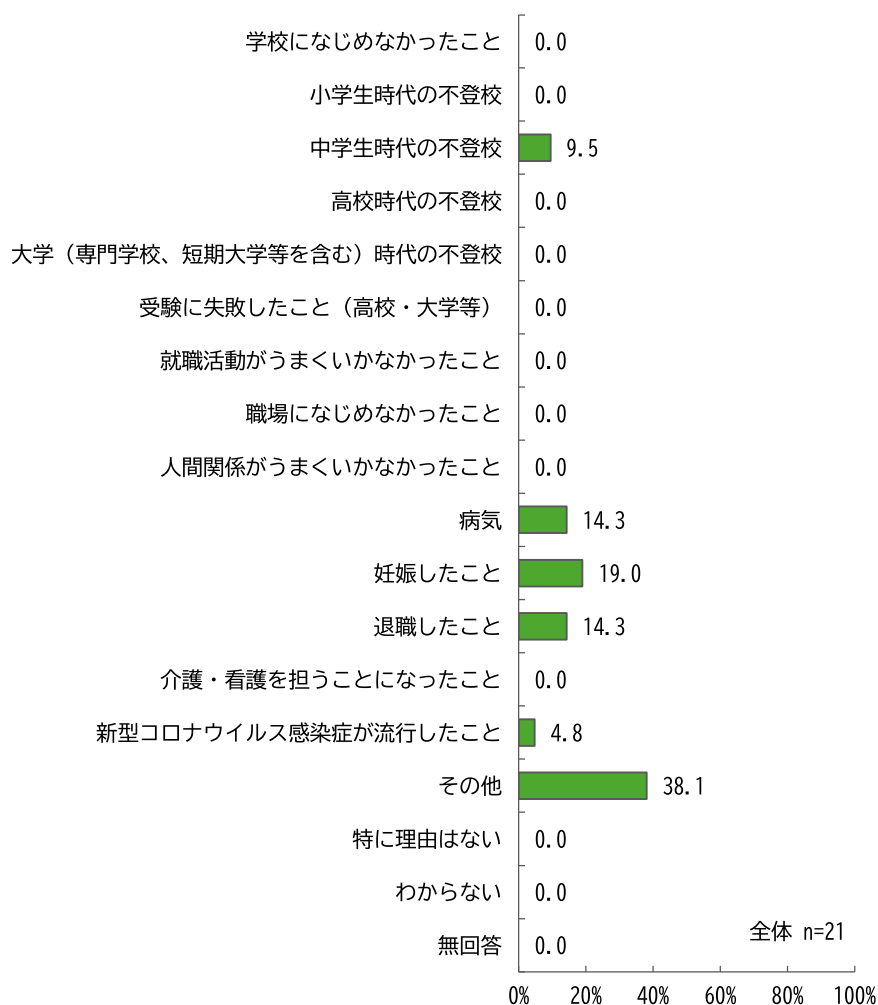
「人間関係がうまくいかなかったこと」が15.2%、「病気」、「妊娠したこと」が各12.1%となっていますが、「特に理由はない」が33.3%と最も高くなっています。



【問27-1で「1.」から「15.」を選んだ方のみ、お答えください】

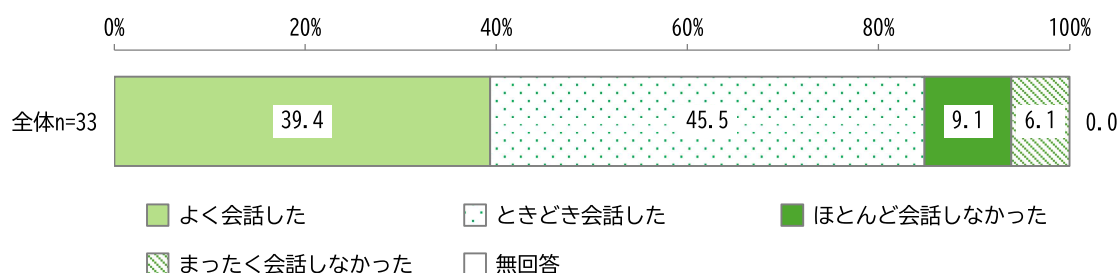
問27-2 あなたの外出状況が今ようになった最も大きな理由は何ですか。
(単数回答)

「妊娠したこと」が19.0%で最も高く、次いで「病気」、「退職したこと」が各14.3%、「中学生時代の不登校」が9.5%と続きます。



問28 最近6か月間に、家族以外の人と会話ししましたか。(単数回答)

「ときどき会話しした」が45.5%で最も高く、次いで「よく会話しした」が39.4%と続きます。

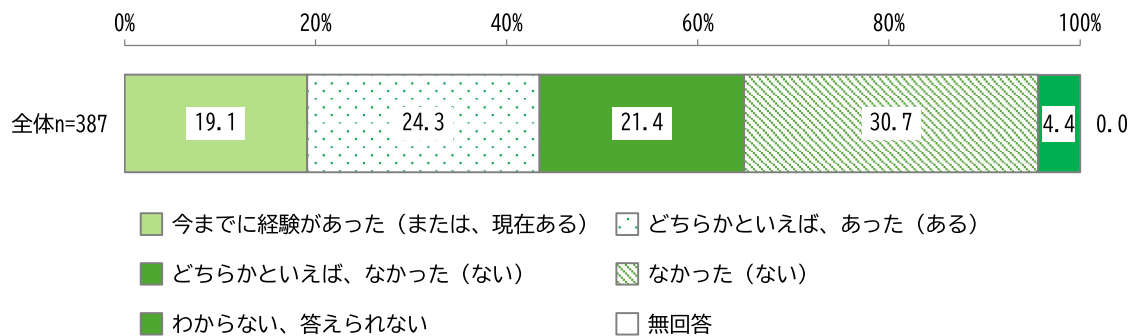


3 悩みや不安の有無

(1) 悩みや不安の有無について

問29 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(単数回答)

「なかった（ない）」が30.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、あった（ある）」が24.3%、「どちらかといえば、なかった（ない）」が21.4%と続きます。

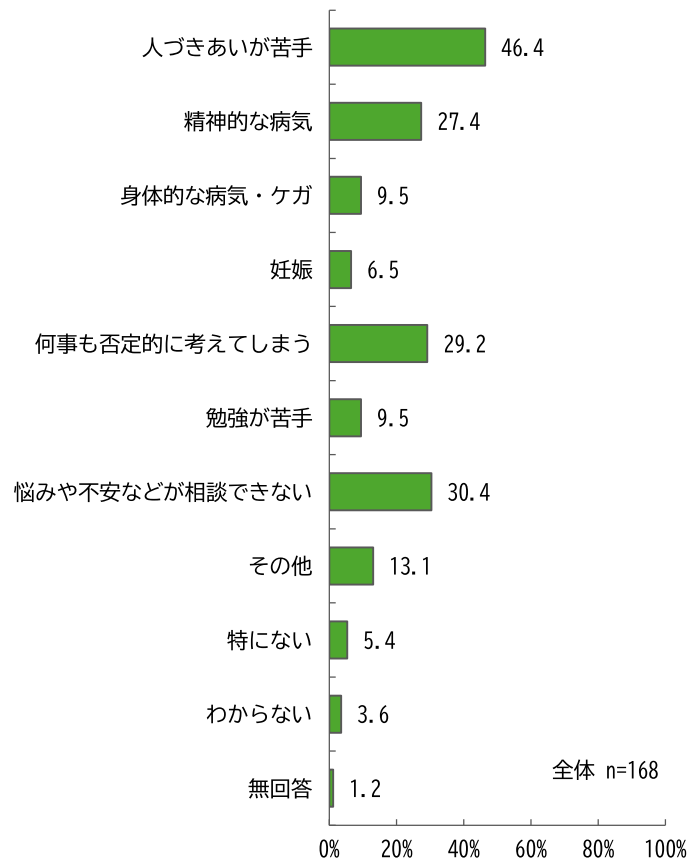


【問29で「1. 今までに経験があった」または「2. どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください】

問30 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

(1) 自分自身について。(複数回答)

「人づきあいが苦手」が46.4%で最も高く、次いで「悩みや不安などが相談できない」が30.4%、「何事も否定的に考えてしまう」が29.2%と続きます。



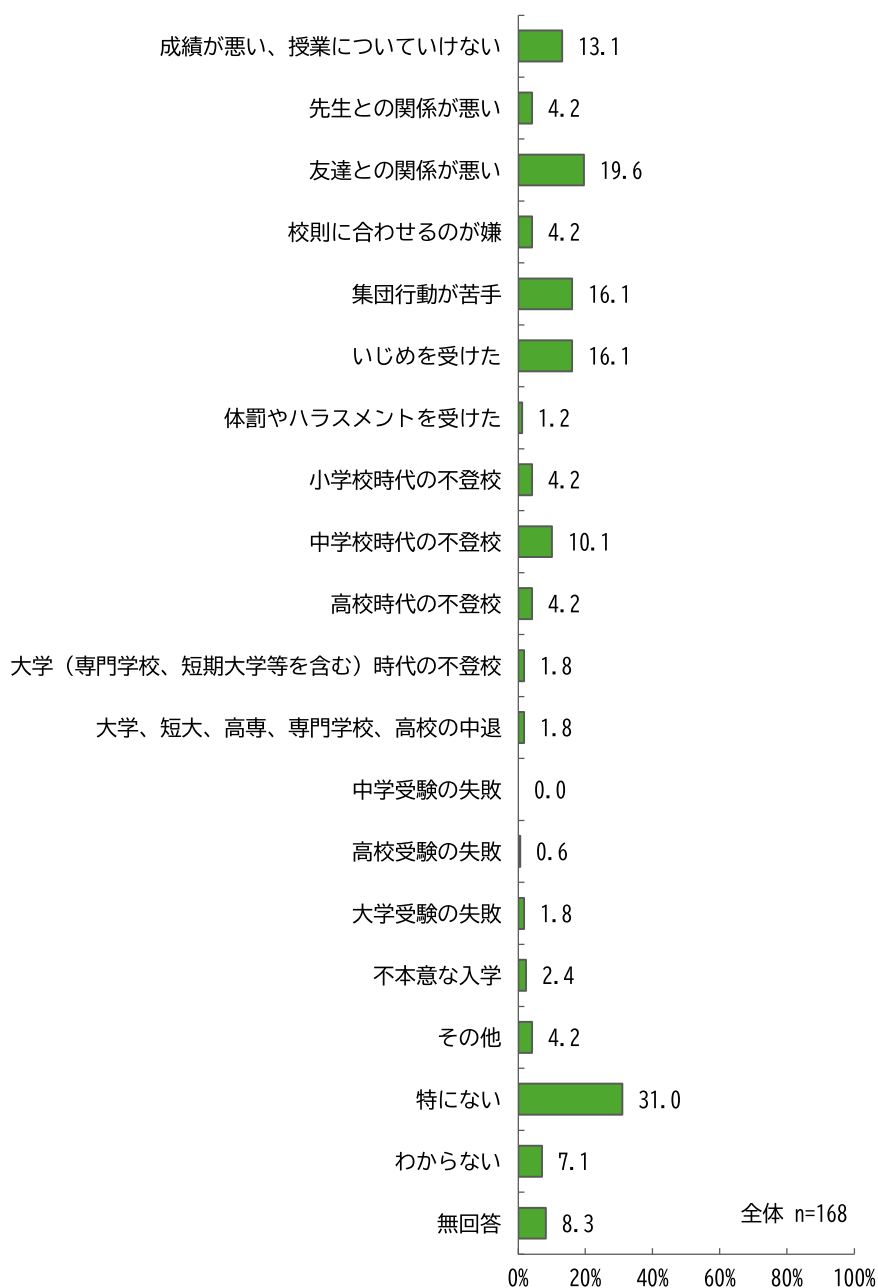
(2) 家族・家庭について。(複数回答)

「家庭内での孤立(家族間のコミュニケーションが希薄)」、「家庭が貧しい」が各10.1%、「親(保護者)の過度な期待」が8.3%となっていますが、「特にない」が36.9%と最も高くなっています。



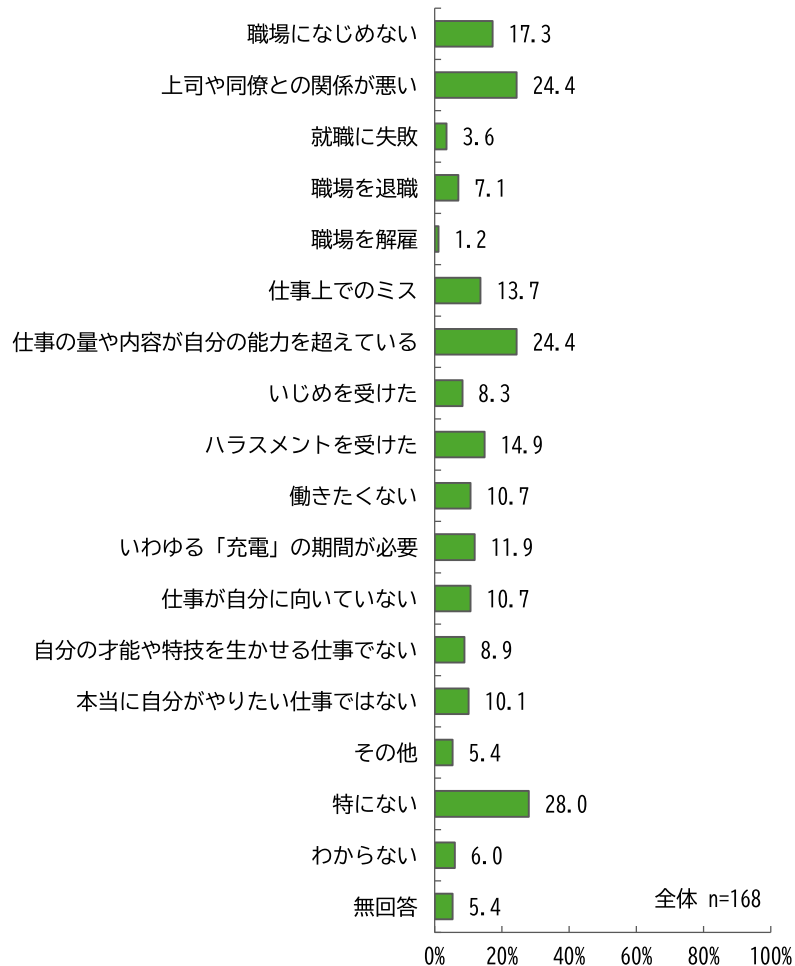
(3) 学校について。(複数回答)

「友達との関係が悪い」が19.6%、「集団行動が苦手」、「いじめを受けた」が各16.1%となっていますが、「特にない」が31.0%と最も高くなっています。



(4) 仕事・職場について。(複数回答)

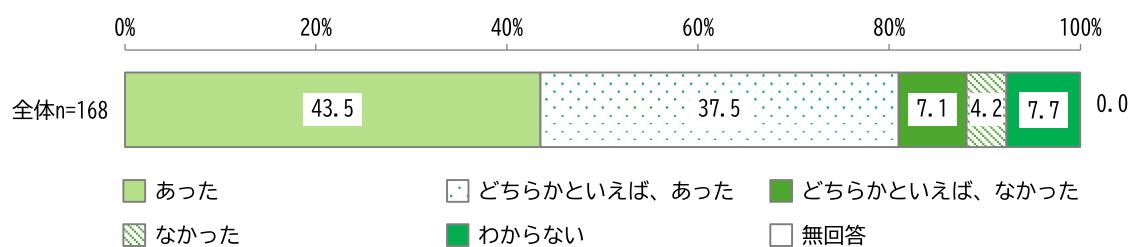
「上司や同僚との関係が悪い」、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」が各24.4%、「職場になじめない」が17.3%となっていますが、「特にない」が28.0%と最も高くなっています。



【問29で「1. 今までに経験があった」または「2. どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください】

問31 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。
(単数回答)

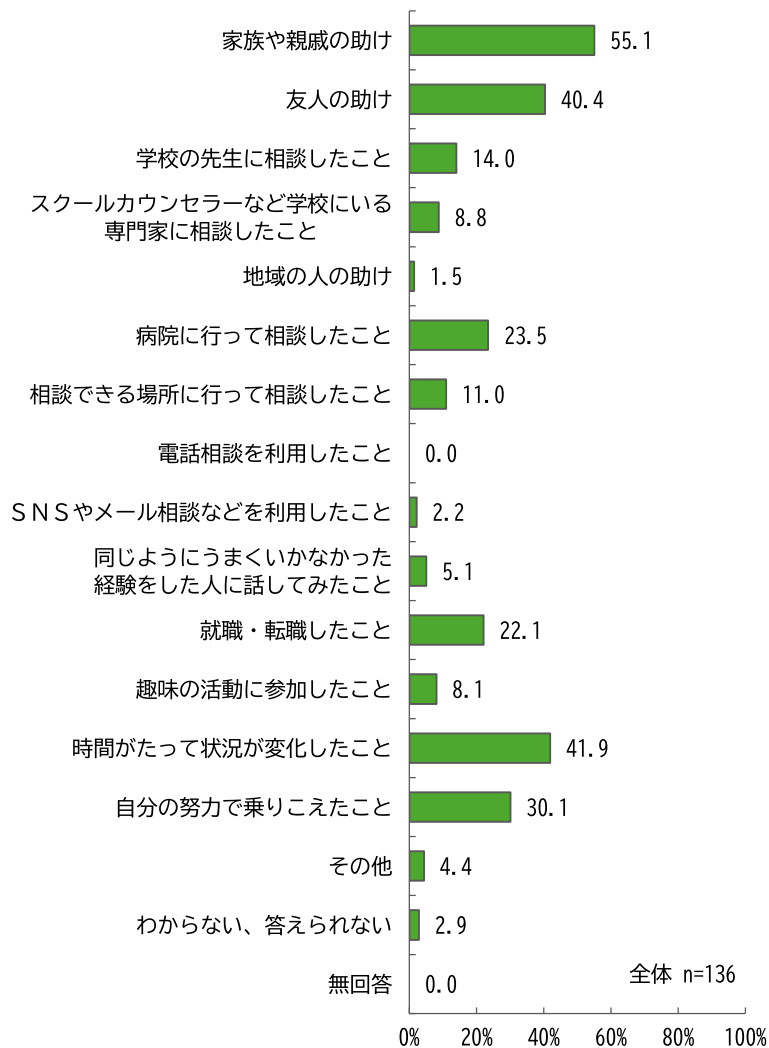
「あった」が43.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば、あった」が37.5%と続きます。



【問31で「1. あった」または「2. どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください】

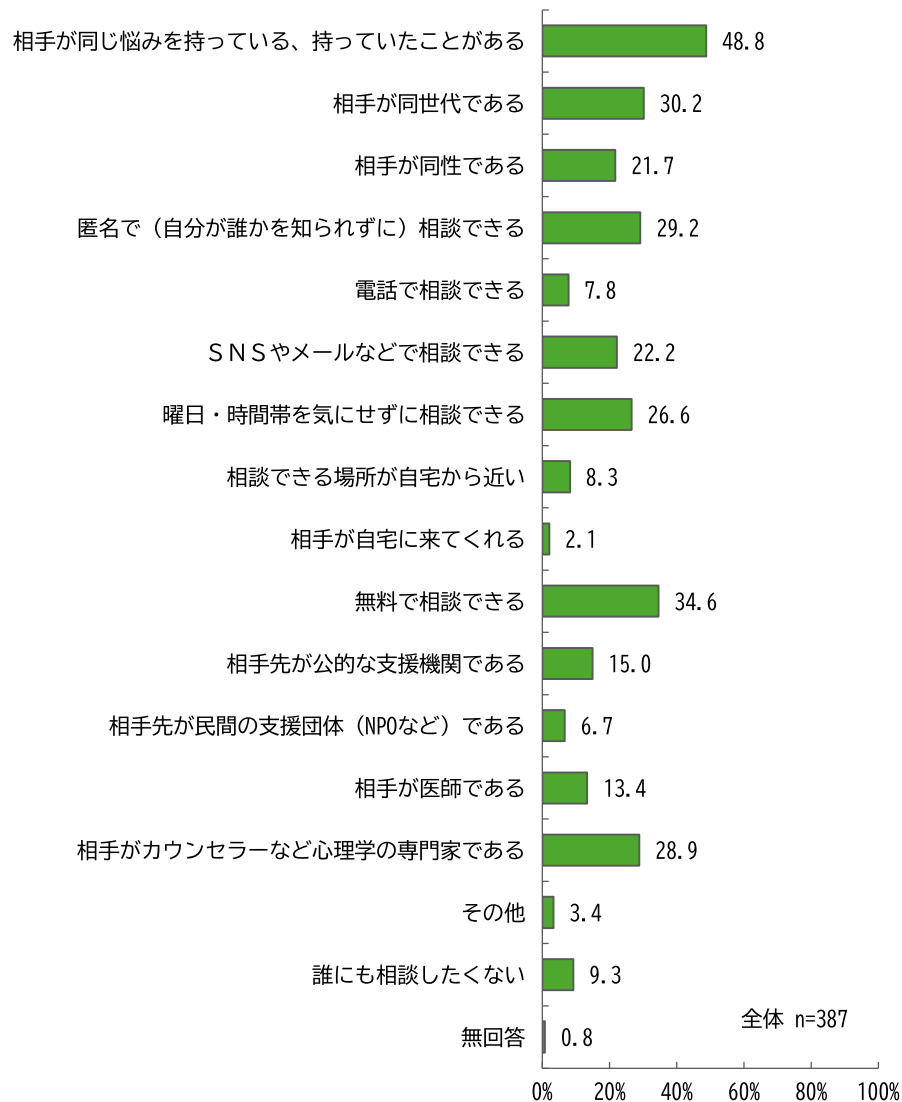
問32 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。
(複数回答)

「家族や親戚の助け」が55.1%で最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」が41.9%、「友人の助け」が40.4%と続きます。



問33 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。（複数回答）

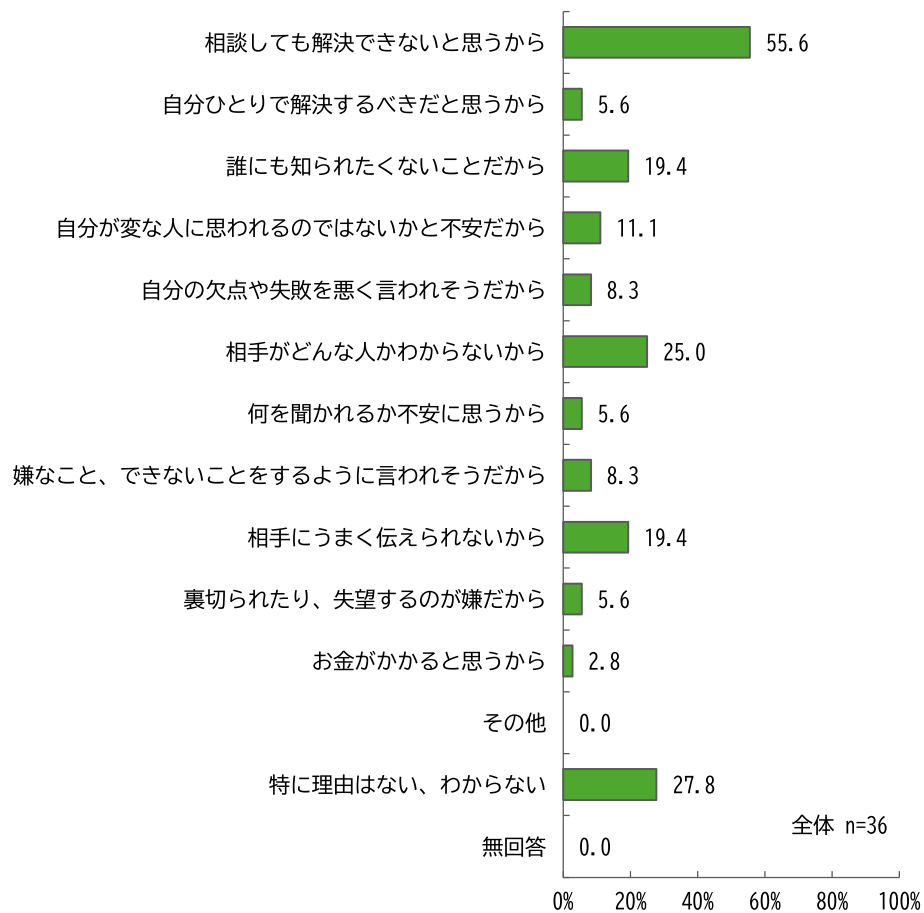
「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が48.8%で最も高く、次いで「無料で相談できる」が34.6%、「相手が同世代である」が30.2%と続きます。



【問33で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください】

問34 相談したくないと思う理由は何ですか。(複数回答)

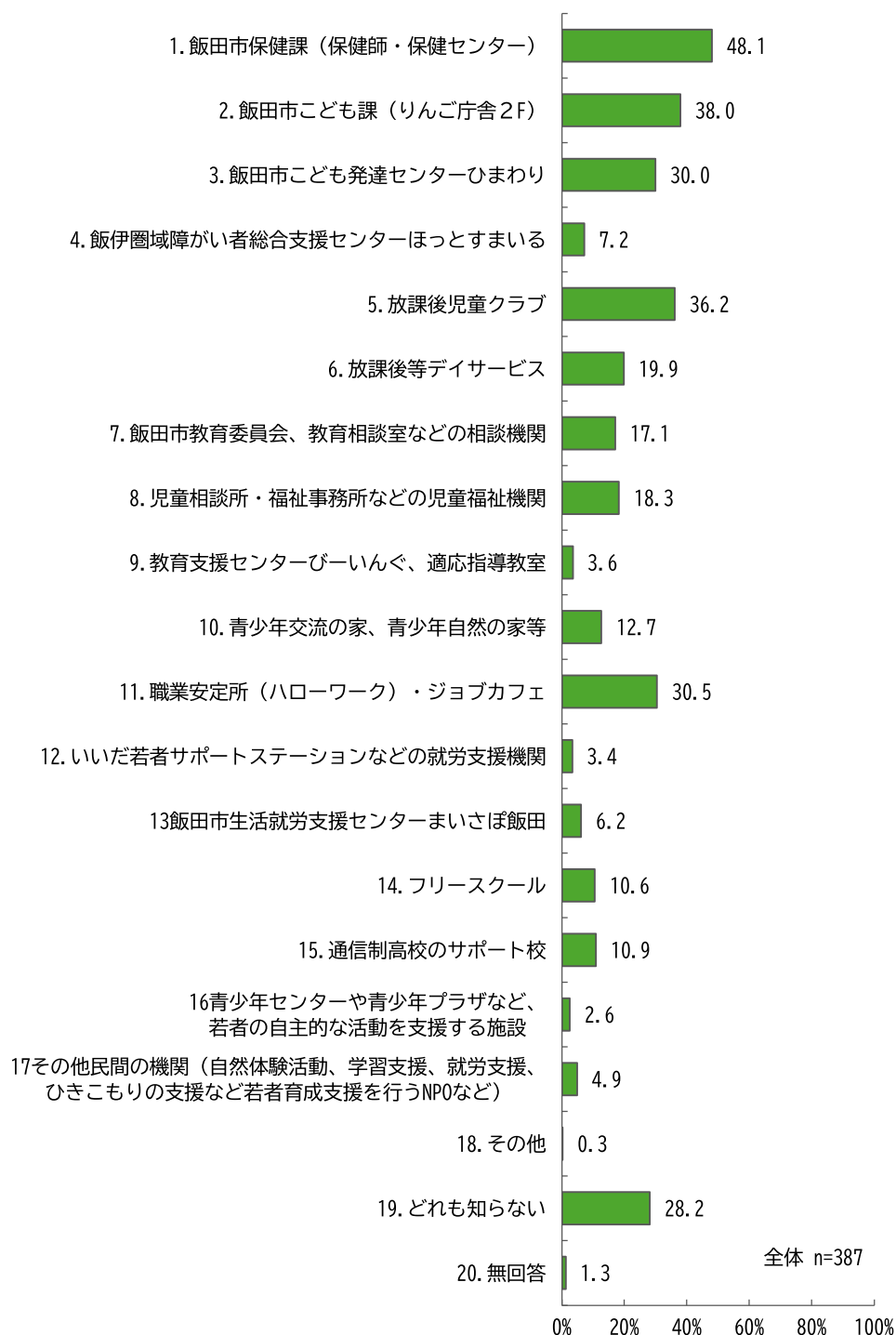
「相談しても解決できないと思うから」が55.6%で最も高く、「相手がどんな人かわからないから」が25.0%と続きますが、「特に理由はない、わからない」が27.8%となっています。



4 育成支援機関等について

問35 あなたは、こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(複数回答)

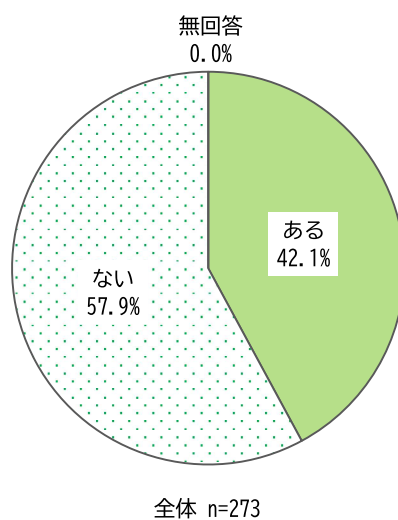
「飯田市保健課（保健師・保健センター）」が48.1%で最も高く、次いで「飯田市こども課（りんご庁舎2F）」が38.0%、「放課後児童クラブ」が36.2%と続きます。一方で、「どれも知らない」が約3割となっています。



【問35で「1.」から「18.」を選んだ方のみ、お答えください】

問36 これらの機関を利用したことはありますか。(単数回答)

育成支援機関等の利用の有無について、「ある」が42.1%、「ない」が57.9%となっています。



問37 これらの機関について利用したいと思いますか。(単数回答)

育成支援機関等を利用意向について、「どちらかといえば利用したいと思う」が42.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば利用したいと思わない」が22.7%、「利用したいと思わない」が18.9%と続きます。

